

---

# 年 報

---

平成17年度



財団法人 大阪府文化財センター



上私部遺跡05-1 掘立柱建物群と区画溝（6世紀）



巢本遺跡03-1 堤下部構造（12世紀頃）



片山荒池遺跡05-1 1区古墳時代面



池島・福万寺遺跡03-1 水田流路・微高地検出状況 (弥生時代後期後半)

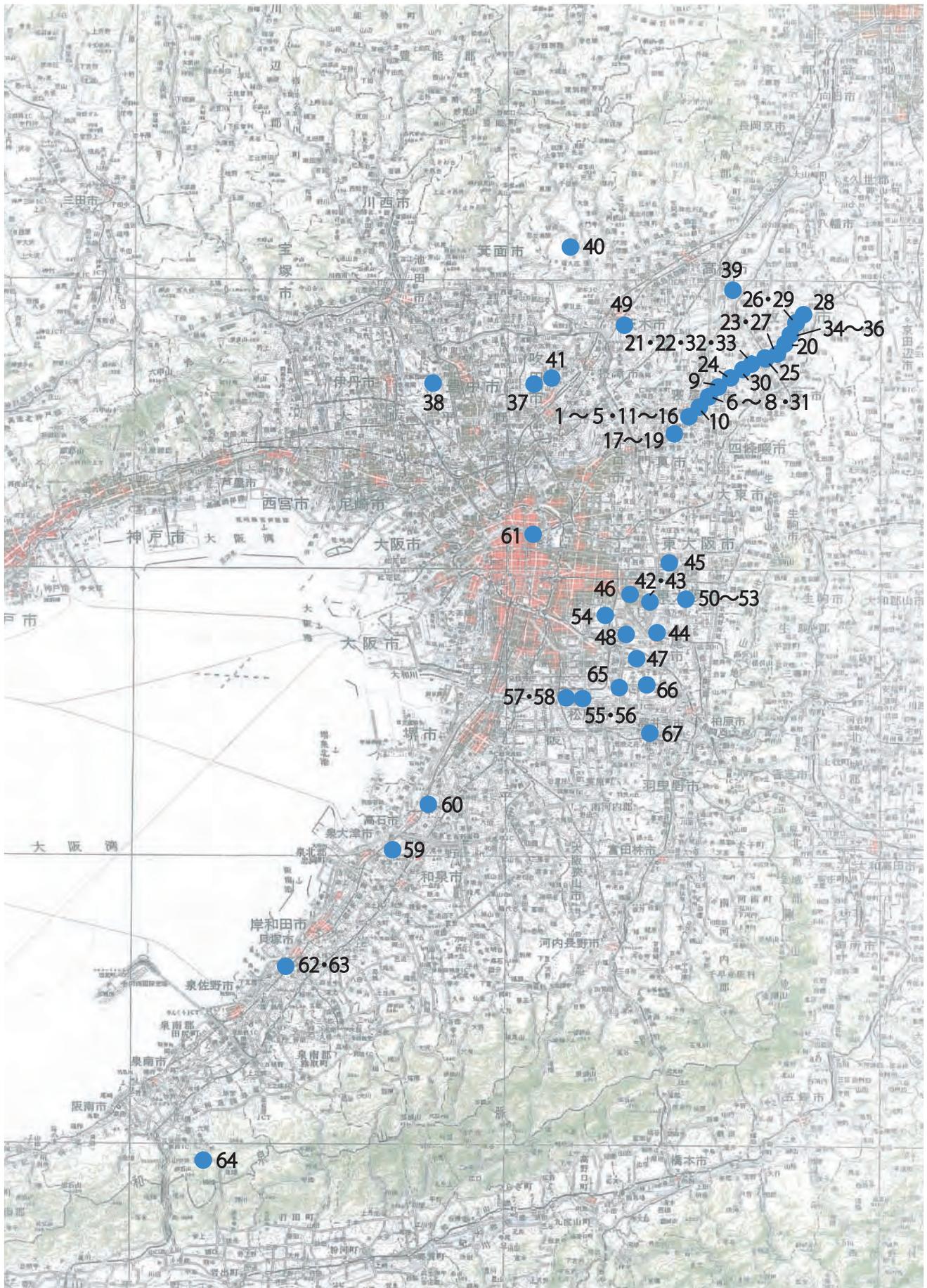


三宅西遺跡04-2 周溝墓群（弥生時代中期）



池内遺跡05-2 屋敷地と屋敷地西境の畦畔状高まり

# 実施事業位置図



(地図は国土地理院平成11年8月1日発行1/20万 京都及び大阪、和歌山を縮小した。)

## 序

財団法人大阪府文化財センターは大阪府下の大規模な公共事業に伴う発掘調査を担当している。平成17年度は京阪・中部・南部の3事務所と交野分室、池島分室、古市分室に分れて事業を実施した。発掘調査事業は第2京阪道路建設がピークを迎え、府営住宅建設、史跡池上曾根遺跡整備に伴う調査等、67件の事業を事業者と契約した。まさに激動の一年であったと感じる。

こうした事業の現地説明会2回、11回の現地公開を実施した。参加者数は2,700名に及び、社会的関心への対応の重要性を痛感した。特筆すべきは11月21日に地元の寝屋川市民会館で国土交通省と共に実施した「北河内発掘！緑立つ道に歴史わきたつー第2京阪道路内遺跡の発掘調査ー」の講演・展示の開催であろう。経済的には極めて厳しい現状ではあるが、経験を生かし、調査、整理、研究、保存・管理、展示・公開・活用、普及・啓発システム確立のため、ソフト・ハード両面からの更なる整備が必要であることを強く認識したところである。

さらに、今年度は指定管理者制度に基づく府立2博物館管理運営受託に向けての条件整備がはかられ、加えて、日本民家集落博物館の開館50年に伴う各種事業・権業民家修復事業実施への下拵え作業が積み重ねられた。幸い各関係機関、関西財界の支援をうけて順調に事態は推移し、喜びの日を迎えている。数少ない職員を支えて下さる数多くのボランティアの方々への熱情に胸を打たれる1年でもあった。

普及事業としては例年にない世界遺産に関するシンポジウムとして「世界考古学会議」を世界考古学会議中間会議大阪大会実行委員会、財団法人大阪市文化財協会と共催し、中之島公会堂・大阪歴史博物館を会場として開催、アジア・ヨーロッパ・アメリカ各国の専門家が多数つどい、大いに語り論じ発表し、まことに有意義、多くの人々に感銘を与え内外識者の大きな称賛を得て大阪のエネルギー横溢のすばらしさを体感した。

平成17年度文化庁埋蔵文化財保存活用整備事業の講演会「河内平野における古墳の出現」や10回に及ぶ「魏志倭人伝の世界」を実施、日本民家集落博物館では歴史体験隊事業を行った。さらに近畿各地を巡る「郷土の文化財を見学する会」や、小テーマ展示「シリーズここまでわかった考古学」として「はたおりの歴史観」「弥生ムラの風景」「太秦古墳群発掘調査成果」が3博物館共催で実施することができた。話題となったスポット展示としては「山賀遺跡垂飾形木製品」を弥生文化博物館で公開した。学校との連携事業では12の小・中・高校から約900人を5遺跡1分室に迎える一方で、小学校への出前授業も実施し好評裡に完結することができた。

上記の発掘調査・普及啓発事業と並ぶ重要な事業である、センター収蔵資料の全国の各博物館・資料館・美術館・百貨店・ギャラリー等からの多数の借用展示依頼や出版物への掲載依頼に対応し、今年度は28機関から650点を超える資料が常設展示・特別展示のために貸し出された。こうした貸し出した文物の長期貸出しや公開による損壊・脆弱化に対しては、詳細な点検と科学的保存処理等の恒常的メンテナンスを行いその保存維持に特に心掛けている。

本年度職員数は118名から128名に増員し緊急発掘調査に対応したが、この間、各開発部局、大阪府教育委員会、文化庁をはじめ多くの関係機関や事業者の温かい支援があった。心からお礼を申し上げる次第である。

平成18年3月31日

財団法人大阪府文化財センター  
理事長 水野正好

# 目 次

巻頭カラー	(5) 文化財講座の実施	42
事業実施位置図 (カラー)	(6) 郷土の文化財を見学する会の実施	43
序	B. 文化財展示事業	45
目次	(1) 展示会の実施	45
I. 財団法人大阪府文化財センター沿革と機構	①小テーマ展示	45
1. 設立の趣旨	②スポット展示	47
2. 沿革	(2) 文化庁主催「公開普及事業」に協力	47
3. 概要	C. 文化財体験学習事業	48
(1) 目的	(1) 体験学習等の受け入れ	48
(2) 事業	D. 文化財資料収集事業	48
(3) 出資者	(1) 文献及び文化財情報の収集・整理	48
(4) 基本財産	(2) 文化財情報のデジタル化	48
(5) 機構	E. 文化財資料提供事業	49
(6) 役員・評議員及び職員	(1) インターネット及び報道機関を通じての、 当センターの発掘調査やイベント、 出版に関する情報の提供	49
a 役員	(2) 発掘資料の出品、写真、映画等の貸出	49
b 評議員	(3) 図書の出版・販売	53
c 機構	(4) 出版物の寄贈・配付	55
d 職員	F. 広報事業	55
II. 平成17年度の事業概要及び決算	(1) ニュースレターの発行	55
1. 理事会及び評議員会	(2) 年報の編集と発行	55
2. 決算	G. 文化財記録保存事業	55
3. 調査事業の概要	(1) 映画の製作	55
(1) 調査事業一覧	(2) その他	56
(2) 調査の概要	H. 文化財調査支援事業	56
a 京阪調査事務所	5. 研修研究会等	56
b 中部調査事務所	A. 研修及び研究助成	56
c 南部調査事務所	(1) 調査部研修	56
(3) 保存処理事業	(2) 全国埋蔵文化財法人連絡協議会海外研修	57
(4) 現地説明会等	(3) センター職員研究助成	57
4. 普及啓発事業	B. 文化財研究事業	57
A. 文化財講演会事業	(1) 大阪府埋蔵文化財研究会の実施	57
(1) 世界遺産に関するシンポジウム	(2) 「近畿ブロック埋文研修会」と「近畿 ブロック埋文情報」	58
(2) 重要調査に基づくシンポジウムの開催		
(3) 職員による文化財調査に関する講演会の実施		
(4) ミニ講座、見学ツアー等の実施		

(3) 第16回考古学国際交流研究会 ……………	59	IV. 近つ飛鳥博物館事業報告 ……………	68
(4) 弥生文化・近つ飛鳥・日本民家集落 博物館との共同研究 ……………	59	1. 展示事業について ……………	68
6. 当センターを訪れた海外の研究者等 ……	60	2. 資料調査・研究事業について ……………	73
III. 大阪府立弥生文化博物館事業 ……………	61	3. 普及啓発事業について ……………	74
1. 展示事業について ……………	61	4. 広報出版事業について ……………	77
2. 講演会事業等 ……………	62	5. 資料収集事業について ……………	79
3. 普及事業 ……………	64	6. 書籍等販売事業について ……………	79
4. 学校との連携事業 ……………	66	7. 入館者数 ……………	79
5. ボランティア活動 ……………	67	V. 日本民家集落博物館事業 ……………	80
6. 広報事業 ……………	67	1. 展示事業について ……………	80
7. 研究事業 ……………	67	2. 普及啓発事業について ……………	85
8. 資料調査収集事業 ……………	68	3. 広報事業 ……………	88
9. 入館者及び入館料一覧表 ……………	68	4. 館内諸施設の整備について ……………	88
		5. 「移築民家を守る会」について ……	89
		6. 入館者及び入館料一覧表 ……………	89

# I 財団法人大阪府文化財センター沿革と機構

## 1. 設立の趣旨

社会資本整備のための公共事業や民間事業者による開発行為によって国土の自然環境や歴史的環境が急速な変貌を遂げている現在、後世に伝えるべき貴重な文化財の保存・活用、歴史的景観の保全等を図ることが行政に求められている。

これに応えるためには、有形・無形・民俗文化財等の保全・活用を図るための調査・研究体制を構築するとともに、調査や資料収集の成果の公開や文化財愛護意識の高揚のための普及啓発、文化財を通じての国際交流も積極的に行っていく必要がある。

一方、埋蔵文化財調査についても、数多くの各種公共事業が府下において計画されていることに伴い増加する傾向にあるため、事業者からは円滑な事業実施ができるように調査の迅速な実施が求められており、体制を整備していかなければならない状況にある。

これらの課題に対応し、大阪府教育委員会と一体となった文化財行政の効率的かつ効果的な推進を図るため、平成7年4月に（財）大阪文化財センターと（財）大阪府埋蔵文化財協会を発展的に統合して、財団法人大阪府文化財調査研究センターが設立された。

平成14年4月に（財）大阪府博物館協会との統合により名称を（財）大阪府文化財センターとし博物館協会がこれまで行っていた「日本民家集落博物館」の民家等を引き継ぎ、これの公開管理運営を行うとともに、大阪府の「弥生文化博物館」並びに「近つ飛鳥博物館」及び「近つ飛鳥風土記の丘」の管理運営を大阪府教育委員会から受託された。平成18年4月から指定管理者として「弥生文化博物館」、「近つ飛鳥博物館」、「近つ飛鳥風土記の丘」の管理運営を受託し、センターの本来事業と合わせて、文化財の発掘調査・研究・保存・公開展示及び普及啓発を総合的かつ効果的・経済的に推進し、もって大阪府の文化財行政に寄与していく。

## 2. 沿革

昭和47. 11. 28	・大阪府教育委員会の認可を受け、財団法人大阪文化財センター設立。
48. 1. 10	・第2阪和国道発掘調査に伴う遺物整理事業に着手。
48. 4. 1	・事務局を設置。（職員数12名）
48. 5. 25	・第1回理事会において評議員を選出、評議員会を設置。
51. 7. 26	・近畿自動車道天理～吹田線内に所在する遺跡の発掘調査に着手。
55. 8. 19	・全国埋蔵文化財法人連絡協議会の設立に参画、副会長となる。
57. 11. 27	・財団法人大阪文化財センター設立10周年記念式典を開催。
58. 9. 1	・近畿自動車道天理～吹田線の発掘調査に伴う出土遺物の整理事業の開始。
59. 6. 1	・都市計画道路と近畿自動車道和歌山線の併設区間の発掘調査に着手。
60. 4. 1	・財団法人大阪府埋蔵文化財協会設立。
61. 2. 28 ～3. 4	・近畿自動車道天理～吹田線発掘調査終了記念事業（写真パネル展、講演会、映画会）を開催。

- 平成元. 4. 1
- ・都市計画道路松原泉大津線と近畿自動車道和歌山線の併設区間の発掘調査に伴う出土遺物の整理事業の開始。
  - ・大阪府恩智川治水緑地建設予定地内遺跡の発掘調査に着手。
2. 4. 1
- ・大阪府新庁舎建設整備事業地内の大坂城跡発掘調査に着手。
2. 9. 1
- ・財団法人大阪府博物館協会設立。
3. 3. 1
- ・大阪府より委託を受け、安威川総合開発事業に伴う文化財総合調査に着手。
4. 11. 27
- ・財団法人大阪文化財センター設立20周年記念式典を開催。
7. 3. 31
- ・財団法人大阪府埋蔵文化財協会との統合にかかる寄附行為の変更認可を受ける。
7. 4. 1
- ・財団法人大阪文化財センターと財団法人大阪府埋蔵文化財協会と統合し、新組織を財団法人大阪府文化財調査研究センターとして発足。
  - ・本部事務所を大阪市城東区蒲生2丁目11番3号小森ビル内に設置。新たに北部調査事務所を茨木市横江1丁目17-34に開設。旧財団法人大阪文化財センター長田分室を中部調査事務所とし、旧財団法人大阪府埋蔵文化財協会泉大津調査事務所を南部調査事務所とする。
- 組織の改正により、総務部、調査部の2部制とし、総務部に総務課、普及資料課を置き、調査部に調整課及び北部、中部、南部の3調査事務所を置く。
7. 10. 3
- ・史跡整備事業に初めて着手（池上曾根遺跡）。
7. 12. 15
- ・南部調査事務所を堺市熊野町西1丁目2-22に移転。
8. 9. 30
- ・北部調査事務所を箕面市今宮3丁目19-2に移転。
9. 2. 12
- ・泉佐野収蔵庫竣工。
9. 3. 31
- ・泉ヶ丘資料室（堺市竹城台3丁目21番4号）竣工。
10. 1. 12
- ・南阪奈道路関連の調査事業に着手するため、南部調査事務所古市分室を羽曳野市軽里3丁目1-13に開設。
10. 3. 31
- ・南部調査事務所泉北分室を閉鎖。
12. 8. 21
- ・本部事務所を堺市竹城台3丁目21番4号に移転する。
13. 2. 1
- ・南部調査事務所を堺市南田出井町1丁目1番10号に移転する。
13. 10. 31
- ・泉佐野収蔵庫を泉佐野市に移管する。
14. 2. 25
- ・財団法人大阪府博物館協会との統合にかかる寄附行為の変更認可を受ける。
14. 4. 1
- ・財団法人大阪府文化財調査研究センターは財団法人大阪府博物館協会と統合し、「財団法人大阪府文化財センター」に名称変更。
- 組織の改正により、総務部、調査部、普及部の3部及び弥生文化博物館部、近つ飛鳥博物館部、日本民家集落博物館部の3博物館部を置く。
- 日本民家集落博物館の管理運営、並びに大阪府立弥生文化博物館及び大阪府立近つ飛鳥博物館の管理運営の受託事業を財団法人大阪府博物館協会より引継ぎ、実施。
14. 11. 1
- ・泉佐野収蔵庫（市に移管した収蔵庫の北西隣接地に）竣工。
15. 3. 31
- ・北部調査事務所を閉鎖。
15. 4. 16
- ・第二京阪道路建設の調査事業の増加に伴い、京阪支所を寝屋川市堀溝1丁目1-15に開設、京阪支所交野分室を交野市藤が尾1丁目2に開設。

- |          |  |
|----------|--|
| 16. 4. 1 | ・京阪支所を京阪調査事務所に、中部調査事務所池島分室を池島支所に名称変更。                      |
| 18. 4. 1 | ・大阪府立弥生文化博物館及び大阪府立近つ飛鳥博物館並びに大阪府立近つ飛鳥風土記の丘の管理運営を指定管理者として受託。 |

### 3. 概要

#### (1) 目的

大阪府下における文化財の調査、整理、保存、研究、整備及び活用を行い、大阪府の文化財の保護並びに文化財に対する理解と認識を深めることに寄与する。

#### (2) 事業

設立趣旨に基づき次の事業を行う

- ① 埋蔵文化財の調査、整理、保存、研究及び活用
- ② 史跡、名勝及び天然記念物の調査、保存、研究、整備及び活用
- ③ 有形・無形・民俗文化財の調査、保存、研究、整備及び活用
- ④ 文化財に関する資料、情報の収集及び管理
- ⑤ 文化財の普及啓発
- ⑥ 日本民家集落博物館の管理及び運営
- ⑦ 大阪府が設置する博物館の管理及び運営の受託
- ⑧ 大阪府立近つ飛鳥風土記の丘の管理及び運営の受託
- ⑨ その他目的を達成するために必要な事業

#### (3) 出資者

財団法人大阪府博物館協会、大阪府、松下電器産業株式会社、住吉大社、四天王寺、財団法人藤田美術館

(4) 基本財産 116,700千円

(5) 機 構 (平成18年 3月31日現在)

《施設所在地》

ア 本部事務所	堺市南区竹城台3丁目21番4号
イ 京阪調査事務所	寝屋川市堀溝1丁目1番15
ウ 中部調査事務所	東大阪市長田東1丁目9番16号
エ 南部調査事務所	堺市堺区南田出井町1丁目1番10号
オ 京阪調査事務所交野分室	交野市藤が尾1丁目2
カ 中部調査事務所池島支所	八尾市福万寺町8丁目地先
キ 南部調査事務所古市分室	羽曳野市軽里3丁目1番13号
ク 普及資料課資料情報係	堺市南区竹城台3丁目21番4号
ケ 高石収蔵庫	高石市綾園4丁目地先
コ 岸和田収蔵庫	岸和田市磯上町1丁目地先
サ 泉佐野収蔵庫	泉佐野市上之郷(地内)
シ 大阪府立弥生文化博物館	和泉市池上町443

ス 大阪府立近つ飛鳥博物館  
 セ 日本民家集落博物館

南河内郡河南町大字東山299番地  
 豊中市服部緑地1番2号

(6) 役員・評議員及び職員

a 役員

(平成18年3月31日現在)

理事長	水野 正好	奈良大学 文学部名誉教授
専務理事	鳴澤 成泰	専任
理事	伊賀 節郎	(財)大阪府私学総連合会 代表
	大橋 太朗	阪急電鉄(株) 相談役
	堅田 直	帝塚山大学 名誉教授
	金関 恕	大阪府立弥生文化博物館 館長
	近藤 公夫	奈良女子大学 名誉教授
	佐々木高明	国立民族学博物館 名誉教授
	白石太一郎	大阪府立近つ飛鳥博物館 館長
	田辺 征夫	独立行政法人文化財研究所 奈良文化財研究所所長
	高野 浩二	(株)建設技術研究所 顧問
	竹内 脩	大阪府教育委員会 教育長
	藤 洋作	関西電力(株) 取締役社長
	町田 章	元奈良文化財研究所所長
	松園万亀雄	国立民族学博物館 館長
森下 洋一	松下電器産業(株) 相談役	
領木新一郎	大阪ガス(株) 相談役	
顧問	坪井 清足	(財)元興寺文化財研究所 副理事長兼所長
監事	中西 正人	大阪府教育員会事務局 理事兼教育次長
	藤田 周子	(財)藤田美術館 理事兼館長

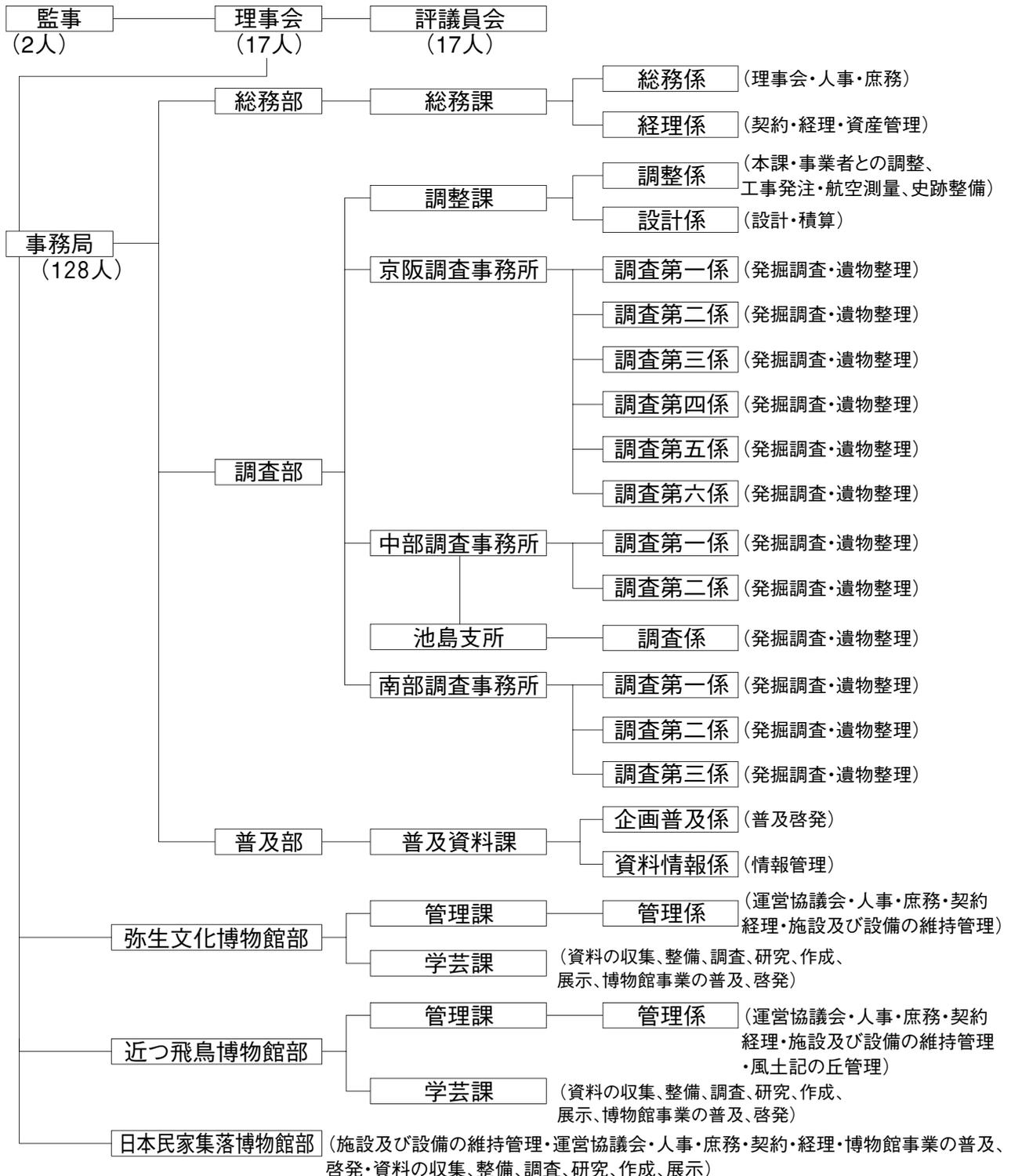
b 評議員

(平成18年3月31日現在)

東 利也	りそな銀行 大阪公務部長
有川 春代	アーツ&クラフツ チタ チタ代表
池田 良治	弁護士
蔵口 康裕	あずさ監査法人大阪事務所 公認会計士
小菅 源治	大阪府都市教育長協議会 代表 (岸和田市教育委員会 教育長)
佐藤 茂弘	ボーイスカウト大阪連盟泉州地区協議会 相談役
沢田 正昭	筑波大学 芸術学系教授
杉本 尚次	大阪人間科学大学 人間科学部教授
丹上 務	大阪府教育委員会事務局 文化財保護課長
辻本 勇	富本憲吉記念館 館長
都出比呂志	大阪大学 名誉教授
狭間恵三子	サントリ一次世代研究所 主任研究員

林野 全孝	京都府立大学 名誉教授
福田 惇一	大阪府町村教育長会 会長 (河南町教育委員会 教育長)
藤本 裕子	報道記者 (フリー)
真弓 常忠	住吉大社 宮司
南谷 恵敬	和宗総本山四天王寺 執事・学校法人四天王寺学園 担当理事

c 機 構



d 職員

職名	氏名	職名	氏名
事務局長	鳴澤 成泰	技師	本間 元樹
総務部長兼総務課長	浅田 稔	技師	川瀬 貴子
総務係長	藤川 保	技師	亀井 聡
主査	白橋 哲	技師	島崎 久恵
主任主事	白武 さよ	技師	新海 正和
主事	朝間 理恵	技師	國乘 博雄
主幹兼經理係長	秋山 芳廣	支所調査係長	池島 和雅
主事	真砂 郁寿	班長	西村 歩
主事	田淵 紀江	主査	陣内 暢子
調査部長	赤木 克視	主任技師	田中 龍男
調整課長	田中 和弘	技師	大庭 重信
調整係長	芝野 圭之助	技師	廣瀬 時習
主査	山上 弘	技師	塚本 浩司
主任主事	宮本 哲男	技師	福佐 美智
技師	信田 真美	技師	内田 真憲
設計係長	松元 政美	南部調査事務所長	藤田 正治
主査	鈴木 芳則	主任技師	立花 幸美
主査	橋本 眞一	主任技師	合田 幸芳
技師	北村 敦彦	主任技師	市本 三統
京阪調査事務所長兼普及資料課長	山本 彰	学芸員	山城 敏行
主査	上野 貞義	調査第一係長	岡村 淳則
主査	田口 宗淳	班長	中江 正重
調査第一係長	宮野 知秀	主査	入亀 洋之
主査	泉本 康宏	主査	積山 孝慶
主査	大楽 久之博	主査	土井 一司
技師	櫻井 智博	主査	黒田 研智
技師	井上 光裕	主査	平田 洋子
調査第二係長	佐伯 正昭	技師	池田 富貴
技師	金光 好潔	技師	江浦 子
技師	高橋 章子	主任技師	村上 昌弘
技師	近藤 輝徹	技師	井宮 茂史
技師	奥村 徹行	調査第三係長	岡本 幸一
技師	森本 紀哲	主査	桑野 慎太郎
調査第三係長	中尾 裕浩	技師	市村 大澄
主査	岡戸 陽武	技師	正岡 幸子
技師	辻 史郎	普及部長	福岡 圭司
技師	伊藤 義孝	企画普及係長	石本 生年
主幹兼調査第四係長	寺川 廣司	主任技師	石岡 三光
主査	小林 伸也	資料情報係長	岡上 惠三
技師	鈴木 律子	弥生文化博物館館長	村金 重哲
技師	田中 信義	副館長兼管理課長	田淵 宏一
技師	後藤 浩泰	管理係長	西野 和泰
調査第五係長	山平 孝雄	主事	世山 健一
主査	南 幸子	主査	小谷 隆次
技師	若林 希子	専門員	吉田 伸次
技師	黒須 正浩	学芸員	山原 一郎
調査第六係長	三宅 貞雄	学芸員	竹石 克秀
主査	森井 武彦	近つ飛鳥博物館館長	白石 秀和
技師	小松 太郎	副館長兼管理課長	福西 正
技師	後川 久隆	管理係長	五藤 正浩
中部調査事務所長	小野 彰一	学芸課長	藤島 雅乘
主査	片山 誠治	専門員	島井 泰史
主査	山口 洋子	専門員	藤井 成
主任主事	鎗山 どり	学芸員	宮崎 成
主任技師	服部 み	学芸員	小浜 友三
調査第一係長	松岡 良憲	学芸員	井藤 久美
主任技師	駒井 正建	学芸員	中井 友三
技師	山元 美佐	副館長	森屋 孝一
調査第二係長	森屋 美佐	学芸員	三好 孝一
班長	三好 孝一	学芸員	

## Ⅱ 平成17年度の事業概要及び決算

### 1. 理事会及び評議員会

以下のとおり理事会及び評議員会を開催し、上程議案はいずれも承認又は可決された。

年 月 日	会 議 名 称	場 所	議 案
平成17年 6 月23日	第1回評議員会	ホテルアウリーナ大阪	1. 平成16年度事業報告及び収支決算について 2. 理事の選任について
	第1回理事会	ホテルアウリーナ大阪	1. 平成16年度事業報告及び収支決算について 2. 評議員の選出について
平成18年 3 月27日	第2回評議員会	ホテルアウリーナ大阪	1. 平成17年度補正予算（案）について 2. 平成18年度事業計画（案）及び収支予算（案）について 3. 理事の選任について
	第2回理事会	ホテルアウリーナ大阪	1. 平成17年度補正予算（案）について 2. 平成18年度事業計画（案）及び収支予算（案）について 3. 評議員の選出について 4. 専務理事の互選について 5. 役員報酬について

## 2. 決 算

### 収 支 計 算 書 総 括 表

(平成17年4月1日から平成18年3月31日まで)

科 目	合 計	一般会計	書籍等販売事業 特別会計
I 収入の部			
1. 基本財産運用収入	1,608,261	1,608,261	
2. 基金運用収入	828	828	
3. 会費収入	4,000,000	4,000,000	
4. 埋蔵文化財事業収入	4,928,759,240	4,928,759,240	
5. 弥生文化博事業収入	175,305,789	175,305,789	
6. 近つ飛鳥博事業収入	196,783,915	196,783,915	
7. 民家集落博事業収入	14,017,167	14,017,167	
8. 書籍等販売事業収入	13,496,342		13,496,342
9. 補助金等収入	26,506,597	26,506,597	
10. 寄附金収入	898,825	898,825	
11. 雑収入	13,587,200	13,506,457	80,743
12. 特定資産取崩収入	201,442,638	201,442,638	
13. 繰入金収入	0	2,558,630	3,409,560
当期収入合計 (A)	5,576,406,802	5,565,388,347	16,986,645
前期繰越収支差額	21,680,535	15,819,403	5,861,132
収 入 合 計 (B)	5,598,087,337	5,581,207,750	22,847,777
II 支出の部			
1. 埋蔵文化財事業費	4,746,722,739	4,746,722,739	
2. 弥生文化博事業費	175,601,049	175,601,049	
3. 近つ飛鳥博事業費	196,922,325	196,922,325	
4. 民家集落博事業費	29,124,539	29,124,539	
5. 府立博自主事業費	6,239,653	6,239,653	
6. 書籍等販売事業費	12,809,878		12,809,878
7. 管理費	194,716,818	194,716,818	
8. 府立博物館指定管理準備支出	3,331,427	3,331,427	
9. 固定資産取得支出	66,534,030	66,534,030	
10. 特定資産支出	64,461,731	64,461,731	
11. 繰入金支出	0	9,138,954	10,037,899
当期支出合計 (C)	5,496,464,189	5,492,793,265	22,847,777
当期収支差額 (A) - (C)	79,942,613	72,595,082	△ 5,861,132
次期繰越収支差額 (B) - (C)	101,623,148	88,414,485	0

#### ※ 内部取引消去

書籍等販売事業特別会計(センター部)から一般会計(埋蔵文化財事業)への繰入	164,828円
一般会計(埋蔵文化財事業)から一般会計(弥生文化博物館事業)への繰入	295,260円
一般会計(埋蔵文化財事業)から一般会計(近つ飛鳥博物館事業)への繰入	138,410円
一般会計(埋蔵文化財事業)から一般会計(日本民家集落博物館事業)への繰入	380,000円
書籍等販売事業特別会計(センター部)から一般会計(日本民家集落博物館事業)への繰入	79,880円
書籍等販売事業特別会計(博物館部)から一般会計(府立博物館自主事業)への繰入	1,500,000円
一般会計(弥生文化博物館事業)から一般会計(府立博物館自主事業)への繰入	110円
一般会計(近つ飛鳥博物館事業)から一般会計(府立博物館自主事業)への繰入	142円
一般会計(日本民家集落博物館事業)から日本民家集落博物館特別会計への繰入	1,003,526円
一般会計(埋蔵文化財事業)から書籍等販売事業特別会計(センター部)への繰入	3,390,000円
書籍等販売事業特別会計(センター部)から書籍等販売事業特別会計(博物館部)への繰入	19,560円
一般会計(府立博物館自主事業)から府立博物館自主事業特別会計への繰入	3,931,506円
書籍等販売事業特別会計(博物館部)から府立博物館自主事業特別会計への繰入	8,273,631円

(単位：円)

弥生文化博物館 特別会計	近つ飛鳥博物館 特別会計	日本民家集落博物館 特別会計	財団自主事業 特別会計	府立博物館自主事業 特別会計	内部取引消去
		1,003,526		12,205,137	△ 19,176,853
0	0	1,003,526	0	12,205,137	△ 19,176,853
0	0	0	0	0	
0	0	1,003,526	0	12,205,137	△ 19,176,853
					△ 19,176,853
0	0	0	0	0	△ 19,176,853
0	0	1,003,526	0	12,205,137	0
0	0	1,003,526	0	12,205,137	0

### 3. 調査事業の概要

#### (1) 調査事業一覧

管轄	番号	遺跡（調査名）	調査地	事業名	事業者	事業の種別	受託契約期間	平成17年度事業費 (千円)					
京阪調査事務所	1	讃良郡条里遺跡03-1 〔調査〕	寝屋川市小路・高宮	讃良郡条里遺跡 (その2の3)	国土交通省	道路建設	H17. 4. 1～H17. 5. 31	76, 339, 200					
	2	讃良郡条里遺跡03-2 〔調査〕	寝屋川市小路・高宮	讃良郡条里遺跡 (その3の3)	国土交通省	道路建設	H17. 4. 1～H17. 5. 31	118, 794, 900					
	3	讃良郡条里遺跡03-1 〔整理〕	寝屋川市小路・高宮	讃良郡条里遺跡 他	国土交通省	道路建設	H17. 4. 1～H18. 3. 31	170, 474, 850					
	4	讃良郡条里遺跡03-2 〔整理〕	寝屋川市小路・高宮										
	5	讃良郡条里遺跡03-3 〔整理〕	寝屋川市楠根南町										
	6	太秦遺跡・太秦古墳群03-1 〔整理〕	寝屋川市国守町										
	7	太秦遺跡・太秦古墳群05-1 〔調査・整理〕	寝屋川市国守町										
	8	太秦遺跡・太秦古墳群05-3 〔調査・整理〕	寝屋川市打上・国守町										
	9	寝屋東遺跡05-1 〔調査・整理〕	寝屋川市寝屋										
	10	大尾遺跡05-1 〔調査・整理〕	寝屋川市国守町										
	11	讃良郡条里遺跡05-1 〔調査・整理〕	寝屋川市小路										
	12	讃良郡条里遺跡05-2 〔調査・整理〕	寝屋川市高宮・小路										
	13	小路遺跡04-1・2 〔調査・整理〕	寝屋川市小路・高宮										
	14	讃良郡条里遺跡03-4 〔調査〕	寝屋川市新家・四條畷市砂						讃良郡条里遺跡 (その5の4)	国土交通省	道路建設	H17. 4. 1～H18. 3. 31	304, 348, 800
	15	讃良郡条里遺跡03-5 〔調査・整理〕	寝屋川市新家						讃良郡条里遺跡 (その6の3)	国土交通省	道路建設	H17. 4. 1～H18. 3. 31	233, 500, 050
	16	讃良郡条里遺跡03-6 〔調査〕	寝屋川市讃良東町・讃良西町	讃良郡条里遺跡 (その7の2)	国土交通省	道路建設	H17. 4. 1～H18. 3. 31	295, 609, 650					

単年面積	時期・性格	主な遺構・遺物	担当者		備考	
4,978	縄文時代～中世 集落・生産	竪穴住居・掘立柱建物・井戸・流路 縄文土器・弥生土器・土師器・石器・石製品・銭貨	櫻井久之	井上智博	平成15～17年度	
7,459	縄文時代～中世 生産	掘立柱建物・ピット・井戸・溝・土坑・流路 縄文土器・弥生土器・土師器・須恵器・埴輪・黒色 土器・瓦器・瓦質土器・瓦・石器・石製品・金属製 品	佐伯博光 (青柳佳奈)		平成15～17年度	
—	縄文時代～中世 集落・生産	竪穴住居・掘立柱建物・井戸・流路 縄文土器・弥生土器・土師器・石器・石製品・銭貨	櫻井久之	井上智博	平成17～18年度	
—	縄文時代～中世 集落・生産	掘立柱建物・ピット・井戸・溝・土坑・流路 縄文土器・弥生土器・土師器・須恵器・埴輪・黒色 土器・瓦器・瓦質土器・瓦・石器・石製品・金属製 品	佐伯博光 (青柳佳奈)		平成17～18年度	
—	縄文時代～中世 集落・生産	掘立柱建物・柱穴・井戸・土坑・渠・水田・畑・流 路 縄文土器・弥生土器・土師器・須恵器・瓦器・陶 器・磁器・瓦・埴輪・石器・木製品・金属製品	近藤章子		平成17～18年度	
—	弥生～古代 集落・墓	竪穴住居・墓壇・方形周溝墓・古墳・掘立柱建物 弥生土器・石器・土師器・須恵器	市本芳三		平成17～18年度	
900	弥生時代～古代 集落・墓	方形周溝墓・竪穴住居・掘立柱建物 弥生土器・土師器・須恵器・石器・石製品	市本芳三			
1,425	弥生時代～古代 集落・墓	溝・土坑・ピット・古墳 ガラス玉	大楽康宏			
528	古代～中世 集落	掘立柱建物・落ち込み・溝・棚田 土師器・須恵器・瓦	櫻井久之			
226	弥生時代～古代 集落・墓	落ち込み 弥生土器・土師器・須恵器	井上智博			
300	縄文時代～中世 生産	ピット・溝・土坑 縄文土器・弥生土器・土師器・須恵器・瓦器・黒色 土器 サヌカイト剥片	佐伯博光 (青柳佳奈)			
220	縄文時代～中世 集落・生産	土坑・柱穴・溝・流路 縄文土器・土師器・石製品	泉本知秀	櫻井久之		
20	縄文時代～中世 集落	流路・溝・土手状遺構 弥生土器・土師器・須恵器・木製品	泉本知秀 (青柳佳奈)			
2,474	縄文時代～中世 集落・生産	水田・掘立柱建物・竪穴住居・井戸・溝・土坑 縄文土器・弥生土器・土師器・須恵器・黒色土器・ 瓦器・陶器・磁器・石器・木製品	内田好昭 (山根航)	中尾智行		平成15～17年度
3,720	弥生時代～古代 集落・生産	水田・掘立柱建物・井戸・土坑・土器埋納遺構・流 路 弥生土器・土師器・須恵器・石器・木製品・動物遺 存体	高橋潔 (上本志穂)	森本徹		平成15～17年度
8,140	弥生時代～中世 集落・生産	水田・畠・掘立柱建物・井戸・土坑 弥生土器・瓦質土器・瓦器・磁器・瓦・土師器・須 恵器・石製品・木製品・獣骨	奥村茂輝 (村田昌也)	鹿野塁	平成16～17年度	

管轄	番号	遺跡（調査名）	調査地	事業名	事業者	事業の種別	受託契約期間	平成17年度事業費 (千円)
京 阪 調 査 事 務 所	17	巢本遺跡03-1 〔調査〕	門真市北巢本町	巢本遺跡 (その1の2)	国土交通省	道路建設	H17. 4. 1～H18. 3. 31	142, 364, 250
	18	巢本遺跡03-2 〔調査〕	門真市北巢本町	巢本遺跡 (その2の2)	国土交通省	道路建設	H17. 4. 1～H18. 3. 31	145, 354, 650
	19	巢本遺跡03-1・2 〔産廃処理〕	門真市北巢本町	巢本遺跡 (その3の2)	国土交通省	道路建設	H17. 4. 1～H18. 3. 31	232, 138, 200
	20	有池遺跡03-1・2 〔整理〕	交野市青山	有池・上私部 遺跡他	西日本高速道路株 式会社関西支社	道路建設	H17. 4. 1～H18. 3. 31	240, 162, 300
	21	上の山遺跡05-3 〔調査・整理〕	枚方市茄子作南 町					
	22	上の山遺跡03-1 〔整理〕	交野市私部西・ 枚方市茄子作南 町					
	23	上私部遺跡03-1 〔整理〕	交野市青山					
	24	平池遺跡04-1 〔整理〕	交野市星田北					
	25	私部南遺跡04-1 〔整理〕	交野市向井田					
	26	東倉治遺跡04-1・2 〔整理〕	交野市東倉治					
	27	上私部遺跡05-1 〔調査〕	交野市青山					
	28	津田遺跡05-1 〔調査〕	枚方市津田南町	津田遺跡	西日本高速道路株 式会社関西支社	道路建設	H17. 12. 1～H18. 3. 31	19, 929, 000
	29	東倉治遺跡04-2 〔調査〕	交野市東倉治	東倉治遺跡 (その2)	西日本高速道路株 式会社関西支社	道路建設	H17. 4. 1～H17. 7. 30	66, 588, 900
	30	茄子作・茄子作下浦 遺跡04-1〔調査〕	枚方市茄子作南 町	茄子作・茄子作 下浦遺跡	西日本高速道路株 式会社関西支社	道路建設	H17. 4. 1～H18. 3. 31	277, 207, 350
	31	太秦遺跡・太秦古墳 群05-2 〔調査〕	寝屋川市国守町	上の山遺跡他 (府道)	大阪府土木部	道路建設	H17. 7. 1～H18. 7. 31	107, 106, 300
	32	上の山遺跡05-1 〔調査〕	交野市私部西		大阪府土木部	道路建設		
	33	上の山遺跡05-2 〔調査〕	交野市私部西		大阪府土木部	道路建設		
	34	倉治遺跡05-1 〔調査〕	交野市倉治	上の山遺跡他 (府道)	大阪府土木部	道路建設	H17. 7. 1～H18. 7. 31	107, 106, 300
35	倉治遺跡05-2 〔調査〕	交野市倉治	大阪府土木部		道路建設			
36	倉治遺跡05-3 〔調査〕	交野市倉治	大阪府土木部		道路建設			

単年面積	時期・性格	主な遺構・遺物	担当者		備考
4,180	中世 集落・生産	堤・掘立柱建物・井戸・土坑・流路 土師器・瓦器・陶器・木製品・金属製品	辻裕司 (清岡廣子)	永野仁 (井上宗嗣)	平成15～18年度
5,740	中世 集落・生産	溝・掘立柱建物・井戸・ピット・土坑 土師器・須恵器・瓦器・瓦質土器・陶器・磁器・ 瓦・木製品	李陽浩 (木村寛之)	伊藤武	平成15～18年度
—	—	—	—	—	平成16～17年度
—	縄文時代～中世 集落・生産	竪穴住居・屋敷地・井戸・土坑・ピット・石敷遺 構・堀・溝・流路・炭窯・水場 須恵器・土師器・瓦器・瓦質土器・陶器・磁器・木 製品・漆器	若林幸子 (大竹正裕)		
400	—	—	後藤信義		
—	旧石器時代～中 世 集落・生産	掘立柱建物・竪穴住居・水田・土坑・井戸・溝・流 路 縄文土器・弥生土器・土師器・須恵器・木製品・石 器	後藤信義 (矢倉嘉人)		
—	古墳時代～中世 集落	竪穴住居・掘立柱建物・溝・土坑・井戸・流路 土師器・須恵器・瓦器・陶器・磁器・瓦	鈴木廣司	田中利津子	
—	古墳時代～中世 集落・生産	溝・ピット・水田・井戸 土師器・須恵器・陶器・磁器・石器・石製品・金属 製品	秋山浩三		
—	縄文時代～中世 集落・生産	竪穴住居・水田・土坑・井戸・溝・流路 縄文土器・弥生土器・土師器・須恵器・木製品・石 器	森井貞雄 後川恵太郎	小松武彦 (山田浩史)	
—	弥生時代～中世 集落	竪穴住居・落ち込み・土坑・ピット・溝・流路 縄文土器・弥生土器・土師器・須恵器・瓦器・瓦質 土器・灰釉陶器・磁器・鉄製品・石器・石製品	合田幸美 (岡本智子)	平田泰	
4,285	古墳時代・中世 集落	掘立柱建物・竪穴住居・溝・土坑・流路・水田 土師器・須恵器・瓦器・瓦質土器・陶器・磁器・木 製品・石器	網伸也 (湯川善一)	田中利津子 (丸吉繁一)	
680	弥生時代～中世 集落・生産	—	平田泰 (遠藤啓輔)	南孝雄 (岡本智子)	平成17～18年度
440	弥生～飛鳥時代 集落	土坑・ピット・溝・流路 土師器・須恵器・石器・サヌカイト剥片・石製品	合田幸美 (遠藤啓輔)		
8,666	縄文時代～中世 集落・生産	溝・竪穴住居・ピット・掘立柱建物・土坑・水田・ 井戸・流路 縄文土器・弥生土器・土師器・須恵器・瓦器・陶 器・磁器・木製品	南孝雄 黒須亜希子	平田泰 (三浦基行)	
220	弥生時代～中世 墓	竪穴住居・土坑・井戸・溝・ピット・古墳 弥生土器・須恵器・瓦器・石器・石製品・土製品	大楽康宏 (六辻彩香)		
1,850	縄文時代～中世 集落・生産・墓	方形周溝墓 弥生土器	小林義孝		平成17～18年度
1,240	縄文時代～中世 集落・生産・墓	土器棺墓・掘立柱建物・竪穴住居 縄文土器・弥生土器	小林義孝		
628	飛鳥時代 生産	溝 須恵器	小林義孝		
615	古墳時代 生産	沼状遺構 土師器・須恵器	小林義孝		平成17～18年度
0	古墳時代 生産	沼状遺構 土師器・須恵器	小林義孝		

管轄	番号	遺跡（調査名）	調査地	事業名	事業者	事業の種別	受託契約期間	平成17年度事業費 （千円）
中部調査事務所	37	片山荒池遺跡05-1 〔調査・整理〕	吹田市片山町	片山荒池遺跡	大阪府住宅供給公社	集合住宅建設	H17. 6. 1～H18. 6. 30	34, 912, 500
	38	勝部遺跡05-1 〔調査〕	豊中市走井	勝部遺跡 （その5）	国土交通省大阪航空局	緑地整備	H18. 1. 4 ～H18. 3. 31	10, 707, 900
	39	禁野本町遺跡03-1 〔整理〕	枚方市禁野本町	禁野本町遺跡整理 （その2）	財務省近畿財務局	集合住宅建設	H17. 4. 19～H18. 3. 17	30, 122, 400
	40	福井遺跡04-1 〔整理〕	茨木市室山	福井遺跡	（財）大阪府警察協会	病院増築	H16. 12. 1～H17. 9. 30	6, 934, 200
	41	吹田操車場遺跡 〔調査〕	吹田市芝田町	吹田操車場遺跡 （その6）	独立行政法人 鉄道建設・運輸施設整備支援機構国鉄清算事業本部西日本支社	信号所基盤整備	H18. 3. 1 ～H19. 3. 31	2, 482, 200
	42	山賀遺跡03-1 〔調査〕	八尾市新家町	山賀遺跡	大阪府土木部	調節池築造	H16. 2. 2～H17. 9. 30	22, 652, 700
	43	山賀遺跡05-1 〔調査・整理〕	八尾市新家町	山賀遺跡 （その2）	大阪府土木部	調節池築造	H17. 10. 3～H19. 6. 29	18, 509, 400
	44	小阪合遺跡04-1 〔調査・整理〕	八尾市若草町	小阪合遺跡	大阪府住宅供給公社	集合住宅建設	H16. 4. 1～H17. 6. 30	661, 500
	45	花園遺跡隣接地遺跡 04-1・2 〔調査〕	東大阪市吉田1丁目	花園遺跡隣接地	近畿日本鉄道株式会社	連続立体交差化事業	H16. 11. 1～H17. 5. 31	7, 526, 400
	46	新上小阪遺跡05-1 〔調査〕	東大阪市新上小阪	新上小阪遺跡	大阪府建築都市部住宅整備課	集合住宅建設	H17. 4. 1～H18. 7. 31	427, 240, 800
	47	植松遺跡05-1 〔調査〕	八尾市植松町	植松遺跡	大阪府建築都市部住宅整備課	集合住宅建設	H17. 4. 1～H19. 1. 31	128, 059, 050
	48	久宝寺遺跡04-1 〔整理〕	八尾市竜華町	久宝寺遺跡水環境 （その2）	大阪府東部流域下水道事務所	水処理施設建設	H17. 4. 1～H18. 3. 31	46, 069, 800
	49	玉櫛遺跡 〔調査〕	茨木市玉櫛	玉櫛遺跡	大阪府建築都市部住宅整備課	集合住宅建設	H18. 2. 1～H18. 3. 31	2, 403, 450
	50	池島・福万寺遺跡03-1 〔調査・整理〕	八尾市福万寺町	池島・福万寺遺跡Ⅱ （その1）	大阪府寝屋川水系改修工営所	治水緑地造成	H16. 2. 19～H18. 3. 27	404, 226, 050
	51	池島・福万寺遺跡04-2 〔調査〕	東大阪市池島町	池島・福万寺遺跡Ⅱ （その2）	大阪府寝屋川水系改修工営所	治水緑地造成	H16. 10. 1～H18. 8. 31	164, 046, 750
	52	池島・福万寺遺跡05-1 〔調査〕	八尾市福万寺町	池島・福万寺遺跡Ⅱ （その3）	大阪府寝屋川水系改修工営所	治水緑地造成	H17. 7. 22～H19. 9. 28	69, 086, 850
53	池島・福万寺遺跡05-2 〔調査・整理〕	東大阪市池島町	池島・福万寺遺跡Ⅱ （その4）	大阪府寝屋川水系改修工営所	治水緑地造成	H17. 7. 22～H19. 9. 28	63, 122, 850	

単年面積	時期・性格	主な遺構・遺物	担当者		備考
1,513	古墳時代・中世 集落	土坑・柱穴・池 土師器・須恵器・瓦器・陶器・磁器・埴輪	山元建		平成17～18年度
192	弥生～古墳時代 中世 集落	溝・水田・土坑・土器集積遺構 弥生土器・土師器・石製品・須恵器・土師器	山元建		
0	古墳時代・平安 時代（明治～昭和） 集落・（近代化 遺産）	竪穴住居・掘立柱建物・（旧陸軍禁野火薬庫内施設） 須恵器・土師器・黒色土器・瓦・（砲弾・信管・煉瓦）	駒井正明 （長嶺睦）		
0	古墳時代・平安 時代・中世 生産	耕作痕・土坑・溝 須恵器・土師器・埴輪・瓦器・瓦質土器・石器	山元建		平成16～17年度
0	—	—	—		平成17～18年度
2,846	縄文時代～中世 集落・墓	溝・木棺・土坑・ピット 縄文土器・弥生土器・石器・木製品・骨	本間元樹 （向井妙）		平成16～17年度
74.8	縄文時代～中世 集落・墓	溝・ピット 弥生土器・木杭・瓦・獣骨	本間元樹 （向井妙）		平成17～19年度
1,625	古墳時代～中世 集落	井戸・土坑・柱穴・溝 土師器・石製品・埴輪・韓式系土器・黒色土器・瓦器・陶器・磁器・瓦・金属製品	新海正博 （松下知世）		平成16～17年度
51	弥生時代～中世 集落・生産	溝・河川 土師器・須恵器・瓦器・瓦質土器・陶器・木製品・瓦・金属製品・銭貨	川瀬貴子		平成16～17年度
1,465	縄文時代～中世 集落・生産	竪穴住居・掘立柱建物・土坑・井戸・溝・堤・水田 弥生土器・石器・石製品・土師器	三好孝一 新海正博	島崎久恵 （池田晋）	平成17～18年度
578	弥生時代～中世 集落	溝・島島・河川・杭列・噴砂 土師器（墨書土器）・須恵器	川瀬貴子	降矢哲男	平成17～18年度
0	縄文時代～中世 集落・生産・墓	水田・島島・井戸・水路・溝・土坑・竪穴住居・畑・土器溜・墳墓・土壙墓・木棺墓・土器棺墓・流路・しがらみ・掘立柱建物・溜池・柱穴・流路・しがらみ 縄文土器・弥生土器・土師器（墨書土器）・須恵器・瓦器・陶器・磁器・土製品・瓦・石器・石製品・木製品・ガラス小玉・金属製品・銭貨・スラグ・獣骨・人骨	亀井聡 （日野祥子）		
0	—	—	—		平成17年度は準備工
4,059	縄文時代～近・ 現代 生産	水田・島島・畑・流路・溝・井戸・土坑・ピット・しがらみ・杭列 弥生土器・土師器・須恵器・瓦器・瓦質土器・陶器・磁器・木製品・石製品・石器・金属製品・獣骨	西村歩 （松下知世）	塚本浩司	平成15～17年度
1,865	縄文時代～近・ 現代 生産	木棺墓・土坑墓・土器棺墓・掘立柱建物・溝・水田・島島・井戸・流路 縄文土器・弥生土器・土師器・須恵器・瓦器・陶器・磁器・土製品・石製品・石器	田中龍男 （鬼頭彰）		平成16～18年度
2,846	縄文時代～近・ 現代 生産	水田・島島・土坑・溝・河川 陶器・磁器・瓦器	大庭重信 （山中信人）	福佐美智子	平成17～19年度
2,633	縄文時代～近・ 現代 生産	水田・島島・溝・井戸 土師器・須恵器・陶器・磁器・瓦	広瀬雅信 （松野元宏）		平成17～18年度

管轄	番号	遺跡（調査名）	調査地	事業名	事業者	事業の種別	受託契約期間	平成17年度事業費 （千円）
中部 調査 事務所	54	弓削ノ庄遺跡04-1・亀田遺跡04-1・東大阪市南西部遺跡群03-1 〔整理〕	東大阪市柏田西～衣摺、俊徳町	弓削ノ庄遺跡他	大阪外環状鉄道株式会社	連続立体交差化事業	H17. 4. 1～H17. 8. 31	4, 688, 250
	55	三宅西遺跡04-2 〔調査〕	松原市三宅西	三宅西遺跡 （その2）	大阪府土木部	道路建設	H16. 11. 1～H18. 9. 29	473, 464, 950
		56	三宅西遺跡04-3 〔調査〕	松原市三宅西	三宅西遺跡 （その3）	大阪府土木部	道路建設	
	57	池内遺跡05-1 〔調査〕	松原市天美北・天美東	池内遺跡 （その1）	大阪府土木部	道路建設	H17. 4. 1～H19. 3. 30	464, 087, 400
		58	池内遺跡05-2 〔調査〕	松原市天美北	池内遺跡 （その2）	大阪府土木部	道路建設	
	59	史跡池上曾根遺跡05-1 〔調査・整理〕	和泉市池上町	史跡池上曾根遺跡 （その5）	和泉市	史跡整備	H17. 6. 10～H18. 3. 31	19, 600, 000
	60	伽羅橋遺跡整理 〔整理〕	高石市高師浜	伽羅橋遺跡 （その7）	大阪府土木部	道路建設	H17. 6. 16～H17. 9. 30	787, 500
	61	大坂城跡03-1 〔整理〕	大阪市中央区大手前	大坂城跡	大阪府警察本部	府庁舎建設	H16. 5. 1～H18. 3. 31	21, 609, 000
	62	上町東遺跡05-1 〔調査〕	泉佐野市旭町	湊遺跡他 （その2）	大阪府土木部	連続立体交差化事業	H17. 7. 21～H18. 3. 24	97, 123, 950
		63	湊遺跡05-1 〔調査〕					
	64	童子畑遺跡05-1・童子畑北遺跡05-1 〔調査・整理〕	泉南市信達童子畑	童子畑遺跡	大阪府土木部	道路建設	H17. 9. 30～H18. 2. 28	8, 897, 700
	65	八尾南遺跡03-1 〔整理〕	八尾市若林地区	八尾南遺跡	国土交通省	高規格堤防建設	H17. 5. 1～H18. 3. 10	30, 467, 850
	66	田井中遺跡05-1 〔調査〕	八尾市空港	田井中遺跡	大阪防衛施設局	警衛所及び浴場建設	H17. 10. 1～H18. 6. 30	51, 388, 050
	67	はさみ山遺跡05-1 〔調査・整理〕	藤井寺市藤井寺公団	はさみ山遺跡 （その2）	独立行政法人都市再生機構西日本支社	集合住宅建設	H17. 4. 1～H18. 3. 31	19, 931, 100

単年面積	時期・性格	主な遺構・遺物	担当者		備考
0	縄文時代～中世 集落・生産	水田・掘立柱建物・溝・土坑・方形周溝墓・高まり 縄文土器・弥生土器・須恵器・土師器	島崎久恵		
14,850	弥生時代～近世 集落・生産	竪穴住居・周溝墓・掘立柱建物・溝・土坑・ピット・流路 土師器・須恵器・瓦器・石器・サヌカイト・馬骨	黒田慶一 (内田真雄)	河端智 (佐藤由美)	平成16～18年度
	縄文時代～近世 集落・生産	掘立柱建物・溝・土坑・井戸・ピット・竪穴住居・ 流路・堰 縄文土器・弥生土器・土師器・須恵器・百済土器・ 韓式土器・サヌカイト・石器	中村淳磯 (清水梨代)	池田研	平成16～18年度
15,770	弥生時代～中世 集落・生産	井戸・土坑・掘立柱建物・水田・溝 弥生土器・須恵器・土師器・黒色土器・瓦器・石器	入江正則 (西川雄大)	積山洋	平成17～18年度
	弥生時代～中世 集落・生産	溝・土坑・水田・掘立柱建物・道路状遺構・井戸 弥生土器・須恵器・土師器・黒色土器・緑釉陶器・ 銭貨・瓦	亀島重則 (永田由香)	平田洋司	平成17～18年度
345	弥生時代～中世 集落・生産	柱穴・土坑 弥生土器・須恵器・土師器	土井孝之		
0	弥生時代・中世 集落・墓	井戸・土坑・ピット・溝・方形周溝墓 弥生土器・須恵器・土師器・瓦器・陶器・磁器	井藤暁子	河端智	
0	古墳時代～近代 宮都・城郭	流路・柱穴・護岸遺構・集石遺構・堀・井戸・土 坑・建物跡・溝 土師器・須恵器・木製品・漆容 器・陶器・磁器・銭貨・瓦(金箔押し瓦)・金属製 品・煉瓦・ガラス瓶	江浦洋		平成16～17年度
1,465	弥生時代～中世 集落・生産	溝・掘立柱建物・井戸 土師器・須恵器・瓦器・陶器・磁器・土錘・蜻壺・ 輪羽口	三宮昌弘 (関本優美子)		
555	弥生時代～中世 集落・生産	溝・畝・暗渠 陶器・磁器・弥生土器・土錘・蜻壺・製塩土器	三宮昌弘 (関本優美子)		
100	近世 生産	暗渠 陶器	井藤暁子		
0	旧石器時代～中世 集落・生産	方形周溝墓・土器埋納土坑・古墳周溝・竪穴住居・ 掘立柱建物・土壙墓・井戸・水田・土坑・溝 弥生土器・土師器・須恵器・瓦器・陶器・磁器・石 器・ガラス小玉・埴輪・木製品	岡本茂史 (鶴山まり)	正岡大実	
432	弥生時代～中世 集落・生産	土器棺墓・溝・土坑・ピット・水田 縄文土器・弥生土器・石器・土師器・須恵器・黒色 土器・瓦器・陶磁器	桑野一幸 (野嶋美沙子)		平成17～18年度
787	旧石器時代～中世 集落・生産	掘立柱建物・柵列・井戸・溝・土坑・ピット・円筒 棺 土師器・須恵器・黒色土器・瓦器・瓦質土器・陶 器・磁器・製塩土器・瓦・埴輪・土製品・陶硯・銅 銭・輪羽口・漆容器・石器・木製品・石製品・鉄 滓・動物遺存体	市村慎太郎		

## (2) 調査の概要

### a 京阪調査事務所

#### 1. 讚良郡条里遺跡03-1 [調査]



里木Ⅱ式土器出土状況

この調査地は、枚方丘陵の西側に形成された扇状地に立地している。発掘調査は平成15年度から調査を継続しており、平成17年度は下層確認トレンチを掘削して、縄文時代後期以前の地層の状況を確認し、遺物の有無を確認した。その結果、縄文時代早期後半～中期前葉の流路の変遷過程を明確にすることができた。また、流路を埋める堆積物中から、縄文時代前期の粟津SZ式、北白川下層Ⅱ～Ⅲ式、大歳山式土器や、前期末～中期初頭に属すると考えられる土器片が出土した。

#### 2. 讚良郡条里遺跡03-2 [調査]



掘立柱建物（北西より）

寝屋川市高宮地内に所在する。第二京阪道路（大阪北道路）建設に伴う発掘調査で、平成15年～17年にかけて行った。縄文時代晩期頃に形成された微高地部分で、7世紀前半の掘立柱建物を26棟と溝・ピットを検出した他、古墳時代前期（布留期）の土坑を検出している。微高地の縁辺を流れる流路からは、7世紀前半の遺物を中心に、6世紀中頃の土器や埴輪が出土しており、周辺から耳環（金環）が1点出土していることから、調査区の南東に古墳があった可能性が考えられる。下層からは、

縄文時代後期の石器製作跡と考えられる石器集中部が見つかっている。

#### 3. 讚良郡条里遺跡03-1 [整理]

この調査地は、平成15年度から17年度にかけて発掘調査を実施した。調査終了後、遺物整理をおこなった。今年度整理した主な遺物としては、弥生時代後期後半～庄内式古段階の土器、縄文時代中期末に属する北白川C式土器などがあげられる。

#### 4. 讚良郡条里遺跡03-2 [整理]

平成15年～17年の3ヶ年にかけて行った、讚良郡条里遺跡03-2の整理事業である。対象となった面積（最終遺構面）は、16,660㎡、調査を行った遺構面は12面である。出土した遺物は、土器・石器・木製品・金属製品をあわせ、コンテナ約120箱で、報告書作成へ向けての整理作業を行っている。

#### 5. 讚良郡条里遺跡03-3 [整理]

平成15年度及び16年度に発掘調査を実施した讚良郡条里遺跡03-3の遺物整理事業である。遺物整理の継続、遺物写真撮影、遺物収納、台帳作成、報告書の執筆、印刷製本を実施した。報告書は『讚良郡条里遺跡Ⅳ』として平成18年2月28日に刊行した。

#### 6. 太秦遺跡・太秦古墳群03-1 [整理]

弥生時代中期の大形竪穴住居を有する集落・周溝墓、古墳時代中期の群集墳、古代の掘立柱建物・竪穴住居が検出した遺跡である。整理の結果、弥生時代の土器は中期中葉を含みながら中期後半を中心に

中期末をほとんど含まないことがわかった。北河内の良好な土器資料を提示することができた。

#### 7. 太秦遺跡・太秦古墳群05-1 [調査・整理]

太秦遺跡・太秦古墳群03-1 調査区の西端に隣接した地点であり、弥生時代中期の集落と周溝墓、古代集落のひろがりが見込まれた。

弥生時代中期は既検出の周溝墓1の西側周溝を検出し、東西約16m、南北12mの規模であることが明らかになった。円形の竪穴住居は3棟検出し、合計35棟となった。古代は掘立柱建物1棟、方形の竪穴住居3棟を検出し、合計掘立柱建物13棟、竪穴住居5棟となった。当調査により丘陵端まで遺跡が広がっていることがわかり、西隣の大尾遺跡との密接な関わりが重要視される。



周溝墓1 西側周溝部分

#### 8. 太秦遺跡・太秦古墳群05-1 [調査・整理]

第二京阪道路の本線未調査部分および工事用進入路用地として調査が必要となった個所である。平成13・15年度の調査区に接する。未調査部分はかなり新しい攪乱・削平により平成13年度調査で検出した古墳群・尾支群の続きや遺構の広がりを確認することは残念ながらできなかった。工事用進入路部分では前回調査で検出した大溝のほかに新たな弥生時代のピット・土坑などを検出し、遺構群がさらに北側へ広がっていることが確認できた。また平成15年度調査で検出した古墳の周溝の続きを検出した。

#### 9. 寝屋東遺跡05-1 [調査・整理]

第二京阪に取りつく市道寝屋4号線敷地内での調査であり、平成15年度の調査地に隣接してその残地約520㎡の現地調査と整理をおこなった。この市道部分では、第二京阪の本線部と同じく7世紀代の須恵器・土師器と、同時期の掘立柱建物群・谷地形などを検出しており、谷に分断された細い台地状地形群に小集落が分立していた様子が明らかになった。平成18年度中に報告書刊行の予定である。

#### 10. 大尾遺跡05-1 [調査・整理]

第二京阪道路建設工事に伴って市道あさひ丘小路線を迂回させるのに先立ち、迂回道路予定地内の発掘調査を実施した。今回の調査地は、平成13年度に弥生時代中期の方形周溝墓が検出された地点の南側にあたっており、方形周溝墓の存在が予想されていた。しかし、調査の結果、調査地全体に水の営力によって形成された小流路（ガリー）が分布していることが確認され、弥生時代の墓域がここまで広がっていなかったことが明らかになった。

#### 11. 讃良郡条里遺跡05-1 [調査・整理]

讃良郡条里遺跡03-2内を東西に流れる楠根川の河床と堤体部分の発掘調査である。昭和40年代に造られたとされる三面張りのコンクリート擁壁や底板を支える1.8m程の松杭及び、旧楠根川により大きく削平を受けていたが、堤体部分では、中世～縄文時代後期までの遺構面と遺構を検出している。主な出土遺物には、神功開寶や奈良時代の長頸壺、弥生時代の鉢などがある。現地での調査終了後、出土遺物の洗浄・注記・接合などの基本整理作業を行い、その復元・遺物実測図作成・トレース、写真撮影や、平面図・遺構図・断面図の縮小・編纂・トレースなどの報告書作成への作業を行った。

#### 12. 讃良郡条里遺跡05-2 [調査・整理]

讃良郡条里03-1の調査範囲内で、未調査地として残っていた市道・里道の敷地の調査、及び保存協

議の対象からはずれた範囲における下層の調査である。計約220㎡の現地調査と、その整理を行った。古墳時代前期の集落に関連する土器、小溝、ピット、土坑と、下層から縄文時代中期～晩期の土器、流路が検出された。平成18年度中に報告書を刊行の予定である。

### 13. 小路遺跡04-1・2 [調査・整理]

寝屋川市小路・高宮に所在する。第二京阪道路（大阪北道路）建設に伴う発掘調査である。

調査地は、平成14年度に実施された高宮遺跡（その2）、小路遺跡（その2・3）、讃良郡条里遺跡（その1・3）発掘調査の未調査部分である。主として前方後方形周溝墓のコーナー部と古代の流路の延長を確認した。今回の調査で主軸をおよそ40度にふる前方後方形周溝墓の全体が明らかになり、コーナー部は保存区域とされた。古代の流路からは墨書人面土器や馬の歯など祭祀に関わる遺物が出土している。

### 14. 讃良郡条里遺跡03-4 [調査]



船材が枿材に転用された井戸

今年度で調査終了となる本遺跡では、北側、北東側の調査区にあたる5・6工区の調査を中心に行った。前年度までと同様、近世初頭から縄文時代晩期の遺構、遺物が多数確認され、各時期にわたってこの土地が積極的に開発、利用されている様子が明らかとなった。

古代以降、条里地割を踏襲した耕作面がみつかっており、特に氾濫堆積物が厚く供給されている地点では、後世の耕作を免れた島畠、畦畔などが良好な状態で確認された。奈良時代から条里開発を開始している点に注意され、掘立柱建物の分布状況から、開発者の居住域とみられる場所も存在する。ただ、その居住域も比較的短期間に廃絶したようで、平安時代から鎌倉時代では、畠地として利用されたようである。

古墳時代中期から飛鳥時代にかけては堅穴住居、掘立柱建物が存在し、準構造船の船底部材を枿材に転用し、底部から多数の土器が出土した大型の井戸などもみついている。

不安定な環境下にあったとみられる弥生時代終末期から古墳時代初頭では、小規模な流路が枝状に延びる状況が想定され、流路近辺からは完形に近い土器が多く出土している。

弥生時代中期には微地形を利用した水田開発が行われ、一昨年度の調査では、水田に伴うと考えられる集落域がみついている。

縄文時代晩期から弥生時代前期の面では、部分的に土坑やピットが密集しており、住居址の可能性のあるピット群もみられる。その他、突帯文土器による土器棺や、壁面が高温で被熱した土坑などが注目される。また遺構に伴ってはいないが、近畿地方では発見例が少ない浮線網状文土器の浅鉢が出土している。内外面ともに朱漆が塗布され、20m四方ほどの範囲に破片が散乱していることから、祭祀的な行為が想定される。

縄文時代晩期から弥生時代前期の面では、部分的に土坑やピットが密集しており、住居址の可能性のあるピット群もみられる。その他、突帯文土器による土器棺や、壁面が高温で被熱した土坑などが注目される。また遺構に伴ってはいないが、近畿地方では発見例が少ない浮線網状文土器の浅鉢が出土している。内外面ともに朱漆が塗布され、20m四方ほどの範囲に破片が散乱していることから、祭祀的な行為が想定される。

### 15. 讃良郡条里遺跡03-5 [調査・整理]

3ヵ年度の内3年目となる調査と、引き続き整理作業を実施した。

今年度は調査範囲の中でも西寄りの部分を調査し、古墳時代と弥生時代の遺構面を検出した。古墳時代中期～後期の遺構面では微高地上で掘立柱建物、井戸、土器埋納遺構など小規模な居住域を、低地では大規模な流路を検出した。掘立柱建物には礎板を持ちながら柱痕跡の見られないものがあり、建物か

らやや距離を置いて位置する井戸は、井桁状の枠を持ちながらも完存していない。居住域自体も形成途上で放棄されたか、形成されていたとしても短期間で小規模なものであった可能性を指摘することができる。

流路からはある程度埋没した段階で設置された土橋状の遺構を検出した。木杭の打設と盛土によって形成されたもので、長さ20mに及ぶ大規模なものである。流路からは多量の遺物が出土したが、破損した須恵器、土師器などが投棄されたといった様相以外に、首と脚を折られた土馬、滑石製白玉数百点、鉄鏃、釣針などが出土し、祭祀的な場としての側面も感じさせる。また鉄斧の柄や背負子、馬具（鐙）の一部、きぬがさの腕木？などの木製品も豊富に出土した。

弥生時代中期の遺構面では水田畦畔を確認し、水田域の北縁を検出したと考えられるが、その下面では溝、土坑などから弥生土器が比較的多く出土した。調査範囲南側に近接して集落の存在することが推測される。

調査終了後、整理作業に着手し、遺物の洗浄注記、図面・写真類の整理などの基礎整理作業を実施した。また流路埋土のサンプル洗浄作業も行い、滑石製白玉の出土をみている。

#### 16. 讃良郡条里遺跡03-6 [調査]

調査地は寝屋川市讃良東町に所在し、讃良郡条里遺跡の西南角に位置する。調査は昨年度から開始しており、17年度3月に終了した。調査では弥生時代後期から中世末（室町時代）まで、合計10面の遺構面を確認した。特筆すべきは古墳時代中期から古代（平安時代中頃）の調査成果である。古墳時代から古代の遺構は調査地内の微高地にあたる部分で、同じ検出面で確認されている。

古墳時代の遺構は、掘立柱建物9棟、竪穴住居（か？）1棟、井戸7基、廃棄土坑多数、溝多数である。このなかには、製塩土器片が大量に廃棄されていた土坑や、準構造船の底板を転用した井戸など特殊な遺構もある。また同時期の低地部（沼状遺構）からは多くの遺物が出土しており、中でも数体分の馬骨や、木製馬具、石製模造品の出土は、さきの遺構の内容とも合わせて調査地の特殊性を示し、東に約300m離れた葦屋北遺跡との関連もうかがわせる。調査地から生駒山西麓にかけての一带は、古墳時代の馬飼関連の遺構・遺物、文献史料が集中しており、今回の調査でも同様の内容が確認できたわけである。

古代の遺構は、掘立柱建物14棟、井戸2基、廃棄土坑多数、溝多数である。建物は小規模なものばかりで、墨書土器や木簡などの文字資料がきわめて少ないことから、文書行政的機能を有していたものではない。建物の存続期間は奈良時代中頃から平安時代初頭までの間である。平安時代中頃には建物はすべて廃絶し、畠地として利用されていたようである。

#### 17. 巢本遺跡03-1 [調査]

巢本遺跡は大阪府門真市北巢本町・宮前町に所在する、氾濫原に立地する遺跡である。第二京阪道路建設にともない、大阪府文化財センターが平成13・14年度に実施した確認調査により、中世を主体とす



10トレンチ古墳時代流路と土橋



区画溝と大型建物



巢本遺跡03-1 調査地風景

は適さない土地であったと考えられる。その後、河川の氾濫によりもたらされた洪水砂の堆積により形成された微高地を、人々は利用し始めたのであろうと思われる。本調査区では広範にわたって土坑の掘削という大規模な開発行為がおこなわれたことを確認した。土坑の位置付けが判然としないため、想定域をでないが、前述のように当該地域は湿地状の景観を呈しており、当時の地表面から浅い位置で湧水を確認していることなどから、土坑の掘削により湧水を集め、周辺の土地を乾燥させる目的をもった施設であった可能性がある。このような開発行為の後、人々は微高地上を居住域として利用したことが調査の結果明らかになった。

以上、今年度の調査を実施したことにより、門真市域北東部での土地開発の一端を明らかにすることができた。この成果から、当該地周辺における自然堤防などの微高地が広がる地域に遺跡が遺存する可能性が指摘できよう。

#### 18. 巢本遺跡03-2 [調査]

昨年度に引き続き、巢本遺跡03-1の南側、国道163号線までの調査を実施した。今年度は4・5区と、7区の北半を調査し、中世の掘立柱建物跡や井戸、コの字状に屈曲する土坑や畑の畝溝など多くの遺構を確認した。なかでも特に注目されるのは4区検出のコの字状に屈曲する土坑である。東半部は調査区外であるため確認できていないが、その平面形状から四角くめぐる可能性が高く、またすぐ西側からは井戸や掘立柱建物跡が見つかることから、当初は集落内の重要な施設をめぐる溝ではないかと考えていた。しかし土坑の底部は二段に掘削されており、二段目の土坑と土坑の間は掘り残し部分が畦状に残っている。中世城郭の堀に稀にみられる「障子堀」を連想させるものであり、その掘削方法は、昨年度調査した1区検出の土坑と酷似していた。したがって、集落に伴う遺構とするよりは、1区検出の土坑群と同じく、集落が築かれる一時期前の遺構である可能性が高い。その性格については、土坑底



4区検出の土坑・建物跡・井戸

る遺構・遺物が検出されたことを受けて、新たに登録された遺跡である。この確認調査の結果を受けて平成16年より本調査を開始した。本年度の調査は国土交通省近畿地方整備局浪速国道事務所の委託を受け、平成17年4月1日に着手し、平成18年3月31日をもって作業を終了した。

今年度の調査区は、前年度の調査で確認した旧寝屋川と考えられる旧流路の南側にあたる。平安時代末以前の当地域は湿地状の景観を呈しており、人々が活動するには

は適さない土地であったと考えられる。その後、河川の氾濫によりもたらされた洪水砂の堆積により形成された微高地を、人々は利用し始めたのであろうと思われる。本調査区では広範にわたって土坑の掘削という大規模な開発行為がおこなわれたことを確認した。土坑の位置付けが判然としないため、想定域をでないが、前述のように当該地域は湿地状の景観を呈しており、当時の地表面から浅い位置で湧水を確認していることなどから、土坑の掘削により湧水を集め、周辺の土地を乾燥させる目的をもった施設であった可能性がある。このような開発行為の後、人々は微高地上を居住域として利用したことが調査の結果明らかになった。

以上、今年度の調査を実施したことにより、門真市域北東部での土地開発の一端を明らかにすることができた。この成果から、当該地周辺における自然堤防などの微高地が広がる地域に遺跡が遺存する可能性が指摘できよう。

#### 18. 巢本遺跡03-2 [調査]

昨年度に引き続き、巢本遺跡03-1の南側、国道163号線までの調査を実施した。今年度は4・5区と、7区の北半を調査し、中世の掘立柱建物跡や井戸、コの字状に屈曲する土坑や畑の畝溝など多くの遺構を確認した。なかでも特に注目されるのは4区検出のコの字状に屈曲する土坑である。東半部は調査区外であるため確認できていないが、その平面形状から四角くめぐる可能性が高く、またすぐ西側からは井戸や掘立柱建物跡が見つかることから、当初は集落内の重要な施設をめぐる溝ではないかと考えていた。しかし土坑の底部は二段に掘削されており、二段目の土坑と土坑の間は掘り残し部分が畦状に残っている。中世城郭の堀に稀にみられる「障子堀」を連想させるものであり、その掘削方法は、昨年度調査した1区検出の土坑と酷似していた。したがって、集落に伴う遺構とするよりは、1区検出の土坑群と同じく、集落が築かれる一時期前の遺構である可能性が高い。その性格については、土坑底

が粘土・シルト層にまで達していること、また断面形状に方形を呈するものがあることなどから、粘土採掘を目的としたものとも考えられるが、この土坑のようにコの字状に屈曲するものや、1区の土坑のなかには断面がV字で溝状のものもあり、特定することが難しい。その形状からは、堀のような役割を果たした遺構とも考えられる。本調査区の北側に接する巢本遺跡03-1調査区の調査成果ともあわせ、明らかにしていかなければならない。なお、この土坑の西側で検出した井戸のうち、もっとも

大型のものからは呪符木簡が1点出土している。一部が欠け判読が難しいが、観音寺遺跡出土のものとはほぼ同じ蘇民将来のまじない札である。

#### 19. 巢本遺跡03-1・2 [産廃処理]

平成17年度に発掘調査を実施した門真市巢本遺跡において、盛土を機械掘削中にアスファルトやコンクリート等のガラを主体とした産業廃棄物が混入していることが判明したため、法律に基づいて場外への搬出及び処分を行なった。

#### 20. 有池遺跡03-1・2 [整理]

有池遺跡は交野市青山3丁目・4丁目に所在する。02-1調査区をあわせると、調査面積は20,000㎡に達し、そのほぼ全域で中世の集落遺構を検出した。検出遺構数は数千基、出土遺物はコンテナ222箱を数える。図面整理や遺物実測を通し、遺構の年代と集落変遷の把握に努めた。

#### 21. 上の山遺跡05-3 [調査・整理]

枚方市茄子作南町地先に所在する。第二京阪道路建設に伴い、400㎡の発掘調査を実施した。隣接する03-1調査区では、弥生時代中期前半の独立棟持柱をもつ掘立柱建物や、古墳時代の竪穴住居などの遺構を検出しており、本調査区においてもそれ以上の成果が期待されたが、調査区のほぼ全域にわたって後世の土取りによる攪乱がおよんでおり、遺構・遺物の出土はなかった。発掘調査終了後、引き続いて上の山遺跡遺物整理作業として、03-1調査区とともに報告書刊行に向けての作業を行っている。



調査区全景（南西より）

#### 22. 上の山遺跡03-1 [整理]

平成17年度は、昨年度まで実施した発掘調査に対する遺物整理作業を行った。遺物は、遺構や土器溜りから出土した弥生時代中期前半の土器を中心に、縄文土器、須恵器、土師器、木器、鉄器、石器など700点を超す遺物の実測を行った。図版作成作業など報告書刊行に向けて作業を継続中である。

#### 23. 上私部遺跡03-1 [整理]

平成15・16年度に実施した上私部遺跡の発掘調査において古墳時代の中・後期の集落跡を検出した。本年度は須恵器・土師器等コンテナ約80箱の遺物の整理を行い、遺構の時期を特定することで、集落の変遷を把握することができた。約700点の遺物の実測など報告書作成のための基礎作業を終了。

#### 24. 平池遺跡04-1 [整理]

平成16年度に実施した平池遺跡の調査成果について、整理作業をおこない、報告書を作成した。検出遺構や出土遺物を詳しく検証した結果、平池遺跡の開発が古墳時代後期に遡ること、古代には帯水して湿地となるが、中世前期に再び開墾され、耕作地として利用されはじめたこと等を確認した。

#### 25. 私部南遺跡04-1 [整理]

調査では縄文晩期以降の多くの遺構面（大別9面、細別22面）を検出したため、整理作業では遺構面の形成時期や調査区相互の併行関係を詳細に検討した。また、縄文晩期後半～弥生前期新段階に至る土器型式の統計処理や、弥生前期の竪穴住居内採取の土壌からサヌカイトチップ・種子の洗い出しなども行った。

## 26. 東倉治遺跡04-1・2 [整理]

第二京阪道路の建設に伴い、平成16・17年度に実施した発掘調査の整理事業をおこなった。発掘調査では弥生時代後期の竪穴住居や古墳時代の土坑などの遺構、弥生時代後期から古墳時代前期を中心とする遺物を検出しており、これらの図化、および、報告書原稿の執筆、図版の版組みなどを実施した。

## 27. 上私部遺跡05-1 [調査]



交野市青山2丁目地先に所在する。今回の発掘調査は、交野郡条里地割の起源と古墳時代遺構の分布状況の解明を目的として行なった。

中世遺構面では、13世紀から15世紀にかけて営なまれた水田面と小畦畔、調査区西端で条里の坪界を示す大畦畔を検出した。これらの調査成果から、この地域に若干認められる条里地割は少なくとも鎌倉時代までさかのぼることが明らかとなったが、坪内の地形が大きく規制されていたようである。

古墳時代遺構面では、溝によって形成された方形区画と、区画内外で少なくとも3時期以上の変遷が確認できる多くの掘立柱建物を検出した。掘立柱建物群の時期は6世紀で、溝で区画されるだけでなく規則的に建物が配置されていた。区画溝の中からは、土師器・須恵器とともに新羅系土器の長頸壺が出土しており、当遺跡の特殊性を示す遺物となっている。竪穴住居と掘立小型倉庫で構成される一般集落として5世紀に成立する上私部遺跡は、6世紀段階には溝で区画された掘立柱建物群で構成される特殊な集落に発展することが明らかとなった。上私部遺跡の周辺には、大規模な鉄生産遺跡として知られる森遺跡や大谷窯跡群などの生産関係遺跡、あるいは寺古墳群や倉治古墳群などの群集墳が所在する。今回の調査でも数点ではあるが韃羽口や鉄滓が出土しており、出土する須恵器は陶邑産とは異なる独自の胎土・焼成をもつものが多く認められる。6世紀における生産遺跡と集落遺跡、そして在地首長の埋葬遺跡が非常に狭い空間の中で共存しており、今回の調査成果は古代の交野地域を考えるだけでなく、古墳時代後期の在地支配のあり方を知るうえでも重要な問題を提起したといえる。

## 28. 津田遺跡05-1 [調査]

枚方市津田南町1丁目地先ほかに所在する。生駒山地から続く丘陵の北西斜面、標高約80mの高位段丘に位置する。調査では古代の土坑、中世の水田などとともに縄文・弥生・古墳・古代から中世の各時代の遺物を検出した。調査地南東部の谷地形では、畿内第V様式に属する弥生土器が出土した。器壁面が摩滅していないことから、調査地周辺に当該時期の集落遺跡が存在するものとみられる。古代の遺構数は多くないが、土坑から8世紀初頭の須恵器や砥石が出土した。中世の水田は、谷部に至る傾斜地で検出した。水田の溝からは14世紀から15世紀の土師器・瓦器・須恵器・陶磁器・瓦が出土しており、調査地での水田の経営が始まるのが14世紀以降であることがわかる。この他、1辺約90cmの方形の土坑を検出した。遺物の出土がなく時期は不明であるが、壁面と床面の一部が被熱し、埋土に炭化物を含むことから、炭窯の可能性が考えられる。また、包含層からの出土であるが、枚方市の百濟寺西塔址創建瓦と同文とみられる奈良時代の軒平瓦が出土した。

## 29. 東倉治遺跡04-2 [調査]

交野市東倉治4丁目地先に所在する。生駒山地西麓の扇状地上、がらと川の北岸に立地する。調査は

平成16年度より継続しておこなった。古墳時代前期の遺構として、土師器小型二重口縁壺が正位で出土したピットを、古墳時代後期から飛鳥時代の遺構として、中央に炉状施設をもつ竪穴状遺構や、埋土に炭化物を含む土坑を検出した。また、調査区南端で旧がらと川とみられる流路を検出した。遺構面は厚さ2 m前後の自然堆積砂層で覆われており、飛鳥時代以降に発生した土石流によって調査地周辺が埋没したものとみられる。

### 30. 茄子作・茄子作下浦遺跡04-1 [調査]

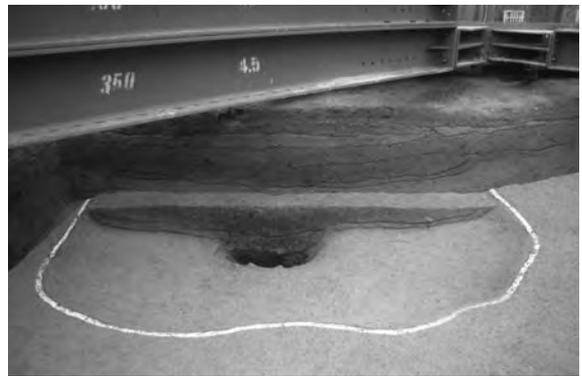
調査は、平成16年度から引き続いて実施したものである。調査地は、天野川左岸の中位段丘とそれを切り込む開析谷に位置する。

段丘面上の調査区では、古墳時代前期から中期・7世紀の竪穴住居、掘立柱建物などを検出した。段丘崖際で検出された古墳時代中期の竪穴住居は、崖面の侵食によって約半分が失われていた。これは中世以降、谷部で行われる水田利用によって樹木の伐採が行われ、崖面の崩壊が起きやすい条件にあった事が、花粉分析によって判明している。

谷部の調査区では、中世初頭以降、連綿と続けられる水田面を確認した。その開始は、最下層の水田の畦畔より出土した瓦器によって11世紀後半であることが判明し、平野部での水田開発の画期と期を一にする。水田面下層では、8世紀の小規模な掘立柱建物、方形横板組の井戸などと共に、5世紀から7世紀の流路を確認した。流路から出土した遺物には、縄文土器・弥生土器・庄内式土器・土師器・須恵器・木製品などがある。縄文土器は、後期から晩期を中心にするが、中には早期の繊維文土器もある。弥生土器は中期から後期のものが出土する。これらの遺物は摩滅がみられない事から、調査地付近の段丘面上の土地利用を反映したものと見える。須恵器は、甕を中心にTK73型式にまとまるものが破片数にして1,000点以上出土しており、この中には焼け歪や融着したものが多く含まれる事から、須恵器焼成時の廃棄品と考えられ、北河内で初めて初期須恵器窯が、存在することが明らかとなった。

### 31. 太秦遺跡・太秦古墳群05-2 [調査]

大阪府都市計画道路である国守黒原線建設に先立ち平成16年度に引き続き調査を実施した。調査は北西側を1区、南東側を2区の2調査区とし、1区では平成16年度に検出した2基の古墳周溝の続きや新たに竪穴住居1棟、土坑等を検出した。2区では平成16年度に一部検出した竪穴住居に伴うであろう柱穴を確認した。1区では尾根の肩の際にも密集して遺構が検出できることや、緩斜面上にも遺構が確認できることから太秦遺跡の遺構面が尾根上だけでなく緩斜面にも拡がり、遺跡範囲がさらに拡大するものと考えられる。



中央に炉状施設がある竪穴状遺構



初期須恵器の出土した流路と段丘崖



竪穴住居1 (南西から)

### 32. 上の山遺跡05-1 [調査]



弥生時代中期前葉の方形周溝墓

弥生時代中期前葉の方形周溝墓を複数検出した。方形周溝墓1は南北約10m、東西約15mを測る、同時期のものとしては最大規模のものである。この北側に3～4基分に相当する小型の方形周溝墓の周溝の一部が検出された。切り合い関係から方形周溝墓1が最後に造営されたことが確認された。また周囲では壺形土器を納めた土坑なども検出されており、調査区全体が上の山遺跡の墓域に相当するものと考えられる。約300m南方の03-1調査区では同時期の独立棟持柱をもつ大型掘立柱建物が検出されており、墓域と集落域の関係が想定できる。

### 33. 上の山遺跡05-2 [調査]



縄文時代の土坑の断面

上の山遺跡の北端部、段丘縁辺に位置する。弥生中期前葉の土器を出土する土坑群と重複して、直径（一辺）1m前後の大型の土坑を多数検出。土坑の中心部には直径30cm前後の柱痕が確認できたものもある。これらの土坑からは縄文時代中期末（北白川C式）、後期初頭（中津式）などの土器片が多数出土している。これら縄文時代に比定される土坑群は、本来サークル状に配置された可能性が想定される。また後期の甕を正位置に埋置した埋甕遺構も検出されており、当該調査区が縄文集落

の一隅を占めるものであることは確実である。

### 34. 倉治遺跡05-1 [調査]

当該調査区は、天井川である免除川の堤防の直下に位置し、免除川が形成した砂洲の上に立地している。ここで古墳時代中期から後期の溝群が多数検出された。基本的に地形の傾斜に平行して走る幅30cm前後を測る溝群である。また調査区南部において一辺9m前後の方形区画を成す幅30cm前後の溝が検出された。竪穴住居跡の壁溝の可能性も否定できないが、柱穴は検出されず、また、区画のコーナー付近の溝内から土器がまとめて出土しており、立地を勘案しても住居跡以外の機能を想定する必要がある。

### 35. 倉治遺跡05-2 [調査]

調査区全体が沼状の落ち込み遺構に当り、暗灰色の粘土質のシルトに覆われていた。埋土中には部分的に面をなす箇所もあり、耕作地として活用され、何らかの作物が栽培されていたものと考えられる。集落の周辺地域の生産域として中世以前に積極的に活用されて場所であろう。どのような作物が栽培されていたかは、今後土壌の分析などを通じて明らかにしていく必要がある。遺構の底面には不整形の落ち込みがみられ、古墳時代から中世の須恵器、土師器、瓦器などの遺物がまとめて出土している。

### 36. 倉治遺跡05-3 [調査]

沼状の落ち込み遺構を検出し、調査区北部は遺構の肩部に当る。倉治遺跡05-2で検出した沼状遺構と一連のものである。ここでも埋土中の一部は面を成し、耕作地として活用され、何らかの作物が栽培されていたものと考えられる。底面から古墳時代から中世の須恵器、土師器、瓦器などの遺物が出土。

## b 中部調査事務所

### 37. 片山荒池遺跡05-1 [調査・整理]

吹田市片山荒池遺跡は平成15年度に大阪府教育委員会の試掘調査によって確認された遺跡である。平成18年度の調査は片山団地の建て替えに伴うもので、調査対象地を1～3区に分けて実施した。調査の結果、古墳時代、中・近世の遺構・遺物を確認した。

古墳時代の遺構としては、中期から後期にかけての土坑群がある。その形態は長さ0.5～2m、深さ約0.5mの長方形、楕円形を呈するものから不定形のものまで様々である。遺構の性格はよくわからないが、その時期が直



古墳時代の土坑群

近に分布する千里窯跡群の操業時期とほぼ重なり、両者の密接な関係が窺える。他に掘立柱建物を検出している。遺物としては、土師器・須恵器の他、中期の埴輪片を確認している。中・近世の遺構は、溝・河川の他、直径10m前後の池を4箇所以上検出し、遺物は瓦器・陶磁器などが多く出土している。

このように、今回の調査では片山荒池遺跡が古墳時代には集落跡だったこと、出土した埴輪から、近隣に古墳が営まれた可能性があること、さらには中世以降も集落や耕作地として利用されていたことなどが判明した。また、池を確認したことは、遺跡名の由来となった「荒池」(字名)との関連で注目される。

調査終了後、遺物洗浄・注記・復原等の整理作業を進めた後、抽出した遺物の実測・同写真撮影を行った。以上の諸作業と併行して、調査報告書作成を進め、平成18年6月30日に『片山荒池遺跡』を刊行した。

### 38. 勝部遺跡05-1 [調査・整理]

大阪国際空港周辺緑地整備事業にともなう事業である。発掘調査は、調査対象地に3本のトレンチを設定して進めた。旧耕作土と中近世耕作土を除去した段階で、古墳時代中期末～後期初頭のの水田面を検出した。畦畔の埋土から須恵器が集中して出土する部分があり、水田における祭祀に伴うものと考えられる。



古墳時代水田面

調査後、遺物洗浄等の整理作業を行った。

### 39. 禁野本町遺跡03-1 [調査・整理]

近畿財務局公務員宿舎枚方住宅建て替えに伴う調査を終え、昨年度末から本年度末まで古代・近代を中心とする資料を整理した。前者は、掘立柱建物の抽出と時期決定、出土瓦と特別史跡百濟寺跡出土瓦との関係を検討した。また後者は、調査自体が旧陸軍兵器廠関連施設初の本格的調査であり、検出遺構の具体的な構造の把握、建材・建具・弾薬などとともに資料化に努めた。以上の成果を中心に据え、本年度末に報告書を刊行した。

### 40. 福井遺跡04-1 [整理]

平成16年度に実施した福井遺跡16-1調査では、中世陶磁器などの他、原位置をとどめるものではなかったが埴輪片を中心とする古墳時代の遺物が出土した。17年度はそれらの遺物の洗浄・注記さらには

復原、図化作業、写真撮影を進めた。

以上の作業を通じて、埴輪には軟質のもの他、府下ではあまり例を見ない硬質（須恵質）のものが多く含まれることが判明し、周辺に後期前葉の古墳を推定するに到った。

なお整理作業の後印刷製本作業に移り、9月に報告書を刊行した。

#### 41. 吹田操車場遺跡05-1 [調査]

調査対象地は吹田市芝田町に所在する。調査は吹田（信）基盤整備工事に伴うもので、その面積は4,446㎡を測る。

#### 42. 山賀遺跡03-1 [調査]



第9面421木棺（東から）

器、「垂飾」形木製品などの木器が出土した。

寝屋川水系改良事業（新家調節池）に伴う調査で、各区で歴史時代、古墳時代後期、弥生時代後期、弥生時代中期中頃から前期の遺構と遺物、さらに縄文時代後期の遺物包含層まで調査した。

主な成果は、弥生時代前期末から中期中頃の溝群やピット群の検出である。さらに木棺墓19基を、溝の間、土を盛った高台上などで確認した。長さ60～70cmの未成人棺が大多数を占める墓域である。

遺物は弥生時代前期から中期を中心に多くの土器、石

#### 43. 山賀遺跡05-1 [調査・整理]

03-1 調査区東側で追加調査として行った。木棺墓の検出はなかったが、前回調査につながる、主に弥生時代前期から後期のピットや溝といった遺構を確認した。なお上層で、類例から江戸時代後半以降と考えられる瓦井戸を検出した。03-1 調査と合わせて整理作業中である。

#### 44. 小阪合遺跡04-1 [整理]

山本団地建替に伴い平成16年度に実施した発掘調査である。調査終了後、引き続き整理事業を実施した。

平成16年度は遺物の洗浄・復元・実測、図面整理、写真撮影などの作業を中心に行った。平成17年度はトレース作業、台帳作成ほか、報告書刊行に向けての原稿執筆および編集などの作業を実施し、平成17年6月30日に報告書『小阪合遺跡（その3）』を刊行し、本事業を終了した。

#### 45. 花園遺跡隣接地遺跡04-2 [調査]

2つの調査区、計51㎡の調査を行った。東の04-1-2区では須恵器等の遺物をわずかに確認したのみである。西の04-1-1区では、中世後半期から近世にかけての大きな溝を2層にわたって検出した。溝中には大量の土師器・瓦器・瓦質土器や木製品・宋銭が含まれていた。土器は磨耗を受けず、近隣から投棄されたと考えられる。調査区内では溝以外の遺構は確認できなかったが、近接して集落が存在することが明らかになった。

#### 46. 新上小阪遺跡05-1 [調査]

大阪府営東大阪新上小阪（第2期）住宅（建て替え）建設工事に伴い新上小阪遺跡の発掘調査を行った。調査では近世の島畠、古代以降の方形土坑群、古代の水田、弥生時代後期の集落、弥生時代中期の水田、堤をもち平行する溝群など各面で遺構がみられ、周辺の土地利用の変遷を考える上でも興味深い

ものとなった。特に遺構が集中してみられたのは弥生時代後期末の集落で、周囲に溝をめぐらす竪穴建物を2棟検出した。溝内からはまとめて遺物が出土している。他に掘立柱建物や土坑、溝などを検出した。

#### 47. 植松遺跡05-1 [調査]

八尾市植松町8丁目地内に位置する。大阪府府営八尾植松住宅建て替えに伴う調査を実施しており、主に古墳時代から奈良時代にかけての遺構・遺物を検出した。堆積の多くは砂層で形成されており、自然流路と考えられる。その上・中層より、摩滅が激しい土師器、須恵器が出土している。また、地表より3~4mほど下がった辺りに東西方向の杭列が検出され、その周辺からは摩滅が少なく、完形もしくはそれに近い状態で土師器、須恵器が出土しており、その他に「山村」または「山科」と思われる異体字で書かれた墨書土器なども確認できる。

#### 48. 久宝寺遺跡04-1 [整理]

平成13~16年度にかけて実施した、寝屋川流域下水道竜華水環境保全センター水処理施設等建設事業に伴う調査他に関する報告書作成事業である。60基以上を数える古墳時代初頭に築かれた墳墓を中心に、縄文時代から中近世に至る多数の遺構や遺物を整理する。約26,200㎡の調査における記録は、写真約11,600カット、図面約2,600枚に達した。遺物は約800コンテナの中から古墳時代前期の土器を中心に2,400余を抽出し、図化および写真撮影を行っている。作成した図や抽出した写真についてはすべてデジタル化し、DTP編集による作業の効率化を図っている。

#### 49. 玉櫛遺跡 [調査]

茨木市玉櫛2丁目に所在する。平成17年度は次年度の調査に向けて準備を行った。平成13年度に当センターが調査を実施した箇所近接しており、その成果から、6世紀の集落、10世紀の水田、12~15世紀の集落等が検出されることが予測される。

#### 50. 池島・福万寺遺跡03-1 [調査・整理]

平成16年度から継続する恩智川治水緑地、福万寺Ⅱ期地区北西部の調査である。本年度は中世前期以下の調査を行い、12月に発掘は終了した。

これまでと同様に弥生時代前期までの複数の遺構面を確認した。平安時代では洪水砂に覆われた遺存状態の良い水田面を検出した。東西の大畦畔の位置は現在まで残る条里地割にほぼ一致する。また、



新上小阪遺跡 弥生時代後期末の集落



植松遺跡 杭列検出状況



久宝寺遺跡 実測図のデジタル化



平安時代の条里水田（南から）

古代では条里地割には沿わない南東から北西に流れる流路を検出した。川岸に杭が打設され、飛鳥時代後半から奈良時代初頭のまとまった土器が出土した。当遺跡における条里地割の開始時期を考える上で今後ポイントとなるデータといえよう。

古墳時代では土坑・ピット、溝などを検出したが、住居は確認することはできなかった。福万寺Ⅰ期地区南部で見られた斜行する2条の溝が当調査区北東部で収束することが明らかになった。

弥生時代後期後半では水田畦畔、水路とともに流路、微高地を良好に検出した（巻頭カラー写真）。水田は南に大きく広がっていくことが予想される。微高地上では水路が掘削されているものの耕作の痕跡は見られなかった。弥生時代中期では遺構面を2面検出している。畦畔などは確認できなかったが、流路から水路に水を導くしがらみが検出された。しがらみは2列設置され、規模の大きな下流側のものは杭のあいだに網代や木の皮を挟むといった水をせき止めるための工夫がなされていた。弥生時代前期末から中期初頭では等高線に沿った水田畦畔、水路とともにⅠ期地区で確認されていた規模の大きな流路のつづきを検出している。

#### 51. 池島・福万寺遺跡04-2 [調査]

調査地は東大阪市池島町に位置し、恩智川治水緑地建設に伴う発掘調査で、池島Ⅱ期地区内としては最初の調査区である。調査は平成16年12月から18年7月までを予定しており、今年度は3ヵ年の内2年目となる。調査面積は1,865㎡である。

調査成果としては、既往の調査と同様で近世から弥生時代に至る14面の遺構面が検出された。近世から古代の遺構面では、従来の調査で検出されている土坑（1b土坑）や、ほぼ条里地割りに沿う主軸を持つ耕作痕跡と考えられる溝が検出されている。

下層では、弥生時代中期の水田遺構が2面検出された。弥生時代前期では、従来の水田遺構の下面に当遺跡では初めて生活遺構が検出された。特に、集落域では掘立柱建物が2棟想定され、墓域では木棺墓や土坑墓がまとめて検出された。低湿地における当該期の人的活動を示す痕跡が新たに検出された。

#### 52. 池島・福万寺遺跡05-1



中世後半の坪境と島畠（西から）

本調査地は、福万寺Ⅱ期地区東部の恩智川沿いに位置する。平成17～19年度までの3ヵ年の調査を予定しており、初年度である平成17年度には近世から中世後半までの5面の調査を実施した。

各遺構面では島畠・水田畦畔・井戸・溝・土坑などの耕作にかかわる遺構を検出した。調査区北半には三ノ坪と二ノ坪を分ける東西方向の坪境畦畔が存在し、坪境北側の三ノ坪では南北方向、南側の二ノ坪では東西方向の島畠が中世から近世にかけて継続して造られていたことが判明した。

#### 53. 池島・福万寺遺跡05-2 [調査・整理]

05-2調査区は、池島Ⅱ期地区の南西端に位置する。調査は平成19年度までの予定で、中世面までの

調査を終了した。

調査地は「河内郡字河二十二ノ坪」に該当し、これまでに島畠・畦畔・溝・土坑などを検出している。坪内の地割は基本的に東西方向であり、中世から近世にかけて拡張されつつ利用された島畠や、近世に島畠が多く作られている状況が確認できた。断面観察からは古代から中世にかけて、耕作土が連続して堆積していることがわかる。池島Ⅰ期地区の基本層序にほぼ対応するが、調査地が地形的に高いこともあり、全般的に洪水砂の供給が少ない。当地が古代から中世にかけて、安定して耕作されていたことが推測される。出土遺物としては、陶磁器・瓦器・土師器・須恵器などが出土している。



調査区全景

なお、現在池島Ⅰ期地区の調査成果をまとめた『池島・福万寺遺跡3』を作成中である。

#### 54. 弓削ノ庄遺跡04-1・亀田遺跡04-1・東大阪市南西部遺跡群03-1 [整理]

大阪外環状線（東大阪市）連続立体交差事業に伴い、平成16年度に発掘調査を実施した亀田遺跡、弓削ノ庄遺跡の整理作業を行った。亀田遺跡では、弥生時代後期の集落を検出し、「龍」の絵画土器をはじめ多くの土器が出土した。弓削ノ庄遺跡では弥生時代中期の方形周溝墓1基、縄文時代晩期末～弥生時代前期の集落を検出し、多くの突帯文土器の他、浮線文土器、石棒などの遺物が出土した。平成17年8月に報告書刊行をもって本事業を終了した。

#### c 南部調査事務所

#### 55. 三宅西遺跡04-2 [調査]

当遺跡は大阪府松原市三宅西に所在する。阪神高速大和川線（都市計画道路大和川線及び都市計画道路堺松原線）建設に伴う調査である。平成15・16年度におこなわれた確認調査の結果を受け、平成16年度から本格的な調査を開始している。三宅西遺跡を二分したうち、その東半が当調査区に該当する。



19区集落域

今年度の調査では、18区から調査を着手し、10区・11区西・12区・19区東・19区西を調査した。現在、弥生時代中期前半の集落の様相が判明しつつある。

集落は段丘際の微高地上に展開し、周囲を自然河川で切られる形で集落が形成されたと考えられる。水路際の微低地には生産域が、集落よりも高い位置には墓域が展開したと考えられる。

10区では周囲より一段低いエリアが検出され、その中から小区画水田畦畔を検出したことから、生産域と考えられる。また、下面では竪穴住居を2棟、掘立柱建物を1棟検出した。住居址のうち一つは排水溝を持ち、北西方向に水を流していたと考えられる。

11区西では、竪穴住居を1棟、掘立柱建物を4棟検出した。集落の中心部分に該当すると考えられる。

12区では顕著な遺構は検出していない。このことから、集落の外れに位置すると考えられる。

18区では、周溝墓を4基検出し、そのうち2基から主体部を検出した。この付近は墓域と考えられる。

19区東では、顕著な遺構は検出されていないが、東西方向の自然河川を検出し、北に続くと考えられ

る。19区中東では、掘立柱建物を2棟、廃棄土坑を検出した。19区西では、竪穴住居を6棟検出した。現在調査が進行中であり、竪穴住居から出土した遺物などから石器工房の一面をも窺える集落である。

#### 56. 三宅西遺跡04-3 [調査]

松原市内における都市計画道路大和川線外建設に伴う調査である。調査地は台地の先端部に立地し、大規模な流路が縦横に走る。安定した環境となったのは古墳時代以降とみられ、隣接する他の調査地と比べて、弥生時代の遺構は稀少であるのに対し、古墳時代の遺構が密に検出されている。

古墳時代の遺構としては、1区の流路で水利目的とみられる木杭組み施設が検出されており、TK216型式前後の須恵器、百済地域から持ち込まれた可能性がある瓶、韓式土器などが出土した。その他では、3・4区で掘立柱建物・土坑・溝、7区で掘立柱建物・井戸、13・14区で掘立柱建物・井戸・土坑、15～17区で掘立柱建物・竪穴住居・井戸・土坑・溝などが検出された。また、正確な時期は不明であるが、7区と15～17区で畠遺構の可能性がある溝群が検出されている。

一方、他の時代の成果としては、5・6区の流路から北白川上層3期に属する縄文土器が多量に出土した。残存状態も良好であり、ごく近い位置に縄文時代後期の集落が存在した可能性が高い。

#### 57. 池内遺跡05-1 [調査]

池内05-1で出土した最も古い遺物は、低位段丘層直上から出土した風化したサヌカイト片2点である。旧石器時代と思われる。次に縄文時代の地層から凹基式の石鏃が1点出土している。弥生時代前期から、平安時代までは同一層上面で、各時代の遺構を検出している。弥生時代前期では溝、土坑を検出し、古墳時代では井戸や土坑を、平安時代では、掘立柱建物約20数棟と井戸、耕作に伴う溝などを検出している。中世では平安時代建物群と場所を違えて、溝に囲まれた掘立柱建物と土坑などを検出している。

#### 58. 池内遺跡05-2 [調査]



土器出土状況

池内遺跡は松原市天美北1丁目に所在する。阪神高速道路大和川線および一般道路住吉八尾線建設に伴い調査を実施した。調査面積は約15,000㎡である。調査は平成17年10月に着手し、平成19年2月に終了する予定である。なお、調査区東には、同様の道路建設事業に伴う池内遺跡05-1調査区が隣接する。今回報告の調査地は、予定地全体の東部にあたる。主要な調査成果としては、弥生時代前期の水田跡、平安時代中期の屋敷地と屋敷を画する道路や同時期の耕作痕などがある。

5-4調査区東部で、小区画水田が検出された。自然の微地形を利用して造成されたものとみられ、南東から北西方向に伸びる小畦畔と南西から北東方向に伸びる小畦畔で構成されている。

##### 平安時代中期屋敷地

5-2・5-4調査区で、掘立柱建物群・道路（畦状の高まり）・溝・井戸などが検出された。掘立柱建物10数棟および東西を画する大溝・畦状の高まりなどが整然と配置されていることから、屋敷地の一部と考えられる。現状での屋敷地は東西約75mを測る。東の内側の南北溝からは、黒色土器・土師器等が多量に出土した。とくに完形のまま投棄された状態のものが多いことが注意を惹く。屋敷地内では、東側北寄りに5間以上×4間の東西に棟をもつ総柱建物が位置する。この建物を中心に、東に接して南

北に棟を持つ7間×4間の建物が配置される。これらの大型建物の西側でも、中央で南北に棟を持つ建物、さらにその南にも、東西に棟をもつ建物があり、さらに西方、屋敷境寄りにも東西に棟を持つ建物が整然と配置されている。

#### 59. 史跡池上曾根遺跡05-1 [調査・整理]

昨年度に引き続き、第2期史跡整備事業に伴う調査を実施した。今年度の調査地は「大形建物」の東側約30mに位置し、大形建物を含めた周辺を考える上で重要な場所に当たる。調査では弥生時代中期後半の柱穴・土坑など多数の遺構群を検出したが、明確な建物はなく、堅穴式住居や井戸なども確認することができなかった。このことから今回の調査地は通常の居住区域とは異なった特別な機能をもった空間と考えられ、「大形建物」が池上曾根集落の中でも特に重要な建物であったことがより明確になった。

#### 60. 伽羅橋遺跡 [整理]

伽羅橋遺跡は、大阪府高石市高師浜1丁目に位置する。当センターの過去の調査では、中世の遺構・遺物が多数検出され、掘立柱建物をはじめ、井戸・土坑などの遺構が密集して検出されたことから、集落跡と考えられた。今回の調査ではその縁辺部の状況が明らかとなった。さらに下層からは、弥生時代の方形周溝墓の存在も明らかとなり、遺物も良好に出土した。この付近は墓域であったと考えられる。今年度の整理作業では、報告書の作成および校正、印刷・製本、出土品の収納等の作業をおこなった。

#### 61. 大坂城跡03-1 [整理]

今回の整理作業は、大阪府警察本部第2期棟新築工事に伴う発掘調査で出土した遺物の対象としたものである。整理作業は平成16年5月1日から平成18年3月31日までの間で行った。平成16年度は遺物の洗浄や復元、記録図面の整理などの基礎的作業を中心に行った。平成17年度は報告書刊行に向けてのトレース作業、写真撮影作業のほか、原稿執筆および編集などを中心に作業を実施し、平成18年3月31日に報告書『大坂城址Ⅲ』を刊行し、作業を終了した。



大坂城出土瓦

#### 62. 上町東遺跡05-1 [調査]

南海本線連続立体化事業に伴う調査で、南海泉佐野駅より大阪側の線路に沿った部分の調査である。上町東遺跡は泉佐野市域の中世集落遺跡として有名であるが、今年度の調査でも、屋敷地の方形区画に伴う溝や屋敷地内の井戸などが検出された。12世紀末～13世紀初頭のものである。井戸からは瓦器椀・皿と共に轆の羽口が出土した。溝からは多量の瓦器椀・皿と共に、東播系播鉢や、小片ではあるが、白磁碗片が出土した。

#### 63. 湊遺跡05-1 [調査]

南海本線連続立体化事業に伴う調査である。南海泉佐野駅より大阪側の線路沿いに当たる。湊遺跡は泉佐野市域で製塩土器の出土する遺跡として有名であるが、今回の調査でも、開析谷谷底平野内で庄内式併行期の弥生V様式土器とイイダコ壺・製塩土器が共伴する土器群が見られた。また、シュートバーの重なりによる谷底平野の形成過程や、中世～近世にかけての耕地開発とその変遷過程が確認できた。

#### 64. 童子畑遺跡05-1・童子畑北遺跡05-1 [調査・整理]

本調査は、主要地方道泉佐野岩出線道路整備事業に伴うものである。泉南市信達童子畑は、旧根来街

道沿いの集落で、根来寺関係の伝承をもつ旧家もある。今回の調査区は、集落から離れた水田に位置するが、山間の礫層地帯を開発した水田は、近世・近代以降のものと考えられ、遺物の出土量は少なかった。また、その下層からも遺構、遺物は検出できなかった。一方、整理作業中に、法務局所管の行政資料を確認することができ、耕作地の地割が明治23年以前にさかのぼることがわかった。

#### 65. 八尾南遺跡03-1 [整理]

平成14年度から3年にわたり実施した大和川改修事業に伴う発掘調査の遺物整理を行った。主な作業は遺構挿図の作成と出土遺物の復元・実測で、対象遺物はコンテナに換算して約600箱を数え、実測遺物は3,168点に及んだ。遺物の内容は、土器を中心に石器・木器・金属器と豊富であるが、今回の作業の過程では、竜をモチーフにしたと考えられる絵画土器を4点確認し、集落の性格を考える上で重要な資料を得た。このほか、弥生時代後期の竪穴建物の土壌分析や種実同定を専門業者に委託して行った。

#### 66. 田井中遺跡05-1 [調査]



田井中遺跡05-1-1 22土器棺墓

八尾市空港1丁目に所在し、陸上自衛隊八尾駐屯地正門東側の05-1-1-1調査区と駐屯地東端の05-1-1-2調査区の2箇所である。05-1-1調査区では6つの遺構面を確認し、最下層の第6面では弥生時代前期後葉～末葉の遺物と土器棺墓1基・ピット・土坑・落ち込み・溝などの遺構を検出し、従来から指摘されていた駐屯地西部地区を中心に展開した弥生時代前期後葉の集落の一端を明らかにした。05-1-2調査区では8つの遺構面を確認し、第7面では弥生時代前期末葉～中期の水田と中期以降に掘削された南東-北西方向の大溝を検出した。大溝は幅4.5m・深さ1.3m程で両岸に堤を構築しており、北方の志紀遺跡で検出されている溝群との繋がりが注目される。

大溝は幅4.5m・深さ1.3m程で両岸に堤を構築しており、北方の志紀遺跡で検出されている溝群との繋がりが注目される。

#### 67. はざみ山遺跡05-1 [調査・整理]

本調査は、平成14～16年度に調査、整理が行われたはざみ山遺跡調査地（はざみ山遺跡02-1工区）の、北側および南側において計画された道路建設に伴う調査である。

調査の結果、飛鳥時代の掘立柱建物、中世の掘立柱建物、土坑などが検出され、古代、中世の土師器、須恵器や川西編年Ⅳ～Ⅴ期の埴輪片などが出土した。02-1工区では、調査地の南半を中心に、飛鳥時代の掘立柱建物などが多数検出されている。今回の調査でも、南側の調査区（05-1-2調査区）で検出された建物は、これらと対になる可能性がある建物が含まれる。また、過去の調査では調査地の北側に向かい、遺構が希薄になる傾向がある。この傾向を反映し、北側の調査区（05-1-1調査区）では遺構の密度はやや希薄であった。ただし、同調査区では包含層から土馬が1点出土した。はざみ山遺跡を含め、周辺の遺跡では多数の土馬の出土が確認されており、その新たな一例として位置づけることができる。

### (3) 保存処理事業

#### (a) 高石市教育委員会保存処理済金属製品の調査

平成17年度、金属製品調査のために、保存用梱包材が解かれた保存処理済金属製品（富木車塚古墳出土金属製品）を点検し、再度気密梱包処置を実施した。

#### (b) 平成17年度保存処理事業一覧

調査事業に関連して以下の通り保存処理事業を実施した。

遺跡名	処理種別	処理方法	処理数量
近畿道関連（北群）	大型木製品	PEG処理	460点
近畿道関連（南群）	大型木製品	PEG処理	174点
大坂城遺跡	木製品	PEG-FD処理	134点
池島福万寺遺跡	木製品	PEG-FD処理	288点
久宝寺遺跡	木製品	PEG-FD処理	160点
瓜生堂遺跡	木製品	PEG-FD処理	52点
讃良郡条里遺跡	木製品	PEG-FD処理	36点
粟生間谷遺跡	木製品	PEG-FD処理	6点
岩田遺跡	木製品	PEG-FD処理	28点
大坂城Ⅱ遺跡	大型木製品	PEG-FD処理	157点
はざみ山遺跡	木製品	PEG-FD処理	46点
尺度遺跡	木製品	PEG-FD処理	13点
奥山遺跡	金属遺物	アクリル樹脂処理	188点
瓜生堂遺跡	金属遺物	アクリル樹脂処理	23点
久宝寺遺跡	金属遺物	アクリル樹脂処理	67点
城山遺跡	石製品	修復作業	200点
茄子作遺跡	植物遺体	分類・鑑定	340点
山賀遺跡	動植物遺体	分類・鑑定	コンテナ20箱
池島福万寺遺跡	動植物遺体	分類・鑑定	コンテナ10箱
はざみ山遺跡	動植物遺体	分類・鑑定	コンテナ1箱
X線調査	各種遺物	X線透視撮影	金属・有機遺物 100点

PEG：ポリエチレングリコール FD：真空凍結乾燥を示す。

#### (4) 現地説明会等

平成17年度の現地説明会・現地公開等は次のとおり実施した。

開催年月日	遺跡名	参加者数	種別	備考
平成17年7月9日	山賀	10	現地公開	地元向け
平成17年9月9日	片山荒池	60	現地公開	地元向け
平成17年10月15日	讃良郡7～9	182	現地公開	地元向け
平成17年10月28日	片山荒池	63	現地公開	地元向け
平成17年11月5日	巢本	158	現地公開	門真市支援
平成17年11月7・8日	巢本	566	現地公開	門真市内小学生対象
平成17年11月12日	池上曽根	325	現地説明会	
平成17年11月20日	巢本	20	現地公開	門真市小学校教員向け
平成17年12月1日	新上小阪	130	現地公開	地元向け
平成18年1月21日	上私部	700	現地公開	第二京阪道路見学会と共催
平成18年1月21日	池内2	332	現地説明会	
平成18年3月6日	八尾南	85	現地公開	大和川堤防断面、専門家向け
平成18年3月15日	池島Ⅱ-2	60	現地公開	専門家向け

##### 1. 山賀遺跡現地公開 平成17年7月9日

山賀遺跡は各時期に及ぶ複合遺跡で、とくに弥生集落として知られている。山賀遺跡03-1調査でも多くの成果があがり、現地説明会を1回、速報展示を2回、紙上報告を5本、新聞報道対応を3回行った。

現地公開は、堀の中で遺跡調査がどのように行われているのかを知りたいという、遺跡周辺の方々からの要望に応じて開催した。梅雨未だ明けやらぬ7月9日(土)、湿っぽい午前、03-2区(直径54mの円形 面積2,272㎡)で、現地表下約4mにある弥生時代前期の面を公開した。調査も終盤に至り顕著な遺構はなかったが、これまでの調査成果を交えて解説し、合わせて出土遺物の整理状態も見ていただいた。



讃良郡条里遺跡現地公開

##### 2. 片山荒池遺跡現地公開 平成17年9月9日

片山荒池遺跡は吹田市片山町に所在する、古墳時代・中近世を中心とする遺跡である。9月9日、地元の方々を対象に1区を公開した。当日は天候にも恵まれ、60名の参加者は古墳時代の土坑群、あるいは埴輪片・須恵器といった遺構・遺物を興味深く観察されていた。

##### 3. 讃良郡条里遺跡現地公開 平成17年9月9日

讃良郡条里遺跡その7～9(03-4～03-6)を対象に、現地公開を10月15日(土)に行った。現地公開の対象地が広範囲になるため会場を3ヶ所に分け、各会

場へ移動して見学していただくことにした。当日は朝から雨が降りしきる悪天候であったが、小降りになり始めた午後1時に開場し、約200人の見学者が来場された。調査担当者の説明に真剣に聞き入れ、展示した遺物を一点一点写真に撮られるなど、地域の方々の関心の高さがうかがえた現地公開になった。

#### 4. 片山荒池遺跡現地公開 平成17年10月28日

9月9日に1区を対象に開催した現地公開に続いて、2回目の現地公開を10月28日に開催した。当日は天候にも恵まれ、参加者は1回目を上回る63名を数えた。見学対象地は2、3区で、古墳時代の土坑、中・近世の河川・池などを見学していただいた。

#### 5. 巢本遺跡現地公開 平成17年11月5日

門真市に所在する巢本遺跡では、11月5日に現地公開を実施した。現地では中世の建物跡や土器が埋まったままの溝、テント下では出土した多くの瓦器や曲物などを見学していただいた。地元の方々を中心に158名の参加があり、熱心に遺跡・遺物の説明に耳を傾けていた。



巢本遺跡現地公開

#### 6. 巢本遺跡現地公開 平成17年11月7・8日

現地公開に引き続き、門真市内の小学生を対象とした遺跡見学も実施した。東・四宮・北巢本・古川橋・上野口・脇田の各小学校から567名の参加があった。当日は全体説明、現場説明を行い、遺物展示のほかに「土器に触れる」体験学習の要素も取り入れた。



小学生を対象にした現地公開

#### 7. 史跡池上曾根遺跡現地説明会 平成17年11月12日

史跡池上曾根遺跡の今年度調査では、「大形建物」とその周辺地域を考える上で貴重な資料を得ることができたので、平成17年11月12日に一般の人を対象に現地説明会を実施した。当日は前日の雨で足元が悪かっにもかかわらず、東は千葉県、西は九州の福岡県や宮崎県など遠方からの参加者を含め、多くの人々が訪れ熱心に見学されていた。また、今回新たな試みとして、現地見学のみならず、出土した遺物に直接触れ、土器の洗浄や復元などの体験も併せてできるコーナーを設置し、好評を博した。

#### 8. 巢本遺跡現地公開 平成17年11月16日

門真市内の小学生を対象とした現地公開後、大和田小学校を始め市内の小学校の先生方にも公開することとなった。現地公開には16名が参加された。当日は直接現場へ降りて頂いた上での現場説明や遺物に直接触れる場面に、先生方も興味津々の様子であった。

#### 9. 新上小阪遺跡現地公開 平成17年12月1日

大阪府営東大阪新上小阪住宅建て替えに伴う発掘調査を実施している新上小阪遺跡では、調査着手以前から現地公開を望む地元の強い要望があったため、周囲を溝で囲った竪穴建物や多量の土器を廃棄し

た土坑などが検出出来た弥生時代後期後半の集落跡と出土遺物を公開した。

公開日は平日であったにもかかわらず、120余名の見学者に足を運んで頂き、足元に眠る先人たちの営みの痕跡を熱心に見学して頂いた。

#### 10. 上私部遺跡現地公開 平成18年1月21日

平成17年度の調査では、古墳時代後期の集落構造が明瞭となったため現地公開を実施した。当日は寒風が吹きすさぶ非常に寒い日となったが、多くの見学者が足を運び大盛況となった。現地での説明は午前・午後合わせて6回行い、方形区画の溝やその中に整然と立ち並ぶ掘立柱建物群の説明に熱心に耳を傾けていた。また、調査地内に設置したテント内では、土師器や須恵器などの出土遺物の展示も行い、見学者の中には担当者に対して積極的に質問を投げかける姿もみられた。

#### 11. 池内遺跡2現地説明会 平成18年1月21日

池内遺跡では、大規模な掘立柱建物を中心とする平安時代中頃の屋敷跡を検出した。当日は、大雪の予報で開催が危ぶまれたが、冷え込みが厳しいながらも幸いに降雪はなく、予定通りに実施することができた。遺構説明、屋敷境から出土した多量の土師器・黒色土器などの遺物展示のほか、隣接して調査中である三宅西遺跡のパネル・遺物展示もあわせ行った。参加者総数は332名であり、うち松原市民が147名と地元に関心がきわめて高いことが印象的であった。

#### 12. 八尾南現地公開 平成18年3月6日

国土交通省による三箇用水樋門撤去工事に伴って調査を実施した新大和川の堤防断面を、同省関係者ならびに文化財調査関係者を対象に公開した。調査の結果、宝永元年（1704）の大和川付替えに伴って築かれた堤防は、裾幅（根置）推定26m、上端幅（馬踏）5.4m、高さ5.4mを測り、史料に残る北堤の普請見積とほぼ合致することが判明した。平日午前の緊急公開であったにも関わらず、当日は85名の方の参加を得ることができ、調査の意義や築堤方法に関して貴重なご教示を多数賜うことができた。

#### 13. 池島・福万寺遺跡Ⅱ（その2-1）調査区現地公開 平成18年3月15日

平成18年3月15日、池島・福万寺遺跡Ⅱ（その2-1）調査区で検出された、縄文時代晩期から弥生時代前期にかけての墓域および居住域と考えられる遺構を対象として専門家向け現地公開を開催した。弥生時代開始期の当遺跡を理解する良好な遺構として、3基の木棺墓や楕円形土坑墓が多数検出された近畿地方でも衆目を集める資料である。当日は、遠くは島根県からも専門家が見学に訪れるなど、およそ60名の見学者が現地を訪れ資料の重要さを改めて認識したしだいである。

#### 14. 北河内発掘！ 第二京阪道路内遺跡の発掘調査展と講演会

平成17年11月19日から23日間の延べ5日間、寝屋川市市民会館において京阪調査事務所が実施している第二京阪道路内遺跡の埋蔵文化財調査の成果を出土遺物・パネル・ビデオで紹介する「北河内発掘！ - 緑たつ道に歴史わきたつ -」を実施し期間中に1,335名の参加者があった。

また、最終日の23日には同館大ホールにおいて発掘調査報告会を実施し252名の参加者があった。



展示風景

## 4. 普及啓発事業

### A. 文化財講演会事業

#### (1) 世界遺産に関するシンポジウム

平成18年1月15日（日）に下記のとおり実施した。

主催：（財）大阪府文化財センター、（財）大阪市文化財協会  
世界考古学会議中間会議大阪大会実行委員会  
世界考古学会議

特別協力：毎日新聞社

会場：大阪市中央公会堂

テーマ：世界の文化遺産を語る－多様な文化の共生に向けて－

内容：講演 1

オーストラリア・アボリジニの文化遺産が人類進化研究に意味するもの－先住民は原始的で遅れているか？

クレア＝スミス（オーストラリア・フリンダース大学準教授、世界考古学会議会長）

講演 2

英国の考古学的景観と文化遺産教育

ドン＝ヘンソン（英国考古学協会 教育担当）

講演 3

韓国における開発と遺跡の保存・活用

－遺跡保存の現代的問題と将来－

申 敬澈（釜山大学校教授）

総合討論

コーディネーター

金関 恕（大阪府立弥生文化博物館館長、世界考古学会議中間会議  
大阪大会実行委員長）

佐々木泰造（毎日新聞社学芸部副部長、同実行委員）

パネリスト

クレア＝スミス

ドン＝ヘンソン

申 敬澈

刊行物：発表要旨集として、A 4判32頁の『シンポジウム世界の文化遺産を語る－多様な文化の共生に向けて－』を刊行した。

参加者等：一般府民および、世界考古学会議中間会議大阪大会に出席の国内外の考古学者等200余名の参加があった。なお、シンポジウム終了数日後に、毎日新聞紙上に特大の内容紹介記事が掲載され、大きな反響があった。

#### (2) 重要調査に基づくシンポジウムの開催

当センターが発掘調査した久宝寺遺跡を対象に大阪歴史博物館4階講堂において、シンポジウム「河

内平野における古墳の出現－久宝寺遺跡と加美遺跡－」を（財）大阪市文化財協会・大阪歴史博物館と共催した。本事業は、平成17年度文化庁埋蔵文化財保存活用整備事業国庫補助金によるものである。

① 2005年11月5日（土）13：00～16：45 参加者数：約230名（関係者含む）

#### 河内平野における古墳の出現－久宝寺遺跡と加美遺跡－

開会あいさつ (財)大阪府文化財センター 専務理事 鳴澤成泰  
「久宝寺墳丘墓群の調査成果」(財)大阪府文化財センター 技師 亀井 聡  
「久宝寺1号墳の調査成果」(財)大阪府文化財センター 班長 西村 歩  
「加美・久宝寺遺跡における墳丘墓の階層性」(財)大阪市文化財協会学芸員 杉本厚典  
「古墳の出現と加美・久宝寺墳丘墓群」立命館大学文学部 教授 和田晴吾  
司会：(財)大阪市文化財協会 調査課長 田中清美  
パネリスト 亀井 聡・西村 歩・杉本厚典・和田晴吾

### (3) 職員による文化財調査に関する講演会の実施

日本民家集落博物館内カルチャはっりににおいて、歴史体験隊「作ったよ！学んだよ！－歴史体験隊作品展－」を全6回開催した。

#### 第1回 泥めんこをつくろう

2005年7月17日（日）10：30～16：00

講師：山本彰 今田明子 峠美穂 長嶺睦 本間元樹 三好孝一

内容：粘土で型抜きし、七輪で焼く 参加者数：26人（大人5人・子供21人）

#### 第2回 胃をつくろう

2005年8月21日（日）13：30～16：00

講師：塚本浩司 峠美穂 長嶺睦 広瀬時習 本間元樹 向井妙

内容：ペーパークラフト 参加者数：21人（大人3人・子供18人）

#### 第3回 土器をつくろう－作る－

2005年10月16日（日）10：30～16：00

講師：後川恵太郎 竹内秀喜 塚本浩司 峠美穂 三好孝一 向井妙

内容：粘土を練り、整形して文様を施す 参加者数：33人（大人8人・子供25人）

#### 第4回 古代クッキーをつくろう

2005年11月20日（日）13：30～16：00

講師：峠美穂 山口誠二 長嶺睦 岩立美香

内容：クルミ等を使って七輪で焼く 参加者数：29人（大人6人・子供23人）

#### 第5回 土器をつくろう－焼く－

2005年12月18日（日）10：30～16：00

講師：後川恵太郎 塚本浩司 峠美穂 長嶺睦 本間元樹 三好孝一

内容：炭火で土器を焼く 参加者数：24人（大人4人・子供20人）

#### 第6回 土器をつくろう－炊く－

2006年1月22日（日）13：30～16：00

講師：山本彰 後川恵太郎 峠美穂 長嶺睦 本間元樹 三好孝一

内容：土器で米、卵を炊く 参加者数：27人（大人4人・子供23人）

#### (4) ミニ講座、見学ツアー等の実施

##### ① ミニ講座

###### \*日本民家集落博物館との共催によるミニ講座

博物館内のカルチュアはっとりを会場として、下記のとおり実施した。

全体テーマ 「山人の声を聴く—九州山地に暮らす人々に学ぶ自然との共生—」

(聴講者延べ人数75人、平均18人)

回	月日・曜日	講座タイトル・講師	参加者数
1	11月12日(土)	奥深い椎葉の民俗の諸相 永松 敦氏(宮崎公立大学助教授)	23名
2	11月19日(土)	椎葉村の生業複合 野本 寛一氏(近畿大学教授)	22名
3	11月26日(土)	椎葉村の民家建築 青山 賢信氏(大阪工業大学名誉教授)	15名
4	12月3日(土)	椎葉の植生と植物利用 野間 直彦氏(滋賀県立大学講師)	15名

###### \*池上曾根史跡公園協会との共催によるミニ講座

池上曾根弥生学習館を会場として、下記のとおり実施した。

全体テーマ 「フォーラム匠の世界 —日本の伝統技術は今—」

(聴講者延べ人数357人、平均89人)

回	月日・曜日	講座タイトル・講師	参加者数
1	5月29日(日)	古代の屋根瓦 山本 清一氏(本瓦葺き・国選定保存技術保持者) 菅谷 文則氏(滋賀県立大学教授・考古学)	89名
2	6月12日(日)	伝統の技・明珍火箸 明珍 宗理氏(鍛冶・明珍家第52代当主) 松村紀久男氏(元兵庫県物産協会専務理事)	93名
3	6月26日(日)	近江の本藍染め 森 義男氏(本藍染め・紺九代目・国選定保存技術保持者) 井関 和代氏(大阪芸術大学工芸学科教授)	87名
4	7月3日(日)	井波彫刻・匠の流れ 田村与八郎氏(本彫刻・番匠屋16代目) 田村 幸子氏	88名

##### ② 見学ツアー等の実施

###### \*日本民家集落博物館との共同企画によるバスツアーと写真パネル展

・タイトル：第3回民家集落ツアー

### 備前国の歴史と文化を旅する～焼物と名刀の旅～

実施日：平成17年9月23日（金・祝）

見学先：竹久夢二生家、備前長船刀剣博物館、備前焼伝統産業会館、閑谷学校、八塔寺ふるさと村

参加者：25名（引率・随員4名含む）

なお、参加者が撮影した写真をパネルにし、民家ツアー写真展、「備前国の歴史と文化を旅する～焼物と名刀の旅～」を11月1日（火）から11月10日（木）まで、日本民家集落博物館で開催した。

#### \*池上曾根史跡公園協会との共同企画によるバスツアーと写真パネル展

・タイトル：魏志倭人伝 奴国・伊都国・末廬国の遺跡を訪ねて

実施日：平成17年6月1日（水）～6月3日（金）3日間

見学先：福岡市埋蔵文化財センター、板付遺跡、板付遺跡弥生館、金隈遺跡、金隈遺跡展示館、志免町歴史資料館、宇美町歴史民俗資料館、光正寺古墳、七夕池古墳、須玖岡本遺跡、奴国の丘歴史公園、奴国の丘歴史資料館、奴国学習館、新町支石墓群、新町遺跡展示室、志登支石墓群、伊都国歴史博物館、三雲南小路遺跡、平原遺跡、久里双水古墳、佐賀県立名護屋城博物館、名護屋城跡、菜畑遺跡、末廬館

参加者：43名（引率・随員含む）

・タイトル：東海地方の弥生・古墳時代遺跡を訪ねて

実施日：平成17年9月29日（木）～9月30日（金）2日間

見学先：磐田市埋蔵文化財センター、磐田市立豊田図書館展示室、兜塚公園、長者屋敷遺跡、銚子塚古墳、小銚子塚古墳、米塚古墳、寺谷遺跡、新豊院古墳群、御厨古墳群（松林山古墳）、堂山古墳、遠江国分寺跡、土器塚古墳、伊場遺跡資料館、同遺跡公園、蜷塚公園、浜松市博物館、浜松市姫街道と銅鐸の歴史民俗資料館

参加者：29名（引率・随員3名を含む）

なお、参加者が撮影した写真をパネルにし、歴史ツアー写真展、「魏志倭人伝、奴国・伊都国・末廬国の遺跡を訪ねて」を7月20日から8月31日まで、「東海地方の弥生・古墳時代遺跡を訪ねて」は平成17年11月1日から11月30日まで、池上曾根弥生学習館でそれぞれ開催した。

## （5）文化財講座の実施

平成17年度は、大阪歴史博物館 ホールを会場として、下記のとおり実施した。

全体テーマ：『魏志倭人伝の世界』

（聴講者延べ人数1,900人、平均190人）

回	月日・曜日	講座タイトル・講師	参加者数
1	5月15日（日）	『なぜ九州邪馬台国かー日本列島における「国」の成立ー』 高島 忠平氏（佐賀女子大学学長）	243名
2	6月19日（日）	『瀬戸内の弥生社会』 下條 信行氏（愛媛大学文学部教授）	204名

3	7月17日(日)	『倭国王都 邪馬台国大和説—撰河泉はその表門戸—』 水野 正好氏 ((財)大阪府文化財センター理事長)	211名
4	8月21日(日)	『倉・神殿・居館—大型建物を語る—』 森岡 秀人氏 (芦屋市教育委員会文化財課主査)	202名
5	9月18日(日)	『「方寸の世界」に歴史を読む—「漢委奴国王」「親魏倭王」 「率善中郎将」「邸閣督」印とその史的周辺—』 久米 雅雄氏 (大阪府教育委員会文化財保護課主査)	188名
6	10月16日(日)	『邪馬台国と狗奴国』 赤塚 次郎氏 (愛知県埋蔵文化財センター調査課主査)	175名
7	11月20日(日)	『三国時代の神仙思想』 小南 一郎氏 (京都大学名誉教授)	179名
8	12月18日(日)	『近畿式銅鐸と三遠式銅鐸—最終段階の銅鐸の動向—』 難波 洋三氏 (京都国立博物館考古室長)	169名
9	1月15日(日)	『倭国乱と卑弥呼の共立—卑弥呼政権の確立—』 大橋 信弥氏 (滋賀県立安土城考古博物館学芸課長)	164名
10	2月19日(日)	『邪馬台国の時代—古墳の出現をめぐって—』 和田 晴吾氏 (立命館大学文学部教授)	165名
合 計			1,900名

本事業は、平成17年度文化庁埋蔵文化財保存活用整備事業国庫補助金によるものである。

## (6) 郷土の文化財を見学する会の実施

平成17年度は下記の通り実施した。

(参加延べ人数880人 平均88人)

実施日	見学先と見学内容	講 師	参加者
4月17日 日曜日	第1回例会(第323回) 泉南地域の文化財探訪(1) テーマ:貝塚木島谷、水間街道を歩く 貝塚市図書館(貝塚市郷土資料展示室), 加治・神前・畠中遺跡, 水間街道, 観音堂, 妙順寺, 称念寺, 行杏邸のむくの木, 森稲荷神社, 不動堂, 常照寺, 安養寺, 高井天神廃寺, 高井城跡他	上畑 浩司 氏	83人
5月8日 日曜日	第2回例会(第324回) 南河内地域の文化財探訪(1) テーマ:古市古墳群北西部の古墳と辰孫王系渡来氏族の遺跡 北岡遺跡, 長尾街道, 小山善光寺, 津堂城山古墳ガイダンス棟, 津堂廃寺, 小山1号墳, 殿町古墳, 島泉丸山古墳, 陵南の森展示室, 大津神社, 辛国神社, 岡ミサンザイ古墳, 割塚古墳, 岡古墳, アイセルシュラホール, 鉢塚古墳, 葛井寺	上田 睦 氏	112人

実施日	見学先と見学内容	講 師	参加者
6月12日 日曜日	<p>第3回例会（第325回）</p> <p>北河内地域の文化財探訪（1）</p> <p>テーマ：星の町、交野の史跡をたずねる</p> <p>明遍寺，郡津神社，廃長宝寺（交野郡衙跡），私部城跡，無量光寺，想善寺，北田家住宅，住吉神社，交野車塚古墳，大畑古墳，神宮寺遺跡，倉治古墳群，機物神社，交野市歴史民俗資料展示室ほか</p>	<p>上田 修 氏</p> <p>小川 暢子 氏</p>	103人
7月16日 土曜日	<p>第4回例会（第326回）</p> <p>南山城地域の文化財探訪（1）</p> <p>テーマ：京田辺、木津川左岸中流域の遺跡、史跡をたずねる</p> <p>寿宝寺，飯岡渡し場跡，飯岡古墳群（トヅカ古墳、薬師山古墳、ゴロゴロ古墳、飯岡車塚古墳），蓮花寺跡，西方寺，穴山梅雪墓，草路城，法泉寺ほか</p>	<p>吉村 正親 氏</p>	87人
9月11日 日曜日	<p>第5回例会（第327回）</p> <p>中河内の文化財探訪（1）</p> <p>テーマ：八尾、久宝寺、二つの寺内町を歩く</p> <p>八尾旧寺内町（多嘉地蔵、板倉家住宅、飯田忠彦旧棲地跡、慈願寺、大信寺、常光寺他），久宝寺旧寺内町（顕正寺、許麻神社他）ほか</p>	<p>小谷 利明 氏</p> <p>岡田 清一 氏</p>	83人
10月9日 日曜日	<p>第6回例会（第328回）</p> <p>北摂地域の文化財探訪（1）</p> <p>テーマ：吹田村から吹田市へ、その成り立ちを見て歩く</p> <p>片山神社，平和祈念資料室，泉殿宮，建前地蔵尊，高浜神社，吹田歴史文化まちづくりセンター，観音寺，吹田の渡，血の池，松の音善蔵の墓，旧西尾家住宅ほか</p>	<p>西本 安秀 氏</p>	76人
11月13日 日曜日	<p>第7回例会（第329回）</p> <p>大和地域の文化財探訪（1）</p> <p>テーマ：大和国、馬見古墳群中央部を歩く</p> <p>馬見丘陵公園（馬見二ノ谷遺跡、乙女山古墳、別所下古墳、ナガレ山古墳、ダダヲシ古墳、佐味田狐塚古墳、特別史跡巢山古墳），竹取公園，讃岐神社，三吉石塚古墳，新木山古墳，史跡牧野古墳，佐味田宝塚古墳，伝文代山古墳石棺，かつらぎの道ほか</p>	<p>井上 義光 氏</p>	87人

実施日	見学先と見学内容	講 師	参加者
12月10日 土曜日	第8回例会（第330回） 備前地域の文化財探訪（1）[バスツアー] テーマ：東の吉備路の史跡、遺跡をたずねる 山陽郷土資料館，両宮山古墳，森山古墳，正免東古墳，備前国分寺跡，備前国分尼寺跡，朱千駄古墳，牟佐大塚古墳，岩田14号墳，野山古墳ほか	高畑 富子 氏 有賀 祐史 氏	67人
1月8日 日曜日	第9回例会（第331回） 難波地域の文化財探訪（1） テーマ：上町台地南部、住吉大社とその周辺の文化財をめぐる 津守廃寺，住吉行宮，熊野街道，細江川，一休禪師鉢菜庵跡，住吉大社，大海神社，生根神社，莊嚴浄土寺，弁天塚古墳，二本松古墳群，万代池・万代池古墳跡，帝塚山古墳ほか	村元 健一 氏	100人
2月12日 日曜日	第10回例会（第332回） 南河内地域の文化財探訪（2） テーマ：富田林、石川中流域左岸に文化財をたずねて 喜志西遺跡・粟ヶ池遺跡，美具久留御魂神社，巡礼街道・深溝水路，宮町遺跡，真名井古墳跡，オガンジ池瓦窯，お亀石古墳，新堂廃寺跡・富田林寺内町，東高野街道，谷川遺跡，水郡邸，錦織神社，新家古墳，甲田南遺跡ほか	中辻 亘 氏	82人

本事業のうち、4月例会、5月例会、6月例会、9月例会、1月例会、2月例会は平成17年度文化庁埋蔵文化財保存活用整備事業国庫補助金によるものである。

## B. 文化財展示事業

### (1) 展示会の実施

#### ① 小テーマ展示「シリーズ ここまでわかった考古学」の実施

##### a 「シリーズ ここまでわかった考古学」

「はたおりの歴史展—古代の織物生産を考える—」

日本民家集落博物館と共催で実施した。

会期 平成18年2月11日（土・祝）～2月26日（日）

（博物館休館日を除く14日間）

会場 日本民家集落博物館内 カルチュアはっとり

入館者総数 1,619名

会期中の行事

会場 カルチュアはっとり（定員40人）

時間 午後1時30分～3時30分

調査成果報告会

2月18日（土）

演題 「弥生時代の群倉」

講師 （財）大阪府文化財センター部長 福岡 澄男

演題 「機織に関する歴史的研究」

講師 （財）大阪府文化財センター技師 黒須亜希子

参加者 31名

b 「シリーズ ここまでわかった考古学」

「弥生ムラの風景—八尾南遺跡の最新成果—」

大阪府立弥生文化博物館と共催で実施した。

会期 平成18年2月18日（土）～3月21日（火・祝）

（博物館休館日を除く27日間）

会場 大阪府立弥生文化博物館 特別展示室

入館者総数 2,480名

会期中の行事

会場 大阪府立弥生文化博物館 1階ホール

時間 午後2時～4時

調査成果報告会とミニシンポジウム

3月5日（日）

演題 「土器に描かれた絵画—八尾南遺跡出土遺物を中心に—」

講師 （財）大阪府文化財センター技師 正岡 大実

参加者総数 108名

3月12日（日）午後1時～4時

演題 「弥生後期集落の景観」

講師 鳥取大学地域学部地域環境学科 高田 健一氏

静岡市市民局文化スポーツ部文化財課 岡村 渉氏

（財）富山県文化振興財団埋蔵文化財事務所 岡本淳一郎氏

（財）大阪府文化財センター 土井 孝之

（財）大阪府文化財センター 岡本 茂史

コーディネーター 大阪府立弥生文化博物館学芸課長 小山田宏一

参加者総数 170名

c 「シリーズ ここまでわかった考古学」

「太秦古墳群 発掘調査成果—大阪の初期群集墳を考える—」

大阪府立近つ飛鳥博物館と共催で実施した。

会期 平成18年3月12日（日）～3月26日（日）

（博物館休館日を除く13日間）

会場 大阪府立近つ飛鳥博物館 特別展示室

入館者総数 3,741名

会期中の行事

会場 博物館地階ホール

時間 午後1時～4時

調査成果報告会とミニシンポジウム

3月19日（日）

第1部 調査成果報告会

演題 「太秦古墳群」

講師 （財）大阪府文化財センター主任技師 市本 芳三

演題 「総持寺古墳群」

講師 大阪府立近つ飛鳥博物館学芸員 小浜 成

演題 「郡戸古墳群」

講師 （財）大阪府文化財センター主任技師 三宮 昌弘

演題 「長原古墳群」

講師 （財）大阪府文化財センター技師 大庭 重信

第2部 ミニシンポジウム

コメンテーター 大阪府立近つ飛鳥博物館館長 白石 太郎

司会 （財）大阪府文化財センター技師 森本 徹

参加者数 129人

本事業は、平成17年度文化庁埋蔵文化財保存活用整備事業国庫補助金によるものである。

## ② スポット展示

1回実施した。本事業は、平成17年度文化庁埋蔵文化財保存活用整備事業国庫補助金によるものである。

### 1. 山賀遺跡の垂飾形木製品

2005年12月13日（火）～27日（火）大阪府立弥生文化博物館特別展示室前廊下 入館者数：297人

## （2）文化庁主催「公開普及事業」に協力

文化庁が主催し、全国埋蔵文化財法人連絡協議会・全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会が共催して実施している埋蔵文化財公開普及事業「発掘された日本列島2005（新発見考古速報展）」の運営に、当センターが実行委員会事務局として参加して、展示品の集荷・検収・返却の実務を担当した。

## C. 文化財体験学習事業

### (1) 体験学習等の受け入れ

12校の体験学習を受け入れた。

1. 東大阪市立池島中学校の現場見学と発掘体験		
2005.5.26 (木)	場所：池島・福万寺遺跡	参加人数：99人 (2年生)
2. 東大阪市立弥刀東小学校の出前授業		
2005.6.3 (金)	場所：弥刀東小学校体育館	参加人数：100人 (6年生)
3. 寝屋川市立第五中学校の体験学習		
2005.9.13 (火)～15 (木)	場所：讚良郡条里遺跡	参加人数：6人 (2年生)
4. 私立和光高等学校の発掘実習		
2005.10.13 (木)	場所：三宅西遺跡	参加人数：24人 (2年生)
5. 地元小学校の現地公開の見学		
2005.11.7 (月)～8 (火)	場所：巢本遺跡	参加人数：566人 (5・6年生)
門真市立東小学校		参加人数：90人 (6年生)
門真市立四宮小学校		参加人数：125人 (6年生)
門真市立北巢本小学校		参加人数：91人 (5・6年生)
門真市立古川橋小学校		参加人数：70人 (5年生)
門真市立上野口小学校		参加人数：70人 (6年生)
門真市立脇田小学校		参加人数：120人 (6年生)
6. 羽曳野市立峰塚中学校の体験学習		
2005.11.17 (木)～18 (金)	場所：南部調査事務所古市分室	参加人数：3人 (2年生)
7. 大阪府立大手前高校の発掘体験		
2005.12.9 (金)	場所：池内遺跡	参加人数：15人 (2・3年生)

## D. 文化財資料収集事業

### (1) 文献及び文化財情報の収集・整理

平成17年度に購入および受贈等によって収集した図書は下記のとおりである。

① 購入図書	438冊
② 研究機関、行政機関等からの寄贈図書	1,871冊 (248,242頁)
計	2,309冊
累計	64,887冊

蔵書データベース、雑誌目次データベースの入力を行った。

### (2) 文化財情報のデジタル化

近畿版出土遺物データベースの一環として、平成16年度当センター発行の報告書をもとに、画像データベースを作成した。

## E. 文化財資料提供事業

### (1) インターネット及び報道機関を通じての、当センターの発掘調査やイベント、出版等に関する情報の提供

当センターが開催した諸行事に関する情報およびOCCH、現地説明会資料等をホームページに掲載公開した。また、報道機関にも積極的に情報提供した。

### (2) 発掘資料の出品、写真、映画等の貸出

#### ① 資料の出品

博物館等からの依頼を受けて下記のとおり資料の出品を行った。

#### 平成17年度常設展示貸出し資料一覧

総点数293点

文書番号	貸出先	貸出展示等名称	貸出期間	資料名	点数
J05-01	大阪府立弥生文化博物館 (移動記録)	弥生文化博物館 常設展示	H14. 4. 1 ~ H15. 3. 31	新家：1, 瓜生堂：2, 巨摩：6, 山賀：6, 亀井北：1, 亀井：26, 田山：47, 西大路：5, 脇浜：12, 貝掛：9	実物115
J05-02	大阪府立近つ飛鳥博物館 (移動記録)	近つ飛鳥博物館 常設展示	H14. 4. 1 ~ H15. 3. 31	久宝寺：6, 美園：6, 小阪：40, 日置荘：2	実物54
J05-03	大阪府教育委員会 文化財保護課	泉北考古資料館 常設展示	H14. 4. 1 ~ H15. 3. 31	伏尾：家形埴輪1, 野々井西：弥生土器4/石器11/全景写真1, 陶邑関連パネル4	実物16 写真5
J05-04	和泉市教育委員会	和泉市いずみの国歴史館 常設展示	H14. 4. 1 ~ H15. 3. 31	福瀬：墨書皿(寺)1/木製弓2/下駄2/鉦台1/桶底板1/椀1/雁股式有茎鏃1/小刀1, 仏並：縄文土器(鉢)1/縄文土器(深鉢)1/土面レプリカ1/パネル2, 池田寺：縄文土器(深鉢)1/文字瓦(池田・堂)2	実物16 パネル2
J05-05	諏訪市教育委員会 諏訪市博物館	諏訪市博物館 常設展示	H14. 4. 1 ~ H15. 3. 31	亀井：弥生式土器1	実物1
J05-06	泉佐野市立 歴史館 いずみさの	歴史館いずみさの 常設展示	H14. 4. 1 ~ H15. 3. 31	日置荘：青磁碗2/土師器小皿6/鉄瓶1	実物9
J05-07	大阪府富田林土木事務所	狭山池博物館 常設展示	H14. 4. 1 ~ H15. 3. 31	城山：韓式土器5, 日置荘：青磁碗1	実物6
J05-08	美原町教育委員会	人・夢・創造の交流館 (仮称) 常設展示	H14. 4. 1 ~ H15. 3. 31	真福寺：梵鐘鑄造遺構切り取り1	実物1
J05-09	吹田市立博物館	吹田市立博物館 常設展示	H14. 4. 1 ~ H15. 3. 31	吹田操車場：須恵器大型甕1	実物1
J05-10	美原町教育委員会	美原町立みはら歴史博物館 常設展示	H15. 1. 20 ~ H15. 3. 31	真福寺：梵鐘鑄型等8/鑄型(外型)用途不明1/鑄型(外型)磬1/瓦器椀2/東播系こね鉢1/土師器羽釜1/鑄型(外型)鍋2/溶解炉1/輪羽口2/鑄型(外型)コップ型1, 円面硯1, 余部：磬鑄型2/釜鑄型1, 太井：輪羽口2/統一新羅印花文陶器1/延喜通寶3/埴塙19/輪羽口11/須恵器高杯1/丸軋1, さば山古墳：円筒埴輪2/朝顔形埴輪2, 丹上：巡方1	実物67

平成17年度貸出し資料一覧

番号	貸出先	展示等名称	期間	資料名	点数
M05-01	市立五條文化博物館	平成17年度春季特別展「地震-そのとき五條は-」	H17. 4. 26 ~ H17. 6月中旬	池島福万寺:噴砂痕跡剥ぎ取り平面/断面	2
M05-02	発掘された日本列島展実行委員会	発掘された日本列島2005-新発見考古速報展-	H17. 7. 4 ~ H18. 3. 31	八尾南:弥生土器 壺(絵画土器) 2/壺3/甕2/高杯1/鉢1/堅穴住居葺材レプリカ1	10
			H17. 2. 1 ~ H18. 3. 31	八尾南:35mmカマ-1/6×7判カマ-9	10
M05-03	島根県立八雲立つ風土記の丘	企画展「神と人の交差点」	H17. 7. 25 ~ H17. 11. 10	亀井:銅鐸片2/銅鐸形土製品4/銅剣形石剣1, 瓜生堂:銅鐸形土製品1/銅剣形石剣1, 山賀:銅剣形石剣1/鳥形木製品1, 新家:琴1	12
				亀井:銅鐸片/分銅形土製品/銅鐸形土製品/銅剣形石剣/鳥形木製品, 瓜生堂:銅鐸形土製品/銅剣形石剣, 山賀:銅剣形石剣/鳥形木製品, 新家:琴	10
M05-04	香芝市二上山博物館	第11回企画展「邪馬台国時代の筑紫と大和」	H17. 6月下旬 ~ H17. 8. 31	船橋:北部九州系土器	1
M05-05	堺市博物館	堺市・美原町合併記念秋季特別展「百舌鳥古墳群と黒姫山古墳」	H17. 9. 12 ~ H17. 12. 22	下田:銅鐸1/剣形木製品1/刀剣柄頭1/環状付木製品1/刀形木製品1/木製短甲1/琴1/腰掛1/船形木製品1/四方転び4/壺2/甕3/高杯1/中形鉢1/小形丸底土器3/小形器台3/有段口縁鉢3/製塩土器3	32
				下田:銅鐸出土状況/土器集合/剣形木製品/刀剣柄頭/環状付木製品/刀形木製品/木製短甲/琴/腰掛/船形木製品/四方転びの箱/環状付木製品出土状況(南から)/短甲出土状況(東から)	13
M05-06	M・Cみはら(美原歴史博物館)	平成17年度夏季企画展「堺の茶陶」	H17. 7. 15 ~ H17. 9. 9	日置荘:同安窯系青磁碗2/龍泉窯系青磁碗1	3
				日置荘:鎌倉時代の墓(土壇墓M-1出土土器)カマ-	1
M05-07	吹田市立博物館	平成17(2005)年度発掘調査成果展	H17. 8. 1 ~ H17. 9. 12	吹田操車場:丸瓦2/平瓦10/土師器皿3瓦器碗1/土師器羽釜1/家形埴輪1/須恵器壺1/円筒埴輪1/軒平瓦1/須恵器杯1, 吹田操車場B地点:土師器皿1/馬形土製品1/須恵器杯蓋4/石鉢2/石槍1/須恵器杯5/須恵器甕1/土師器碗1/黒色土器A類1/土師器羽釜1	40
			H17. 7. 20 ~ H17. 9. 12	吹田操車場:試掘No. 41井戸1完掘状況カマ-/試掘No. 40須恵器大甕出土状況カマ-/試掘No. 51土坑と柱穴カマ-/試掘No. 57土壇墓群カマ-/1A区第3面(平安時代後期水面)カマ-/1A区第5-1面(古墳時代前期)の溝カマ-	6
M05-08	大阪市立自然史博物館	特別展「なにわのナチュラリスト展」	H17. 7. 8 ~ H17. 9. 10	梶山資料:水害調査図面/難波古京考作業図面/梶山彦太郎氏自画像	3
M05-09	尼崎市教育委員会	特別展「弥生の戦」	H17. 9. 6 ~ H17. 11. 20	美園:打製石剣1, 志紀:大型尖頭器2/投弾(土弾) 1, 瓜生堂:磨製石剣1/鞘1/弓1/木製短甲1, 田井中:磨製石鉢1, 山賀:投弾(石弾) 1/石鉢5, 巨摩磨寺:石鉢1, 亀井:環状石斧1/銅鉢2/打製石鉢2, 大尾:磨製石鉢1/打製石剣1	23
			H17. 8. 9 ~ H17. 9. 16	山賀:石鉢(木棺内出土品)モノカ紙焼き2/9号墓検出状況カマ-1, 巨摩磨寺:人骨に射込まれた石鉢出土状況カマ-1, 亀井:2号方形周溝墓2号主体石鉢出土状況(北から)カマ-1	5
M05-10	塩の会	「塩の会」による製塩土器の見学会	H17. 8. 10 ~ H17. 8. 31	下田:製塩土器	1
M05-11	下関市立考古博物館	開館10周年記念展「一衣帯水の世界-古の日韓交流-」	H17. 10月上旬 ~ H17. 12月中旬	野々井西:樽形はそう1, 大庭寺:有蓋高杯1/蓋2/無蓋高杯2/器台1/把手付碗2/小型壺1/筒形器台1	11
			H17. 8月下旬 ~ H17. 10. 31	野々井西:樽形はそう, 大庭寺:TG232号窯跡/初期須恵器全てカマ-	3
M05-12	四條畷市教育委員会	第20回特別展「青い島が翔ぶ-雁屋の男たちがめざした日本海-」	H17. 10. 3 ~ H17. 12. 22	巨摩:ガラス勾玉1/ガラス小玉12	13
				巨摩:ガラス勾玉・小玉出土状況 カマ-	1
M05-13	千早赤阪村教育委員会	平成17年度企画展「山城を発掘する-中世山城の主郭-」	H17. 10. 25 ~ H17. 12. 9	礎石建物1(250-0B)出土遺物3/曲輪4出土遺物15	18
				D地区礎石建物1/井山城跡曲輪4	2
M05-14	財団法人瀬戸市文化振興財団	平成17年度企画展「近世陶磁の消費遺跡-江戸・名古屋・大坂-」	H17. 11. 30 ~ H18. 3. 31	大坂城跡:鉄釉汁次(陶器)/染付碗(磁器)/染付皿(磁器)/染付碗(陶器)/染付皿(陶器)/鉄釉銭甕(陶器)/腰鎗茶碗/灰釉染付丸碗/灰釉摺絵皿/染付碗/染付碗(磁器)/染付皿(磁器)	12
M04-15	府立近つ飛鳥博物館	平成17年度冬季企画展「年代のものさし-陶邑の須恵器-」	H17. 11 ~ H18. 3. 17	陶邑・大庭寺:須恵器片1/用途不明土製品1/須恵器坏2/須恵器把手付き碗2/須恵器深鉢1/須恵器蓋5/須恵器有蓋高杯4/須恵器無蓋高杯10/須恵器はそう3/須恵器高坏形器台3/須恵器コップ1/須恵器有蓋脚坏鉢2/須恵器壺5/須恵器甕2, 野々井西:須恵器蓋8/須恵器坏2/須恵器無蓋高杯7/須恵器コップ3/須恵器鉢1/須恵器はそう10/須恵器樽形はそう1/須恵器高坏形器台1/須恵器壺5/須恵器甕2/須恵器不明土製品7, 大坂城址:土師器坏3/土師器坏蓋1/土師器甕1/土師器高坏1/土師器皿2/須恵器蓋2/須恵器坏身4/須恵器平瓶1/須恵器壺瓶1/須恵器坏蓋3/木簡「秦人凡国評」(レプリカ) 1/木簡「戊申年」(レプリカ) 1	110
				野々井西:	10
M05-16	横浜市歴史博物館	企画展「ムラのとりに墓がある」	H18. 3. 27 ~ H18. 6. 30	巨摩・瓜生堂:出土木棺(大)(小)	2
M05-17	太子町教育委員会	平成17年度竹内街道歴史資料館企画展「石川流域の後・終末期群集墳とその周辺」	H18. 2. 17 ~ H18. 3. 31	田須谷古墳群:須恵器長頸壺1/須恵器杯蓋2/須恵器坏身2/須恵器杯1/須恵器平瓶1/土師器皿3/赤彩石棺材1	11
M04-18	発掘された日本列島展実行委員会	発掘された日本列島2006-新発見考古速報展-	H18. 1. 20 ~ H19. 3. 10	山賀:垂飾形木製品1/弥生土器 壺2/鉢1/高杯1	5
合計					370

② 写真の貸出

出版社等からの依頼を受けて下記のとおり貸出掲載した。

平成17年度写真貸出し・掲載許可申請

番号	貸出先	申請年月日	使用目的	資料名	内訳	点数	使用料
P05-01	藤井寺市教育委員会	H17. 4. 11	藤井寺市ホームページ「歴史探訪」「古代からのメッセージ」	久宝寺：準構造船出土状況	カラー×1	1	無料
P05-02	堺市埋蔵文化財センター	H17. 4. 12	堺市埋蔵文化財センターホームページ「堺の遺跡紹介」	伏尾：方墳/出土家形埴輪、平井：瓦器焼成窯/同遺物出土状態	カラー×4	4	無料
P05-03	人形芸能史研究所	H17. 5. 9	『まつり通信』518号	大坂城跡：烏帽子の人形かしら/動物の人形	モノクロ×2	2	加納氏撮影写真
P05-04	学術文献刊行会	H17. 5. 13	『日本史学年次別論文集』	論文「出土絵馬小考-讃良郡奈里遺跡出土の絵馬について-	論文×1	1	転載
P05-05	河内長野市立郷土資料館	H17. 5. 25	特別展「河内長野に現われた謎の旅人〜三日月北遺跡発掘ミステリー〜」	八尾南：竪穴住居跡/池島福万寺：準構造船(複製品)	カラー×2	2	無料
P05-06	八雲立つ風土記の丘	H17. 6. 2	企画展「神と人の交差点」	亀井：分銅型土製品/銅鐸片/遺跡全景、亀井・瓜生堂：銅鐸形土製品、山賀：銅剣形石剣/鳥形木製品、新家：琴、亀井北：鳥形木製品=C、亀井：銅剣形石剣、瓜生堂：銅剣形石剣=M	カラー×8 モノクロ×2	10	無料
P05-07	泉佐野市教育委員会	H17. 6. 11	『新修泉佐野市史』第9巻考古編	母山：出土土器、日根野：緑釉碗/須恵器杯の入る土坑墓、山出：全景/護岸石列/中国製陶磁器、末廣：石匙、長滝：全景/井筒組み合わせ状況/出土石器1/出土石器2/出土石器3/出土石器4、湊：出土遺物、安松：出土石器1/出土石器2、若宮：溝出土状況/土坑墓、棚原：全景/遺構/竪穴住居跡、機場：全景/遺物/墓/井戸/調査地全景	カラー×27 モノクロ×6	33	無料
P05-08	府立中央図書館	H17. 6. 10	映像資料の館外貸出	DVDシリーズVol. 1/Vol. 2	使用	2	使用承認
P05-09	株式会社 NHKエンタープライズ	H17. 6. 10	「NHKスペシャル 日本人はるかな旅へそして“日本人”が生まれた〜」	亀井：土器 壺/直柄縦斧/一木平鋤/鉄製タガネ、巨摩：縦杵=C、亀井：土器 高杯/土器 鉢/石庖丁/直柄平鋤、瓜生堂：土器 甕/扁平片刃石斧、城山：太形片刃石斧、美園：柱状片刃石斧=M	カラー×5 モノクロ×8	13	転載
P05-10	堺市博物館	H17. 6. 22	「百舌古墳群と黒姫山古墳」	下田：銅鐸出土状況/土器集合/銅形木製品/刀剣把頭/環形付木製品/刀形木製品/木製短甲/琴/腰掛/船形木製品/四方転びの箱/環形付木製品出土状況/木製短甲出土状況	カラー×16	16	無料
P05-11	堺市博物館	H17. 6. 23	「広報さかい」7月号美原支所版	さば山古墳遠景	カラー×1	1	転載
P05-12	株式会社ジャパン通信情報センター	H17. 6. 27	『文化財発掘出土情報 考古速報展 増刊号』	八尾南：絵画土器(長頸土器)/絵画土器(細頸土器)/弥生土器	カラー×3	3	転載
P05-13	広島県立歴史民俗資料館	H17. 7. 8	「重要有形民俗文化財 最上川・荒川・江の川の漁撈道具-日本の河川三大漁撈文化-」	山賀：うけ出土状況	カラー×1	1	無料
P05-14	大阪府教育委員会	H17. 7. 19	『窯業史に輝く陶邑(仮称)』国重要文化財指定記念図録	大庭寺：TG232号窯出土船形土器/TG232号窯灰原/TG232号窯出土土器、野々井西：ON231号窯出土初期須恵器	カラー×4	4	転載
P05-15	株式会社ジャパン通信情報センター	H17. 8. 9	『文化財発掘出土情報』2005年10月号	池上曾根：第3面全体略図/第3面遺構掘削状況/第3面遺構掘削状況/第2面の遺構と「いずみの高殿」	モノクロ×4	4	転載
P05-16	株式会社 大和書房	H17. 8. 16	『日本古代史大辞典 [旧石器時代〜鎌倉幕府成立頃]』	大庭寺：TG231・232号窯出土初期須恵器集合写真	モノクロ×1	1	10,000
P05-17	かみつけの里博物館	H17. 8. 22	特別展「高崎藩の考古学-近世城郭・城下町を読み解く-」	大坂城跡：調査地周辺航空写真	カラー×1	1	無料
P05-18	財団法人 交野市文化財事業団	H17. 8. 25	「交野市市民文化財講座」に伴う交野市広報・チラシ・ホームページ等広報資料	私部南：弥生時代前期の竪穴住居跡/弥生時代前期土器出土状況/調査地全景(古墳時代)、上の山：独立棟持柱をもつ大型掘立柱建物、独立棟持柱をもつ大型掘立柱建物イメージ図	カラー×4 図×1	5	無料
P05-19	堺市立埋蔵文化財センター	H17. 9. 2	「王のムラ-下田遺跡の発掘調査成果から-」	下田：銅鐸/銅鐸埋納坑/環形付木製品出土状況/B区竪穴住居群全景/環形付木製品ら	カラー×4 データ×1	5	無料
P05-20	兵庫陶芸美術館	H17. 9. 13	兵庫陶芸美術館 デジタルインフォメーション情報検索	大庭寺：出土須恵器(川から出土した初期須恵器)	カラー×1	1	無料
P05-21	堺市教育委員会	H17. 9. 14	堺市小学校社会科副読本『わたしたちのまち 堺』	真福寺：IV調査区鍛造関連土坑群	カラー×1	1	無料
P05-22	有限会社コーベット・フォトエージェンシー	H17. 9. 14	中学歴史資料集『A4判中学歴史資料集』(仮称)	亀井：一木鋤	カラー×1	1	20,000
P05-23	文化庁文化財部記念物課	H17. 9. 15	『埋蔵文化財保存活用整備事業のしおり』	埋蔵文化財活用事業写真 発掘調査とシンポジウムの記録DVD作成/大阪府文化財センター公式ホームページ/デジタル版遺物台帳の画面	カラー×3	3	無料
P05-24	堺市立みはら歴史博物館	H17. 9. 22	「河内鑄物師-そのルーツと現在まで-」	太井：統一新羅印花文陶器/埴塙(トリベ)	カラー×2	2	無料
P05-25	池田市立歴史民俗資料館	H17. 9. 20	「第17回関西近世考古学研究会」発表用	ミノバ石切場跡：発掘調査スライド	スライド×61	61	無料
P05-26	株式会社 学習研究社	H17. 10. 11	『歴史群像』別冊 戦国の堅城II	大坂城跡：大坂城の障子堀/堀底の銃座状遺構	モノクロ×2	2	20,000
P05-27	地域文化情報誌『まんだ』	H17. 10. 17	『まんだ85号』	私部南：周辺の遺跡/8-2a面概念図/弥生時代前期の竪穴住居/弥生時代前期の竪穴住居の土器	モノクロ×4	4	無料

番号	貸出先	申請年月日	使用目的	資料名	内訳	点数	使用料
P05-28	「わたしたちの大和川」研究会	H17. 10. 31	『大和川付替と流域環境の変遷』	久宝寺:図版50上/図版50下/図版51上/PL144上、佐堂:図版29	カラー×5	5	無料
P05-29	泉佐野市教育委員会	H17. 11. 1	「国史跡日根荘遺跡案内パンフレット」	上町:区画IX・X地区上段全景/地鎮土坑、机場:屋敷跡/堀跡	モノクロ×4	4	無料
P05-30	泉佐野市教育委員会	H17. 11. 1	「日根荘遺跡の保存について-長福寺跡の発掘調査の成果-」	机場:遺構実測図、日根荘:遺構実測図	転載	1	転載
P05-31	有限責任中間法人日本考古学協会	H17. 11. 4	『日本考古学年報』57号	八尾南:竪穴住居遠景/住居の壁/梯子の出土状況/絵画土器	カラー×4	4	無料
P05-32	日本放送協会 番組制作局教育番組センター	H17. 11. 8	「その時歴史が動いた/壬申の乱(仮題)」	難波宮:1号木簡(秦人凡国評)	カラー×1	1	20,000
P05-33	吹田操車場遺跡・明和池遺跡の保存と活用を考える市民の会	H17. 11. 16	年金者組合主催「文化の集い」吹田市の埋蔵文化財パネル展示	片山荒池:遺構検出状況図面/調査地の断面/古墳時代遺構検出状況/古墳時代土坑遺物検出状況	カラー×6	6	無料
P05-34	第一法規株式会社	H17. 11. 21	『月刊 文化財』平成18年1月号	讃良郡条里:絵馬(神馬)	カラー×1	1	無料
P05-35	株式会社 青丹社	H17. 11. 29	『週刊ビジュアル日本の歴史 増補版』第109号	山賀:赤彩文土器	カラー×1	1	20,000
P05-36	株式会社 光文書院	H17. 11. 30	『社会科資料集』6年	亀井:臼	カラー×1	1	転載
P05-37	奈良文化財研究所	H17. 12. 22	『評制下荷札木簡集成』	佐堂:木簡「種田五十戸」、難波宮:1号木簡「秦人凡国評」/4号木簡「委何時尔ア粟」/8号木簡「嶋意弥荷口口八」/9号木簡「王母前」	モノクロ×5 赤外×5	10	無料
P05-38	株式会社 ベネッセコーポレーション	H17. 12. 22	模擬試験「進研模試」	亀井:一木鋤	モノクロ×1	1	10,000
P05-39	国立歴史民俗博物館	H18. 1. 6	「日本の神々と祭り一神社とは何か?」	美園古墳:家形埴輪全体/壁に描かれた盾(部分)	カラー×2	2	無料
P05-40	四条畷市立図書館	H18. 1. 12	『子ども向け四条畷市史』	讃良郡条里:人面墨書土器	カラー×1	1	転載
P05-41	株式会社 学習研究社	H18. 1. 19	新・歴史群像シリーズ(2)『真田幸村と大坂の陣』	大坂城跡:堀障子/堀底のトーチカ様の施設/埋め戻しの状況(土層断面)	カラー×3	3	転載
P05-42	財団法人 堺都市政策研究所	H18. 2. 1	「美原の誇り河内鑄物師」	真福寺:鑄造遺構群/銅鑄型(大)、太井:埴塙(トリベ)	モノクロ×3	3	転載
P05-43	太子町教育委員会	H18. 2. 7	企画展「石川流域の後・終末期群集墳とその周辺」	田須谷古墳群:1号墳全景(北から)/田須谷古墳群遠景(南から)/1号墳丘と石櫛(南から)/1号墳全景(南から)/1号墳石櫛完掘状況(北から)/赤彩石棺材(1号墳石櫛出土)/1号墳溝内出土土器	カラー×7	7	無料
P05-44	九州大学大学院工学研究院	H18. 2. 10	日本船舶海洋工学会誌『咸臨』「昔の日本の船事情」	久宝寺:準構造船出土状況	カラー×1	1	無料
P05-45	ニュートン・プレス	H18. 3. 7	ニュートンムック『知られざる伝説の世界』	巨摩・亀井:貨泉	カラー×1	1	無料
P05-46	株式会社 学習研究社	H18. 3. 1	「ニューワイドずかん百科 日本の歴史」	巨摩:杵/鋤/鍬	カラー×2 モノクロ×1	3	50,000
P05-47	株式会社 学習研究社	H18. 3. 14	「ニューワイドずかん百科 日本の歴史」	伏尾:土器炊飯具使用想定図/土器炊飯具、溝咋:土器炊飯具、巨摩:管玉、池上曾根:鳥形木製品	カラー×5	5	100,000
P05-48	八尾市文化財調査研究会	H18. 3. 6	久宝寺遺跡のリーフレット	久宝寺:準構造船の出土/縄文時代晩期から弥生時代前期の遺構群/高まり上に作られた竪穴住居(東から)/区画溝と墳墓群/1号墳(00-1調査区)の全景/1号墳の割竹形木棺	カラー×9	9	無料
P05-49	NPO法人 河内鑄物師顕彰会	H18. 3. 15	河内鑄物師顕彰会発行の冊子	太井:和同開珎/埴塙、日置荘:磬鑄型、真福寺:梵鏡鑄造遺構、余部:周辺遺跡地図	カラー×5	5	転載
P05-50	堺市博物館	H18. 3. 8	「広報さかい」4月号美原支所版	太井:多量の埴塙	モノクロ×1	1	転載
P05-51	八尾市立歴史民俗資料館	H18. 3. 16	常設展「大和川流域と高安山 その歴史と文化」	久宝寺:準構造船出土状況/準構造船の縮小復元模型	カラー×2	2	無料
P05-52	独立行政法人 東京文化財研究所		『独立行政法人東京文化財研究所年報』	難波宮:コト柱	モノクロ×1	1	無料
P05-53	東大阪市立池島小学校	H18. 3. 22	東大阪市植樹祭	池島・福万寺遺跡ってなあに(リーフレット)	モノクロ×8	8	転載
P05-54	地域文化情報誌『まんだ』	H18. 3. 24	「まんだ86号」	上私部:上私部遺跡の平面図/掘立柱建物の図/周辺の遺跡/上私部遺跡の平面図	モノクロ×4	4	転載
P05-55	株式会社 学習研究社	H18. 3. 27	「ニューワイドずかん百科 日本の歴史」	盛装した女子像	カラー×1	1	20,000
P05-56	藤井寺市教育委員会	H18. 3. 28	藤井寺市広報「古代からのメッセージ」・藤井寺市ホームページ	向出:石櫛出土状況	カラー×1	1	転載
					合計	263	270,000

### ③ 映画の貸し出し上映

下記のとおり、貸し出し上映を行った。

- (1) 7月5日(火) NPO法人 国際文化財調査研究所
  - ・河内平野を掘る
  - ・地下に埋もれた歴史を探る－大阪発掘物語－
  - ・河内平野における古墳の出現－久宝寺遺跡の発掘調査－
- (2) 7月27日(水) 北河内文化財愛護推進委員の会
  - ・河内馬飼いの里－讃良郡条里遺跡の発掘調査－
- (3) 8月27日(土) なみはや大学
  - ・河内馬飼いの里－讃良郡条里遺跡の発掘調査－
- (4) 9月10日(土) 和光高校
  - ・弥生時代の住まい－八尾南遺跡の発掘調査－
  - ・河内馬飼いの里－讃良郡条里遺跡の発掘調査－
- (5) 11月19日(土)～23日(木・祝) 「北河内発掘」展
  - ・河内馬飼いの里－讃良郡条里遺跡の発掘調査－
- (6) 12月10日(土) 郷土の文化財を見学する会 バスツアー
  - ・河内平野における古墳の出現－久宝寺遺跡の発掘調査－
  - ・弥生時代の住まい－八尾南遺跡の発掘調査－
  - ・発掘された船－久宝寺遺跡の発掘調査－

### (3) 図書の出版・販売

#### ① 図書の出版

平成17年度は、下記の図書を出版した。

- (1) 小阪合遺跡(その3)
- (2) 弓削ノ庄遺跡他
- (3) 福井遺跡
- (4) 伽羅橋遺跡Ⅲ
- (5) 上の山遺跡Ⅰ
- (6) 童子畑遺跡・童子畑北遺跡
- (7) 禁野本町遺跡
- (8) 讃良郡条里遺跡Ⅳ
- (9) 小路遺跡Ⅲ
- (10) 池島・福万寺遺跡発掘調査概要32
- (11) 池島・福万寺遺跡発掘調査概要33
- (12) 池島・福万寺遺跡発掘調査概要34
- (13) はざみ山遺跡
- (14) 太秦遺跡・太秦古墳群Ⅱ
- (15) 太秦遺跡・太秦古墳群Ⅲ

- (16) 大坂城跡Ⅲ
- (17) 平成17年度 文化財講座資料集『魏志倭人伝の世界』
- (18) 大阪府埋蔵文化財研究会『(第51回) 資料』
- (19) 大阪府埋蔵文化財研究会『(第52回) 資料』
- (20) 2005年度 (財)大阪府文化財センター・日本民家集落博物館共同研究発表会  
『住居に関する総合的研究(4)』
- (21) 2005年度 (財)大阪府文化財センター・近つ飛鳥博物館共同研究発表会  
『須恵器生産の成立と展開』
- (22) 2005年度 (財)大阪府文化財センター・弥生文化博物館共同研究発表会  
『弥生後期集落の景観的研究』
- (23) 財団法人大阪府文化財センター・日本民家集落博物館・大阪府立弥生文化博物館・大阪府立  
近つ飛鳥博物館 2004年度共同研究成果報告書
- (24) 財団法人大阪府文化財センター研究調査報告 第4集
- (25) 大阪文化財研究 第28号
- (26) 大阪文化財研究 第29号
- (27) 年報 平成16年度
- (28) 民家集落ふるさとだより 第26号
- (29) 民家集落ふるさとだより 第27号
- (30) O C C H No. 31
- (31) O C C H No. 32
- (32) O C C H No. 33
- (33) カルチュアはっとり No. 7 むかしの道具(発掘民具) 1. 農具
- (34) カルチュアはっとり No. 8 はたおりの歴史展-古代の織物生産を考える-
- (35) ここまでわかった考古学 太秦古墳群発掘調査成果  
-大阪の初期群集墳を考える-
- (36) ここまでわかった考古学 弥生ムラの風景-八尾南遺跡の最新成果-
- (37) 北河内発掘! -緑立つ道に歴史わきたつ-
- (38) 北河内発掘! -緑立つ道に歴史わきたつ-  
第二京阪道路内遺跡の発掘調査講演会 発表資料
- (39) 河内平野における古墳の出現-久宝寺遺跡と加美遺跡-要旨集
- (40) シンポジウム世界の文化遺産を語る-多様な文化の共生に向けて-
- (41) 古式土師器の年代学
- (42) 日本民家集落博物館(絵葉書)
- (43) 日本民家集落博物館(版画)
- (44) 陶邑・窯・須恵器(大阪府教育委員会刊の増刷)
- (45) 大阪府教育委員会年報9(大阪府教育委員会刊の増刷)
- (46) 大和川今池遺跡(大阪府教育委員会刊の増刷)
- (47) 中野北遺跡(大阪府教育委員会刊の増刷)

- (48) 赤山古墳群（大阪府教育委員会刊の増刷）
- (49) 大県郡条里遺跡確認調査（大阪府教育委員会刊の増刷）
- (50) 総持寺遺跡（大阪府教育委員会刊の増刷）
- (51) 萱振遺跡Ⅱ（大阪府教育委員会刊の増刷）
- (52) 葎屋北遺跡発掘調査概要Ⅲ（大阪府教育委員会刊の増刷）
- (53) 陶器千塚・陶器遺跡発掘調査概要Ⅱ（大阪府教育委員会刊の増刷）
- (54) 新堂遺跡（大阪府教育委員会刊の増刷）
- (55) 安威遺跡・安威城跡発掘調査概要（大阪府教育委員会刊の増刷）
- (56) 桑原遺跡発掘調査概要（大阪府教育委員会刊の増刷）

## ② 図書の販売

平成17年度は、次のとおり販売した。

販売総数 5,484冊                      販売金額 3,827,904円（税込）

## （４）出版物の寄贈・配付

研究機関、行政機関等に対して当センターの刊行図書を寄贈配布した。

## F. 広報事業

### （１）ニュースレター（OCCCH）の発行

平成17年度は下記のとおり刊行した。

- No. 31（平成17年7月29日）
- No. 32（平成17年11月30日）
- No. 33（平成18年3月31日）

### （２）年報の編集と発行

平成16年度の年報を発行し、関係団体に送付した。

## G. 文化財記録保存事業

### （１）映画の制作

3ヵ年計画で制作していた第二京阪道路関係遺跡の映画撮影をおこない、映画を完成させた。

#### 1. 『北河内発掘－第二京阪道路内遺跡の発掘調査－』（約11分）

平成17年度文化庁埋蔵文化財保存活用整備事業国庫補助金による事業として、3本の映画を撮影・制作した。

- 1. 『古墳時代の大規模集落－上私部遺跡－』（約13分）
- 2. 『讃良郡条里遺跡－埋もれた井戸の発掘－』（約15分）
- 3. 『羽曳野市庭鳥塚古墳－すがたを見せた前方後円墳－』（約14分）

## (2) その他

シンポジウム・講演会のビデオ撮影をおこない、DVDを制作した。

- |                                  |
|----------------------------------|
| 1. シンポジウム 河内平野における古墳の出現          |
| 2. 北河内発掘—第二京阪道路内遺跡の発掘調査展と講演会の記録— |

上記は平成17年度文化庁埋蔵文化財保存活用整備事業国庫補助金によるものである。

## H. 文化財調査支援事業

当センターが行う研究助成事業に基づく『財団法人大阪府文化財センター研究調査報告第4集』を編集、出版した。

## 5. 研修、研究会等

### A. 研修及び研究助成

#### (1) 調査部研修

平成17年度 調査部研修

	実施年月日	研修内容	講師等
1	平成17年6月1日(水)	百済考古学の最新情報 ～渡来系文物の研究のために～	韓神大学校国史学科教授 文学博士 権 五榮
2	平成17年7月20日(水)	健康管理研修 熱中症・腰痛対策	産業医 山崎 雄一郎
3	平成17年10月19日(水)	交通安全講習	大阪府泉北警察署 交通課 ニッセイ同和損害保険株式会社
4	平成17年11月2日(水)	埋蔵文化財情報化の必要性和構築方法 －韓国での事例を中心に－	忠清文化財研究院発掘調査部 チーム長・主任研究員 柳 基正
5	平成17年12月21日(水)	人権研修 セクシュアル・ハラスメントの防止 について	大阪府教育センター人権教育 研究室 橋本 光能
6	平成17年1月18日(水)	珪質岩40年	京都教育大学名誉教授 井本 伸廣
7	平成18年2月1日(水)	平成17年度調査成果報告(1)	調査担当者
8	平成18年3月1日(水)	平成17年度調査成果報告(2)	調査担当者
9	平成18年3月29日(水)	平成18年度事業について	調査部長 赤木 克視

## (2) 全国埋蔵文化財法人連絡協議会海外研修

「窯址（龍泉窯・建窯・越州窯）と河姆渡遺跡を訪ねて」と題された全国埋蔵文化財法人連絡協議会の中国研修が、平成17年12月6日から13日までの日程で実施された。この研修には北海道、山形、千葉、富山、大阪（2）の6法人、13名が参加し、当センターからは鳴澤、片山、廣瀬、伊藤の4名と、日本民家集落博物館の井藤、さらには前調査部長である大阪府文化財保護課の玉井が参加した。行程は、初日：杭州から温州へ移動。2日目：温州博物館、棋盤山石棚墓の見学。



漢城への移動途中で見学した現代の瓦工房

3日目：安仁口窯、安福窯、龍泉大窯、龍泉青瓷博物館の見学。4日目：大口窯址、大路后門山窯址、建陽市博物館の見学。5日目：漢城遺址、遇林亭窯址の見学。6日目：慈溪市博物館、上林湖越州窯遺址、河姆渡遺跡の見学。7日目：余姚博物館、大禹陵、紹興市博物館、印山越国王陵の見学。8日目：文化歴史保護区、越王台、越王殿の見学。であるが、これ以外にも、窯跡から窯址への移動途中には、嘗て窯からの製品の中継地として賑わった観前という村を散策したり、現代の瓦工房に立ち寄ったりと、恒例となった飛び入りの見学もいくつか加わり、考古学を学ぶ者にとっては非常に充実した内容の研修となった。

## (3) センター職員研究助成

### 平成17年度 研究助成一覧

No.	名 前	個・共	研 究 課 題
H17-1	秋山 浩三	個人	北河内における道教・陰陽道関連資料の研究
H17-2	井上 智博	個人	河内平野北東部における更新世後期以降の地形形成と人間活動
H17-3	岡本 茂史(代表) 正岡 大実	共同	弥生～古墳時代における建物遺構の構造研究
H17-4	三好 孝一(代表) 福佐美智子	共同	飛鳥時代における湖西窯須恵器の西方搬入
H17-5	森本 徹	個人	山陰地方における古墳の終焉

## B. 文化財研究事業

### (1) 大阪府埋蔵文化財研究会（第51回・第52回）の実施

#### ① 第51回大阪府埋蔵文化財研究会

テーマ：「弥生時代、古墳時代の発掘調査事例—集落跡の調査を中心に—」

日 時：平成17年9月17日（土）午前9時50分～午後5時00分

場 所：大阪府教育委員会 文化財調査事務所1階 講義室

主 催：(財)大阪府文化財センター

大阪府教育委員会

発表

八尾南遺跡の調査—弥生時代後期前半の遺構を中心に—

(財)大阪府文化財センター

正岡 大実

部屋北遺跡の調査

大阪府教育委員会

岩瀬 徹 氏

堺市下田遺跡の断絶と大地震

—弥生時代中期後半における断絶と百舌鳥古墳群の創生—

堺市教育委員会

森村 健一 氏

府中遺跡の調査

和泉市教育委員会

乾 哲也 氏

寺田遺跡の調査

大阪府教育委員会

杉本 清美 氏

垂水遺跡の調査

吹田市立博物館

西本 安秀 氏

上私部遺跡の調査

(財)大阪府文化財センター

鈴木 廣司

牧野車塚古墳第2次調査・小倉東遺跡第32次調査の成果—古墳時代を中心として—

(財)枚方市文化財研究会

西田 敏秀 氏

上の山遺跡の調査

(財)大阪府文化財センター

後藤 信義

参加者 65名

## ② 第52回大阪府埋蔵文化財研究会

テーマ：「中近世を中心とした遺跡調査の成果を語る」

日 時：平成18年3月11日(土) 午前9時50分～午後4時45分

場 所：大阪歴史博物館4階 講堂

主 催：(財)大阪府文化財センター

大阪府教育委員会

(財)大阪市文化財協会

後 援：大阪歴史博物館

記念講演

大坂と大坂城 (財)大阪市文化財協会理事長兼大阪歴史博物館館長

脇田 修 氏

ロザリオ描写の屏風と遺物

(財)大阪府文化財センター

井藤 暁子

発表

有池遺跡の発掘調査成果

(財)大阪府文化財センター

若林 幸子

豊臣期大坂城下における発掘調査の総合的研究 (財)大阪市文化財協会

松尾 信裕 氏

堺における近世墓地の発掘調査

堺市教育委員会

嶋谷 和彦 氏

広島藩蔵屋敷の調査成果

(財)大阪市文化財協会

宮本 康治 氏

巢本遺跡の調査—中世の遺構を中心に—

(財)大阪府文化財センター

辻 裕司

もうひとつの「戌」字

(財)大阪府文化財センター

福岡 澄男

参加者 79名

本事業は、平成17年度文化庁埋蔵文化財保存活用整備事業国庫補助金によるものである。

## (2) 「近畿ブロック埋文研修会」と「近畿ブロック埋文情報」

### ① 近畿ブロック埋文研修会

第11回を数える平成17年度の研修会は、平成17年10月7日（金）、財団法人元興寺文化財研究所が開催担当法人となり、全体テーマ「お墓の考古学」のもとに7本の研究発表が行われた。センターから48名が参加した。

## ② 近畿ブロック埋文情報

第36号～第38号が刊行された。

第36号 編集（財）枚方市文化財研究調査会

第37号 編集（財）東大阪市文化財協会

第38号 編集（財）八尾市文化財調査研究会

## （3）第16回考古学国際交流研究会

平成18年1月8日（日）から1月14日（土）の間、韓国へ3名の職員を派遣した。釜山・晋州・全州・光州・木浦・水原・ソウル等、大学、博物館、発掘調査現場を視察するとともに意見交換などの交流をおこなった。

## （4）弥生文化・近つ飛鳥・日本民家集落博物館との共同研究

センター部と博物館部各3館と共同研究をおこなった。また、一般向け発表会をおこない、資料集を刊行した。

センター部・日本民家集落博物館

「住居に関する総合的研究4」

一般向け発表会Ⅰ：2006年2月18日（土）13：30～16：00

弥生時代の群倉 (財)大阪府文化財センター 福岡 澄男

織機に関する歴史的研究 (財)大阪府文化財センター 黒須亜希子

一般向け発表会Ⅱ：2006年2月25日（土）13：30～16：00

椎葉神楽と椎葉型民家 椎葉民俗芸能博物館 黒木光太郎 氏

日本の動力水車について 神戸深江生活文化資料館 望月 浩 氏

センター部・大阪府立弥生文化博物館

「弥生後期集落の景観的研究」

シンポジウム：2006年3月12日（日）13：00～16：00

発表

登呂遺跡周辺の集落景観 静岡市役所 岡村 渉 氏

越の弥生時代集落 (財)富山県文化振興財団 岡本淳一郎 氏

集落跡から見えるもの—八尾南遺跡を中心として— (財)大阪府文化財センター 岡本 茂史

紀伊と弥生後期の集落 (財)大阪府文化財センター 土井 孝之

妻木晩田遺跡の集落景観 鳥取大学 高田 健一 氏

討 論 (司会 大阪府立弥生文化博物館学芸課長 小山田宏一)

岡村 渉、岡本淳一郎、岡本茂史、土井孝之、高田健一

研究会：

- 2005.12.2 (金) 発表 集落跡から見えるもの—河内湖南岸域の弥生後期集落—  
 (財)大阪府文化財センター 岡本 茂史  
 集落構造の特質からみた景観復元の試み—紀伊から和泉・大和にかけて—  
 (財)大阪府文化財センター 土井 孝之
- 2006.1.27 (金) 発表 駿河湾沿岸域における弥生時代後期の集落景観 静岡市役所 岡村 渉 氏  
 越の弥生時代集落  
 一下老子笹川遺跡を中心に— (財)富山県文化振興財団 岡本淳一郎 氏
- 2006.2.10 (金) 発表 山陰における弥生時代集落と景観の変遷—妻木晩田遺跡における  
 集落景観復元の基礎作業を通じて— 鳥取大学 高田 健一 氏

センター部・大阪府立近つ飛鳥博物館 「須恵器生産の成立と展開」

シンポジウム：2006年2月26日（日）13：00～16：00

基調報告

- 陶邑の成立 (財)大阪府文化財センター 岡戸 哲紀  
 長原遺跡出土の初期須恵器の検討 (財)大阪市文化財協会 田中 清美 氏  
 400年前後の朝鮮半島と倭国 滋賀県立大学 田中 俊明 氏  
 討 論 (コーディネーター 大阪府立近つ飛鳥博物館長 白石太一郎)  
 田中俊明、田中清美、木下 亘、岡戸哲紀

研究会

- 2005.10.21 (金) 発表 陶邑窯跡群と窯跡の分布について 大阪府立近つ飛鳥博物館 宮崎 泰史  
 陶邑の成立 (財)大阪府文化財センター 岡戸 哲紀
- 2005.11.22 (火) 発表 陶邑窯跡群6世紀の須恵器生産について 和泉市教育委員会 白石 耕治 氏  
 高句麗進出以降の金官国 滋賀県立大学 田中 俊明 氏
- 2005.12.9 (金) 発表 韓半島出土の須恵器及び須恵器系土器について  
 奈良県立橿原考古学研究所附属博物館 木下 亘 氏  
 円筒埴輪編年からみた須恵器の年代観 大阪府立近つ飛鳥博物館 小浜 成
- 2006.1.19 (木) 発表 長原遺跡出土の初期須恵器の検討 (財)大阪市文化財協会 田中 清美 氏  
 7・8世紀陶邑編年の再構築と都城出土資料の様相  
 大阪歴史博物館 佐藤 隆氏

## 6. 当センターを訪れた海外の研究者等

- 平成17年5月27日：趙現鐘 氏 (韓国中央博物館考古部長)  
 7月5日：安在皓 氏 (韓国東国大 学校)  
 8月10日：柳基正 氏 (韓国忠清文化財研究院)  
 8月20日：趙榮濟 氏 (韓国慶尚大 学校)  
 8月22日：中国山東大学と煙台市博物館の研究者5人
- 平成18年2月8日：金斗喆 氏 (釜山大 学校)  
 2月8日：権五榮 氏 (釜山大 学校)、金洛中氏 (文化財研究所)  
 2月20日～23日：全玉年氏 (釜山大 学校博物館)

## Ⅲ 大阪府立弥生文化博物館事業

### 1. 展示事業について

#### (1) 常設展示

- ① 第1展示室「目で見る弥生文化」は、タイムトンネルと実物大の竪穴住居からなる導入ゾーン、「米づくりの始まり」、「新しい技術の誕生」、「ムラ・戦い・クニ」、「交流」、「死とまつり」、「弥生人」の6つのテーマゾーン、全国各地の弥生文化を紹介する弥生プラザの3つのゾーンで、弥生文化をビジュアルに展示。

弥生プラザに最新情報コーナーを設置、1年周期で最新の弥生文化情報を速報的に展示する。昨年度から奈良県唐古鍵遺跡の絵画土器や青銅器生産用具などを展示。

- ② 第2展示室「池上曾根ワールド」という名称で、池上曾根遺跡専門の展示。

#### (2) 特別展・企画展

- ① 春季特別展「東海の弥生フロンティア」 《入館者数 13,947人》

ア 開催概要 北部九州に伝わった弥生文化が、濃尾平野から南関東へと広がる様子を、前期から後期にかけて紹介します。

イ 開催期間 平成17年4月26日（火）～6月26日（日）

ウ 場 所 特別展示室

エ 入 館 料

区 分	個 人	団 体
一 般	600円	480円
65歳以上及び 高校・大学生	400円	320円

- ② 秋季特別展「北陸の玉と鉄—弥生王権の光と影—」 《入館者数 5,786人》

ア 開催概要 弥生時代後期末から終末期にかけて、権威の象徴であった鉄製が王墓などに多量に副葬されている北陸と弥生王権のゆくえを探ります。

イ 開催期間 平成17年10月4日（火）～12月4日（日）

ウ 場 所 特別展示室

エ 入 館 料

区 分	個 人	団 体
一 般	600円	480円
65歳以上及び 高校・大学生	400円	320円

③ 夏季企画展示「熊谷 守一の世界—水墨画・書—」 《入館者数 4,514人》

ア 開催概要 日本の近代美術史に大きな足跡を残した画家・熊谷守一。彼の残した水墨画と書を中心に紹介します。

イ 開催期間 平成17年7月26日（火）～9月4日（日）

ウ 場 所 特別展示室

エ 入 館 料

区 分	個 人	団 体
一 般	300円	240円
65歳以上及び 高校・大学生	200円	160円

④ 冬季企画展・財団法人大阪府文化財センター小テーマ展示

「シリーズ ここまでわかった考古学 弥生ムラの風景—八尾南遺跡の最新成果—」 《入館者数 2,480人》

ア 開催概要 八尾南遺跡での最新の調査成果を中心に、大阪湾沿岸の弥生時代後期の集落遺跡をいくつか取り上げ、集落の景観を覗きます。

イ 開催期間 平成18年2月18日（土）～3月21日（火・祝）

ウ 場 所 特別展示室

エ 入 館 料

区 分	個 人	団 体
一 般	300円	240円
65歳以上及び 高校・大学生	200円	160円

## 2. 講演会事業等

### (1) 考古学セミナー等

#### ① 春季特別展

区 分	日 程	テ ー マ	講 師	参加者数
第1回	5月8日（日）	新しい登呂遺跡のすがた —ひとりぼっちでなかった登呂の むら—	中野 宥 (静岡市市民局文化ス ポーツ部文化財課)	175人
第2回	5月22日（日）	東日本弥生人の心をえがく —弥生時代のはじまるころ—	設楽 博己 (駒澤大学文学部助教 授)	150人
第3回	6月5日（日）	東海と関東 —人・物・情報の動き—	安藤 広道 (慶應義塾大学文学部 助教授)	177人

区 分	日 程	テーマ	講 師	参加者数
第4回	6月19日(日)	東海地方の銅鐸に倭国の政治を見る	水野 正好 ((財)大阪府文化財センター理事長)	219人
第5回	6月26日(日)	狗奴国の幻影を求めて	赤塚 次郎 (愛知県埋蔵文化財センター)	291人

② 秋季特別展

区 分	日 程	テーマ	講 師	参加者数
第1回	10月9日(日)	古代のコシ地域と東北アジア	小嶋 芳孝 (金沢学院大学美術文化部教授)	168人
第2回	10月23日(日)	邪馬台国時代の鉄 —北部九州と東方世界—	松井 和幸 (北九州市立自然史・歴史博物館歴史課主査)	161人
第3回	11月6日(日)	古代中国の都市と鉄器生産 —東アジアへの技術移転の解明に向けて—	佐原 康夫 (奈良女子大学文学部教授)	121人
第4回	11月13日(日)	腕輪形石製品の誕生と倭王権	北條 芳隆 (東海大学文学部助教授)	129人
第5回	11月27日(日)	王権の形成と鉄器	野島 永 (広島大学文学部助教授)	223人

③ 夏季企画展示

区 分	日 程	テーマ	講 師	参加者数
第1回	8月3日(日)	対談「熊谷守一の書画」	小灘 一紀 洋画家	179人
第2回	8月28日(日)	講演「熊谷守一の書画」	真鍋 井蛙 熊谷守一水墨淡彩画 鑑定登録会指定諮問 委員・大阪府立三国 丘高等学校教諭	121人

④ 冬季企画展

区 分	日 程	テ ー マ	講 師	参加者数
第1回	3月5日(日)	土器に描かれた絵	正岡 大実 (財)大阪府文化財センター	108人
第2回	3月12日(日)	弥生後期集落の景観	高田 健一 鳥取大学地域学部 地域環境学科講師 岡村 渉 静岡市市民局文化 スポーツ部文化財 課主査 岡本 淳一郎 (財)富山県文化振 興財団埋蔵文化財 調査事務所主任 土井 孝之 (財)大阪府文化財 センター主査 岡本 茂史 (財)大阪府文化財 センター係長 小山田 宏一 本館学芸課長 コーディネーター	170人

⑤ 学芸員による考古学講座・解説

特別展・企画展開催期間中の日・祝日に、特別展示室において展示解説を行った。

### 3. 普及事業

#### (1) ワークショップ(参加体験型事業)

- ・出前土器パズル教室 9月24日(日)
- ・「峰好会社中」による茶会 9月25日(日)参加者152人

#### (2) やよいミュージアムコンサート

出演者を公募により選定し、ロビーを活用したミュージアムコンサートを実施した。選考は、ミュージアムコンサート運営委員会が行っている。

運営委員：安井 柁雄(ヴァイオリン) 稲本 直(コンサート企画)  
太田 善照(社会教育) 田中 寛治(社会教育) 他

区 分	日 程	内 容	演 奏 者	参加者数
第1回	6月18日(日)	爽やかな楽しき初夏の風にのって 山下 良子ピアノコンサート	山下 良子	130人
第2回	7月3日(日)	七夕☆コンサート	テイスト弦楽四重奏 団	96人
第3回	9月25日(日)	ふるさとコンサート ・・・小栗街道のお話・・・	尺八： 石橋 磊山 箏：南 恵以子と 菊津会	152人
第4回	12月18日(日)	クリスマスコンサート ～音の玉手箱 きらめくクリスマス～	ピアノ： 竿下 和美 フルート： 坪井 由紀	76人
第5回	2月12日(日)	バレンタインコンサート	鳳フルート アンサンブル 二十一人一座	96人

### (3) 博物館ミニギャラリー

「開かれた博物館」事業として、ロビーを開放し、写真・絵画などの公募展示を行っている。期間は、原則2週間。費用は無料。

- ・『「銅鐸」を描く～西田 正義 弥生シリーズより～』  
6月28日(火)～7月10日(日)
- ・第11回絵画コンテスト「卑弥呼の時代を描こう」優秀作品展  
7月31日(火)～9月4日(日)
- ・だんじり墨絵 つわもの達の心意気  
9月6日(火)～19日(日)
- ・心の仏さま展～仏画グラフィティ～出展：浅井 将皓、浅井 香舟  
12月6日(火)～17日(日)
- ・時の重なり 出展：畑 糸り子 1月17日(火)～29日(日)
- ・ファンタジー劇場 出展：東野 穂積  
1月31日(火)～2月11日(日)

#### (4) 博物館絵画コンテスト

- ・テーマ 卑弥呼の時代を描こう
- ・応募期間 6月1日(水)～7月8日(金)
- ・応募点数 539点
- ・審査員 小灘 一紀(画家・日展審査員)  
上田 正克(元泉大津市浜小学校校長)
- ・表彰式 8月21日(日)  
金賞(小学生の部)  
「卑弥呼の儀式」林 安里  
(和泉市立鶴山台北小学校6年)  
金賞(中学校の部)  
「卑弥呼の願い」中塚 亜季  
(堺市立鳳中学校2年)
- ・優秀作品は、弥生文化博物館ロビーに展示。引き続き大阪府立中央図書館において展示した。

## 4. 学校との教育連携

### (1) 博物館実習

7月26日(火)から30日(土)までの5日間、14の大学から25名の実習生を受け入れ、学芸員の実務について指導した。(大学名:大阪、大阪教育、大阪女子、大阪府立、京都女子、京都府立、京都文教、近畿、神戸女子、摂南、帝塚山学院、奈良、羽衣国際、立命館)

### (2) 大学生のインターンシップ

8月23日(火)から9月2日(金)まで、大阪成蹊大学、大阪府立大学、神戸大学から各1名を受け入れた。

### (3) 高校生のインターンシップ

8月に3日間の日程で、3校から7名の高校生を受け入れた。

### (4) 小・中学生の職場体験学習

4校から6名の中学生を受け入れた。受付や学校団体への対応、体験学習の準備、発送作業などの業務を体験する機会を提供した。

### (5) 出前授業

1校の小学校から依頼を受け、専門員が出向いて授業を行った。

## 5. ボランティア活動

活動内容は、常設展の展示解説（原則として、土・日・祝日に常駐。平日は、予約団体が対象。）点訳、英語の通訳や翻訳、書道など、各自の特技を生かした活動、ワークショップの準備、各種イベントでの受付、障害者の支援、さらに広報普及活動の補助など、多方面に渡っている。《登録者数：54人》

## 6. 広報事業

### (1) インターネットホームページ

ホームページによる情報提供を行い、博物館や文化財関連機関、地域団体などとの相互リンクを進めている。平成17年度のアクセス件数は、197,568件

### (2) 特別展図録

特別展図録を作成し、展示をより興味をもって理解してもらうため、下記の出版物を発行した。  
(各1,800部)

- 春季特別展図録31『東海の弥生フロンティア』（平成17年4月発行）
- 秋季特別展図録32『北陸の玉と鉄～弥生王権の光と影』（平成17年10月発行）

### (3) 弥生倶楽部・要覧

館機関紙「弥生倶楽部」及び昨年度事業報告「要覧」を下記のとおり発行した。

- 弥生倶楽部 10月及び3月に各1,500部発行
- 要覧 5月に1,000部発行
- 資料集「2005年度（財）大阪府文化財センター・弥生文化博物館共同研究発表会 弥生後期集落の景観的研究」

### (4) マスコミ・ミニコミ紙への情報提供等

特別展や博物館の各種事業の実施にあたっては、府庁記者クラブ、堺記者クラブ等の報道機関に情報提供を行うとともに、ミュージアムカレンダー（3ヶ月分）やチラシ等を入館者等に提供している。また、ミニコミ紙や情報誌の編集部にも同様の資料を提供し、紙面への掲載を依頼している。

## 7. 研究事業

「弥生後期集落の景観的研究」というテーマで、12月2日（金）、1月27日（金）、2月10日（金）の3回実施した。

館外の共同研究員は以下のとおり。

- 高田 健一（鳥取大学地域学部地域環境学科）
- 岡村 渉（静岡市市民局文化スポーツ部文化財課）
- 岡本 淳一郎（（財）富山県文化振興財団埋蔵文化財調査事務所）

土井 孝之 ((財)大阪府文化財センター)

岡本 茂史 ((財)大阪府文化財センター)

## 8. 資料調査収集事業

### (1) 図書購入

特別展・企画展の準備ならびに学術研究のため、考古学関係の雑誌、資料集ほか238冊を購入した。

## 9. 入館者及び入館料一覧表

区 分	入 館 者 数			入 館 料	備 考
	有 料	無 料	合 計		
常 設 展	3,773	7,884	11,657	898,820	132日間
割合%	34.6	28.7	30.4		
春季特別展	2,656	11,291	13,947	1,104,740	54日間
割合%	24.3	41.1	36.3		
秋季特別展	1,690	4,096	5,786	712,200	54日間
割合%	15.5	14.9	15.1		
夏季企画展示	2,003	2,511	4,514	534,240	36日間
割合%	18.4	9.1	11.7		
冬季企画展	788	1,692	2,480	251,520	27日間
割合%	7.2	6.2	6.5		
合 計	10,910	27,474	38,384	3,501,520	303日間
割合%	100.0	100.0	100.0		
平成16年度実績			43,952	4,446,920	303日間
平成15年度実績			44,710	5,061,380	303日間

・秋季特別展の無料欄には、関西文化の日（11月19日、20日）の入館者（一般230人、高大生14人、65歳以上21人）を含む。

## IV 近つ飛鳥博物館事業報告

### 1. 展示事業について

#### (1) 常設展示

##### ① 第1ゾーン：「近つ飛鳥と国際交流」

日本古代律令国家成立への道筋と、その中で近つ飛鳥の地域が果たした役割を、5～6世紀「倭の五王と渡来文化」、7世紀前半「聖徳太子の時代」、7世紀後半「仏教文化の開花」、8世紀「文字の時代」の四つのサブテーマにより展示

② 第2ゾーン：「古代国家の源流」

古代律令国家の移行段階としての古墳時代の文化を、「竪穴式石室の世界」「王と民衆」「横穴式石室の世界」「古墳造営のムラ」「大古墳の造営」の五つのサブテーマで展示

③ 第3ゾーン：「現代科学と文化遺産」

現在、様々な科学技術が多くの文化財の保存や調査・分析に応用され、大きな成果を挙げている。このことについて、保存処理を終えた修羅を中心に、幾つかの例を取り上げ、その方法や成果を紹介展示

入館料

区 分	個 人	団 体
一 般	300円	240円
高・大生	200円	160円

## (2) 特別展・企画展等

④ 春季特別展：「遙かなり音の道 - 日本音楽の源流を探る -」

ア 開催概要 古墳時代～古代の日本には、中国大陸や朝鮮半島諸国から様々な音楽・楽器・舞が渡来しており、もともとあった音楽に大きな影響を与えたと考えられる。何が失われ、何が残されたか。正倉院に伝わる古代楽器、遺跡から出土したコトなど、音に関連する資料を通じて日本音楽の源流を探った。

イ 開催期間 平成17年4月23日（土）～6月19日（日）の50日間

ウ 場 所 特別展示室

エ 入館料

区 分	個 人	団 体
一 般	600円	480円
高・大生	400円	320円

オ 歴史セミナーの実施

日 程		講 師 ・ 演 題	参加者数
第1回	5月15日（日）	大阪府文化財センター理事長 水野 正好 「日本古代音楽と演奏環境」	129人
第2回	5月29日（日）	国立歴史民俗博物館 名誉教授 小島 美子 「日本音楽の古層とその後の系譜」	84人

カ 特別コンサートの実施

日 程		講 師 ・ 演 題	参加者数
第1回	5月1日（日）	楽中連、東住吉高校芸能学科 「古代の楽・舞」(箏曲と雅楽)	244人
第2回	6月5日（日）	加藤 敬徳 「琵琶語りの世界」	217人

キ 入館者数 総入館者 20,471人（内展示室入館者 7,807人）

なお本展は、日本芸術文化振興基金からの助成を受けた。

② 夏季企画陳列：「須田剋太が描いた－司馬遼太郎『街道をゆく』」

ア 開催概要 司馬遼太郎が「週刊朝日」に連載した『街道をゆく』の挿絵を描いた作家で、各街道への旅を司馬と同行し、また文章の中で様々なエピソードとともに登場する須田剋太。大阪府が所蔵するその挿絵原画のうち、近つ飛鳥を中心に近畿一帯のものを選んで展示した。大阪府立現代美術センターとの共催事業。

イ 開催期間 平成17年7月26日（火）～8月28日（日）の30日間

ウ 場 所 特別展示室

エ 入 館 料 常設展と同額

オ 歴史セミナー

日 程	講 師	参加者数
8月7日（日）	府立現代美術センター主任研究員 中塚 宏行 「須田剋太が描いた“街道をゆく”」	65人
8月14日（日）	元国際日本文化研究センター所長 山折 哲雄 「司馬遼太郎と日本の原風景」	125人

カ 入館者数 総入館者 7,525人（内展示室入館者 3,361人）

③ スポット展示：「南河内の文化財シリーズ3 －富田林市－」

ア 開催概要 シリーズで地元市町村の文化財を紹介していく第3回目として富田林市内から出土した古墳時代の資料や、その他文化財の写真パネルなどを展示した。富田林市教育委員会との共催事業。

イ 開催期間 平成17年9月6日（火）～9月25日（日）の18日間

ウ 場 所 特別展示室

エ 入 館 料 常設展と同額

オ 入館者数 総入館者 3,957人（内展示室入館者 1,462人）

④ 秋季特別展：「王権と埴輪 －埴輪群像の世界－」

ア 開催概要 古墳から出土するものには、副葬品だけでなく、埴頂や造りだし、埴などに配列された様々な埴輪があり、まとまった群像として樹立されている。今回の展示では全国各地の良好な埴輪群像資料を集め、埴輪の「まつり」の場の変遷やその実態について再考する展示をおこなった。

イ 開催期間 平成17年10月8日（土）～12月11日（日）の56日間

ウ 場 所 特別展示室

エ 入 館 料

区 分	個 人	団 体
一 般	600円	480円
高・大生	400円	320円

オ 歴史セミナーの実施

区 分	日 程	講 師 ・ 演 題	参加者数
第 1 回	10月 9 日 (日)	高槻市埋蔵文化財センター長 森田 克行 「新・埴輪芸能論」	120人
第 2 回	10月23日 (日)	早稲田大学シルクロード研究所 車崎 正彦 「東国の埴輪のまつり－模倣と受容」	155人
第 3 回	11月 6 日 (日)	京都教育大学 教授 和田 萃 「古代史像からみた埴輪群像・再考」	164人
第 4 回	11月27日 (日)	奈良文化財研究所 主任研究官 高橋 克壽 「王権と埴輪生産」	164人

日 程	講 師 ・ 演 題	参加者数
11月13日 (日)	第 1 部 講演「最新の埴輪群像の調査」 新富町教育委員会 有馬 義人 「百足東古墳」 高槻市教育委員会 宮崎 康雄 「今城塚古墳」 和歌山県教育庁 藤井 幸司 「大日山35号墳」 群馬県教育委員会 若狭 徹 「保渡田八幡塚古墳」 第 2 部 討論会 コーディネーター 近つ飛鳥博物館 館長 白石 太一郎 同 学芸員 小浜 成	220人

カ ミニシンポジウムの実施

キ 入館者数 総入館者 19,701人 (内展示室入館者 8,989人)

⑤ 冬季企画展：「年代のものさし - 陶邑の須恵器 -」

ア 開催概要 陶邑出土の須恵器は古くから編年研究が進み、全国の古墳の“年代のものさし”として使われるなど、日本考古学史上重要な役割を果たしてきた。このため、平成16年度末に重要文化財指定が決まっている。本展ではこれを記念して、陶邑の須恵器を系統的にみられるように展示し、あわせて須恵器作りを伝えた渡来人に関連する資料も展示した。

イ 開催期間 平成18年1月28日（土）～3月5日（日）の32日間

ウ 場 所 特別展示室

エ 入 館 料

区 分	個 人	団 体
一 般	400円	320円
高・大生	300円	240円

オ 歴史セミナー

日 程		講 師 ・ 演 題	参加者数
第1回	1月29日（日）	韓国・東新大学教授 李 正縞 奈良県立橿原考古学研究所 木下 亘 「韓国の窯・日本の窯」	101人
第2回	2月11日（土）	大谷女子大学教授 中村 浩 「和泉陶邑について」	130人

カ 入館者数 総入館者 8,357人（内展示室入館者 3,024人）

⑥ 小テーマ展示：『ここまでわかった考古学』

「太秦古墳群発掘調査成果-大阪の初期群集墳を考える-」

ア 開催概要 （財）大阪府文化財センターが実施している発掘調査の最新成果を紹介するシリーズのひとつとして、太秦古墳群の調査成果の公開と、これに関連して大阪における5世紀代の群集墳の特徴を探る展示とした。（財）大阪府文化財センター普及・調査部との共催事業。

イ 開催期間 平成18年3月12日（日）～3月26日（日）の13日間

ウ 場 所 特別展示室

エ 入 館 料 常設展と同額

オ 調査成果報告会

日 程	講 師 ・ 演 題	参加者数
3月19日（日）	第1部 調査成果報告 大阪府文化財センター 市本 芳三 「太秦古墳群」 本館 学芸員 小浜 成 「総持寺古墳群」 大阪府文化財センター 三宮 昌弘 「郡戸古墳群」 大阪府文化財センター 大庭 重信 「長原古墳群」 第2部 ミニシンポジウム 司会 大阪府文化財センター 森本 徹 コメンテーター 本館館長 白石 太一郎	129人

カ 入館者数 総入館者 3,741人 （内展示室入館者 1,042人）

## 2. 資料調査・研究事業について

### （1）企画・特別展開催に伴う資料調査

各展覧会の設定・具体化・解説図録作成に向けて、それぞれのテーマに沿った資料調査・研究を行った。その成果は各図録に掲載している。

### （2）館蔵資料の調査

本館所蔵資料などの整理および、公開にむけた資料調査を行い、その結果を館報に掲載した。本年は、中国製の帯金具、神獣鏡、および一須賀古墳群資料の再整理を行った。

### （3）大阪府文化財センター普及・調査部との共同研究

毎年、本館学芸とセンターの普及・調査部、さらに外部の研究者を交えつつ、共同研究を行っており、17年度は冬季企画展のテーマに沿って下記のとおり研究会を開催した。

（場 所：本館2F会議室）

日 程		発 表 者 ・ 主 題
第1回	10月21日（金）	近つ飛鳥博物館 宮崎 泰史 「陶邑窯跡群と窯跡の分布について」 大阪府文化財センター 岡戸 哲紀 「陶邑の成立」
第2回	11月22日（火）	和泉市教育委員会 白石 耕治 「陶邑窯跡群6世紀の須恵器生産について」 滋賀県立大学 田中 俊明 「高句麗進出以降の金官国」

日 程		発 表 者 ・ 主 題
第 3 回	12月 9 日 (金)	奈良県立橿原考古学研究所 木下 亘 「韓半島出土の須恵器及び須恵器系土器」 近つ飛鳥博物館 小浜 成 「円筒埴輪編年からみた須恵器の年代観」
第 4 回	1 月19日 (木)	大阪市文化財協会 田中 清美 「長原遺跡出土の初期須恵器の検討」 大阪歴史博物館 佐藤 隆 「7・8 世紀陶器編年の再構築と都城出土資料」

#### (4) 学術指導

委嘱した学術指導員が適宜来館し、調査研究展示活動の指導にあたった。

### 3. 普及啓発事業について

#### (1) 金剛葛城地域博物館ネットワーク協議会 第3回シンポジウム

平成15年以来、金剛・葛城山を取り巻く博物館群（現在、奈良側4館、大阪側3館）がネットワークを構成し、2ヶ月に一回の連絡会議を開くほか、毎年1回のシンポジウムを開催している。17年度は、近つ飛鳥博物館にて行った。

(場 所：本館2F会議室)

日 程	講 師 ・ 演 題	参加者数
6 月19日 (日)	『二上山をめぐる終末期古墳』 第1部 講演・報告 大阪府教育委員会 榎本 哲 「河南町平石古墳群の提起する問題」 羽曳野市教育委員会 河内 一浩 「羽曳野市小口山古墳の調査」 香芝市二上山博物館 下大迫 幹洋 「香芝市平野古墳群の提起する問題」 大阪府文化財センター 山本 彰 「南河内の横口式石槨をもつ古墳」 第2部 シンポジウム 司会 大阪府文化財センター 森本 徹 コメンテーター 本館館長 白石 太郎	213人

## (2) 「関西文化の日」記念講演会

祝日「文化の日」を中心に、関西圏の各博物館・美術館が入館料を免除または割引する日を設定しており、17年度、本館は11/19（土）、20（日）とした。この日を記念し、また当日行われていた特別展の解説を兼ねて、館長による講演会を行った。

(場 所：本館 2 F 会議室)

日 程	講 師 ・ 演 題	参加者数
11月20日（日）	本館館長 白石 太一郎 「人物埴輪群像は何を語るのか」	132人

## (3) 大阪府文化財センター・近つ飛鳥博物館共同研究発表会

テーマ『須恵器生産の成立と展開』

センターの普及・調査部と本館との共済で行った共同研究の成果の一部を、来館者に広く公開した。

(場 所：本館 2 F 会議室)

日 程	講 師 ・ 演 題	参加者数
2月26日（日）	第1部 大阪府文化財センター 岡戸 哲紀 「陶邑の成立」 大阪市文化財協会 田中 清美 「長原遺跡出土の初期須恵器の検討」 滋賀県立大学 田中 俊明 「400年前後の朝鮮半島と倭国」 第2部 討論会 コーディネーター 館長 白石 太一郎	68人

## (4) カルチャー of アスカディア

特別展等期間中などに、現地見学会を学芸員により実施した。

### ① 春季特別展関連現地見学会「今城塚を歩く」

11月23日（水・祝） 高槻市今城塚・ハニワ工場公園にて実施

参加者数 38人

### ② 現地見学会「古市古墳群を歩く」

3月12日（日） 藤井寺～羽曳野市にて実施

参加者数 30人

## (5) 一須賀古墳群講座

一須賀古墳群を教材に後期群集墳の構成、横穴式石室の構造・築造方法等々を、実際に古墳を見ながら学習する講座を開催した。

- ・日 時 2月19日(日) 「風土記の丘の古墳群を歩く」
- ・講 師 当館学芸員
- ・参加者数 15人

#### (6) 古墳時代まつり「春の風土記の丘であそぼう」

風土記の丘でウォークラリー・古代衣裳体験・まが玉工作教室・森の工作教室等を実施した。

- ・日 時 5月5日(木・祝)
- ・参加者数 353人

#### (7) 夏休み子供工作室

夏休み期間中に、親子でも楽しめるペーパークラフト等の工作教室的なワークショップを実施した。

- ・日 時 8月20日(土)～21日(日)
- ・参加者数 156人

#### (8) 夏休みこども博物館探検ツアー

小中学生を対象に、博物館に対してより親しみが持てるよう、博物館のしくみを聞いたり、収蔵庫などの博物館のバックヤードを観察する見学会を実施した。

- ・日 時 7月24日(日)、31日(日)、8月7日(日)、28日(日)
- ・参加者数 42人

#### (9) 古墳の森コンサート

博物館の特色を生かし、博物館の屋上階段広場を活用して音楽のコンサートを開催した。

日 程	タ イ ト ル ・ 演 奏 者	参加者数
4月29日 (金・祝)	「奏・so・爽2005」 大阪府立金剛高等学校 軽音楽部 大阪府立長野高等学校 軽音楽部 大阪府立藤井寺高等学校 フォークソング部	210人

#### (10) 土曜プログラム

学校週5日制が完全実施された平成14年度から、小中学生とその保護者を対象に、実施している。

- 「こども博物館プチ探検ツアー」 参加者数 20人
- 「こども古墳探検ツアー」 参加者数 13人
- 「こども玉づくり工房」 参加者数 82人
- 「なにわ人に変身！」 参加者数 33人

#### (11) 校外学習ワークショップ

小学校の校外学習に合わせて、工作教室的なワークショップおよび修羅引き体験を実施した。

- ・対 象 校 18校 1,205人

## (12) アウトリーチ活動

小学校に学芸員が出向き、ワークショップを通じて博物館活動の理解などに努めた。

・対象校 6校 343人

## (13) 中学生・高校生の職業体験（インターンシップ）受け入れ

卒業前の学生を受け入れ、博物館の実務実習を実施した。

・参加者数 中学校 4校 11人  
          高等学校 4校 18人

## (14) 博物館実習

大学からの依頼に基づき、学芸員課程履修学生を受け入れ、実施した。

期 間 7月20日（水）～24日（日）の5日間

受入れ校 大阪大学・帝塚山学院大学・武庫川女子大学・京都府立大学  
          東海大学・東亜大学・阪南大学・滋賀県立大学

実習生 19人

# 4. 広報出版事業について

## (1) 広報事業

### ① 常設展リーフレット

常設展示の概要紹介と博物館利用案内を作成・配布した。

（日本語－大人用・子供用、英語、ハングル）

### ② 特別展・企画展ポスター・チラシ・リーフレット

特別展企画展ごとにポスター・チラシ・リーフレットを作成・配布した。

### ③ 児童生徒用博物館案内1

常設展示の概要と博物館の利用方法を判り易く解説するリーフレットを作成した。

### ④ 児童生徒用博物館案内2（探検ノート）

博物館内での児童生徒用の学習意欲を促進し、展示に対する興味を喚起するための印刷物を作成した。

### ⑤ 学校利用の手引き

学校団体で来館・利用する場合の手引きを作成した。

### ⑥ 近つ飛鳥風土記の丘マップ

博物館に隣接する史跡公園－風土記の丘の散策・見学スポットを案内する地図を作成した。

⑦ 近つ飛鳥インフォメーション（カレンダー）

府民及び各種団体に博物館行事の周知を図り、来館を促すため、半期毎の催し物についてチラシを作成・配布した。

⑧ 近つ飛鳥文化財イラストマップ

野外性をもった博物館としての特性をPRするため、風土記の丘をはじめする博物館周辺の主要な文化財を紹介するマップを作成した。

⑨ 機関紙（博物館だより）「アスカディア・古墳の森」

博物館活動の報告、タイムリーな話題や新収蔵品の紹介等を掲載し、博物館と府民のコミュニケーションを図る博物館のPR雑誌を作成・配布した。

⑩ 近つ飛鳥博物館館報

博物館事業についての提言や古墳・飛鳥時代に関するテーマ及び館蔵資料の研究報告、近つ飛鳥博物館の年間事業記録等を掲載する近つ飛鳥博物館の事業報告を作成・配布した。

⑪ 近つ飛鳥博物館要覧

近つ飛鳥博物館の概要紹介用冊子を配布した。

⑫ インターネットホームページ

常設展・特別展・企画展・博物館催し物案内を、近つ飛鳥博物館ホームページに掲載し、また府民の意見・質問の対応のため意見交換コーナーを設置している。

（平成17年度のアクセス件数 146,070件、ホームページ開設以来の累計アクセス件数 1,025,286件）

⑬ マスコミ・ミニコミ紙等への情報提供等

博物館の事業内容等を広く府民に周知するため、在阪5大紙への積極的な情報提供をはじめ、博物館ガイドやミニコミ紙等あらゆる広報媒体を通じた広報活動に努めた。

## （2）出版事業

展示資料の解説や展示内容等の理解を深めるため、特別展図録等を発行・配布した。

○春季特別展図録「遙かなり音の道」（平成17年4月発行 1,200部）

○秋季特別展図録「王権と儀礼」（平成17年10月発行 1,200部）

○冬季企画展図録「年代のものさし」（平成18年1月発行 1,000部）

○大阪府立近つ飛鳥博物館 館報10（平成18年3月発行 2,000部）

## 5. 資料収集事業について

博物館資料の充実と展示・研究のため図書資料の収集をおこなった。

図書資料 11,641冊（購入265冊、交換2,476冊、寄贈8,970冊）

## 6. 書籍等販売事業について

当館において、書籍・アクセサリ等の販売を行った。

○春季特別展図録「遙かなり音の道」（平成17年4月発行 800部）

○秋季特別展図録「王権と儀礼」（平成17年10月発行 1,300部）

○冬季企画展図録「年代のものさし」（平成18年1月発行 1,900部）

## 7. 入館者数

入館者数及び入館料一覧

平成18年3月31日現在

区分	入館者数					入館料	備考
	展示室入館者数			普及ゾーン 利用者数	博物館 総入館者数		
	有料	無料	合計				
常設展	(114) 4,114	(67) 1,799	5,913	15,704	21,617	1,083,640	日間 104
割合%	22.1	13.9	18.7	29.2	25.3		
春季特別展	(133) 3,274	(146) 4,533	7,807	12,664	20,471	1,707,320	50
割合%	17.6	34.9	24.7	23.6	24.0		
夏季企画陳列	(55) 2,453	(58) 908	3,361	4,164	7,525	672,620	30
割合%	13.2	7.0	10.6	7.8	8.8		
スポット展	(35) 1,172	(11) 290	1,462	2,495	3,957	308,760	18
割合%	6.3	2.2	4.6	4.6	4.6		
秋季特別展	(250) 4,882	(110) 4,107	8,989	10,712	19,701	1,979,600	56
割合%	26.2	31.6	28.5	19.9	23.1		
冬季企画	(203) 1,951	(76) 1,073	3,024	5,333	8,357	678,700	32
割合%	10.5	8.3	9.6	9.9	9.8		
H17 テーマ展示	(85) 775	(16) 267	1,042	2,699	3,741	198,900	13
割合%	4.1	2.1	3.3	5.0	4.4		
合計	(875) 18,621	(484) 12,977	31,598	53,771	85,369	6,629,540	303
割合%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		
平成16年度実績			34,027	53,416	87,443	7,087,820	303
平成15年度実績			33,598	56,829	90,427	6,780,360	303
平成14年度実績			38,439	57,447	95,886	7,402,560	302

1. 秋季企画展の無料欄には、関西文化の日（11月19日、20日）の入館者（一般 567人、高大生 43人、65歳以上 122人）の入館者を含む。
2. 有料欄の（ ）は、共通入館券による入館者数。無料欄の（ ）は、ぐるっとパスによる入館者数

## V 日本民家集落博物館事業

### 1. 展示事業について

#### (1) 常設展示

① 第一ブロック：国指定文化財を中心とするコーナー

国指定文化財・摂津能勢の民家・日向椎葉の民家・信濃秋山の民家

国指定重要有形民俗文化財・飛騨白川の民家

大阪府指定有形文化財・奄美大島の高倉

未指定・河内布施の長屋門・堂島の米蔵

その他・戦国期の五輪塔・地蔵を展示公開している。

また、大阪府文化財センター展示室「カルチュアはっとり」を設置している。

② 第二ブロック：府指定文化財を中心とするコーナー

府指定有形文化財・大和十津川の民家・越前敦賀の民家・南部の曲家

大阪府指定民俗文化財・小豆島の農村歌舞伎舞台

未指定・北河内の茶室・剝舟（奄美のサバニ・島根のソリコ）を展示公開している。

#### (2) 企画展

「山に生きる人々－宮崎県椎葉村の民家と暮らし－第2回『生業と伝承』」

椎葉の民家の故郷である椎葉村に伝承されている生業「焼畑農業」と「狩猟」を取り上げ、館所蔵の民具資料とともに展示、また、椎葉村に伝わる平家落人伝説の由来とその時代的、社会的意義について紹介した。

・期間 平成17年11月1日（火）～12月25日（日）

・場所 カルチュアはっとり

・期間中、「山人の声を聴く」をメインテーマとする下記の連続講座を開催した。

月 日	演 題	講 師	参 加
11月12日（土）	「奥深い椎葉の民俗の諸相」	永松 敦（宮崎公立大学助教授）	29名
11月19日（土）	「椎葉村の生業複合」	野本 寛（近畿大学教授）	27名
11月26日（土）	「椎葉村の民家建築」	青山 賢信（大阪工業大学名誉教授）	21名
12月3日（土）	「椎葉の植生と植物利用」	野間 直彦（滋賀県立大学講師）	21名

#### (3) 企画展示

展示室「カルチュアはっとり」において、古代から近代の「住まいに関わる道具」をテーマとして、次の展示を行った。

テ ー マ	開 催 期 間
「はこぶ」－花 人 魂－	4月1日（金）～4月15日（金）
「きざむ」－時の記念日に因んで－	6月1日（水）～6月30日（木）
「かおる」－香の文化の変遷－	8月2日（火）～8月31日（水）
「お 金」－江戸時代のお金を考える－	10月1日（土）～10月29日（土）
「ひ く」－日本の粉の歴史を展示－	1月8日（日）～2月8日（水）

#### （４）大阪府文化財センター・カルチュアはっとり展示

##### ① 「むかしの道具（発掘民具）1 農具」

開催期間：9月10日（土）～9月25日（日）

期間内の9月19日（祝）にビデオ「農耕の技術」の視聴及び大阪府文化財センター福岡澄男部長による話「発掘 むかしの道具」を聴く会を開催

##### ② はたおりの歴史展－古代の機織生産を考える－

開催期間：2月11日（祝）～2月26日（日）

期間内行事として、2月18日（土）に下記の調査成果報告会を行った。

- ・「弥生時代の群倉」 大阪府文化財センター普及部長 福岡澄男
- ・「機織に関する歴史的な研究」 大阪府文化財センター技師 黒須亜希子

#### （５）民家解説等の開催

##### ① 民家解説

ア 内容 年間を通じ、開館日には、24名の解説ボランティアがいずれかの民家に常駐し、囲炉裏を焚きながらその民家について来館者に解説を行った。

イ 研修 解説ボランティアを対象に下記の研修会を実施した。

月 日	テ ー マ	講 師
6月18日（土）	「民家集落博物館の民家を考える」	林野 全孝 (京都府立大学名誉教授)
7月3日（日）	「日向椎葉の民家・摂津能勢の民家について」	小島 久美 (当館学芸員)
7月9日（土）	「信濃秋山の民家・南部の曲家について」	小島 久美 (当館学芸員)
9月10日（土）	「民家集落博物館の民家を考える その2」	林野 全孝 (京都府立大学名誉教授)
11月5日（土）	「日本民家集落博物館の民具について」	上井 久義 (関西大学名誉教授)
1月29日（日）	「まじないと日本文化」	水野 正好 (奈良大学名誉教授)

##### ② 民家特別公開

ア 内容 安全面等の配慮が必用である為、平常は公開できない場所に4名のボランティアが担当し、来館者への特別公開を行った。

イ 期間 年間を通じ土曜、日曜を中心に開催

ウ 場所 飛騨白川の民家の2階、奄美大島の高倉の蔵収蔵部分、北河内の茶室

③ 「囲炉裏に火を入れて」

ア 内容 当館職員に加えて、8名のボランティアが、囲炉裏に火を入れて来館者へのいろいろ体験サービスを行うとともに、民家の燻蒸に努めた。

イ 期間 年間を通じ開館日毎日

ウ 場所 飛騨白川の民家、摂津能勢の民家、南部の曲家 他

④ 「民家の囲炉裏で暖まろう」

ア 内容 当館スタッフにより囲炉裏に火を入れ、来館者にお茶の無料サービスを行うとともに、おしるこの販売を行った。

イ 期間 平成17年11月3日～平成18年3月26日の土・日曜と祝日

ウ 場所 南部の曲家

## (6) 季節行事の開催

来館者に、日本に伝わる四季折々の行事に親しんでいただくため、移築民家を活用して下記の催しを行った。

行 事 名	開 催 期 間	開 催 場 所	備 考
こいのぼり	4月20日(水)～ 5月8日(日)	日向椎葉の民家前庭	
ようか日	5月1日(日)～ 5月8日(日)	摂津能勢の民家	
端午の節句	5月1日(日)～ 5月8日(日)	摂津能勢の民家 南部の曲家	
笹団子作り	5月5日(祝)	摂津能勢の民家	参加8名
七夕かざり	6月21日(火)～ 7月7日(木)	日向椎葉の民家・大和 十津川の民家の縁側	
お盆飾り	8月6日(土)～ 8月14日(日)	日向椎葉の民家 大和十津川の民家	
赤飯作り	8月20日(土)	飛騨白川の民家	参加4名
芋名月	9月6日(火)～ 9月18日(日)	大和十津川の民家	
十五夜の供え物	9月6日(火)～ 9月18日(日)	日向椎葉の民家	
椎葉神楽の神講屋飾り	11月1日(火)～ 12月25日(日)	日向椎葉の民家	
正月かざり	1月5日(木)～ 1月31日(火)	館内各民家	
ふるさとのお雑煮会	1月8日(日) 9日(祝)	飛騨白川の民家 日向椎葉の民家	雑煮売上 454食
節分のしめ縄飾り	2月1日(水)～ 2月5日(日)	大和十津川の民家	
桃の節句・雛飾り	2月18日(土)～ 3月5日(日)	越前敦賀の民家 南部の曲家	

## (7) 各種行事の開催

### ① 押し花作品展と押し花教室

ア 内容 和泉市で活躍している押し花作家達の作品を展示し来館者に鑑賞していただいた。また、期間中に2日間、押し花教室を開催した。

イ 期間 平成17年4月1日(金)～5月15日(日)

ウ 場所 南部の曲家

・なお、上記作家達により11月26日(土)・27日(日)に押し花教室を開催した。

### ② 春・秋のお茶会

ア 内容 「北河内の茶室」を会場にお茶会を行った。

イ 期間 平成17年5月14日(土)・15日(日) 10月30日(日)

ウ 協力 裏千家「千草会」 裏千家「村司宗紫社中」

### ③ 子どもアート&クラフトまつり

ア 内容 当館の近隣に住む人々の指導により、館内の民家や広場において、子ども達が創作活動に親しむ活動を行った。

イ 期間 平成17年4月30日(土)・5月1日(日)及び11月5日(土)・6日(日)

ウ 場所 南部の曲家

### ④ 昔話と紙芝居に親しむ会

ア 内容 主に小学生を対象として紙芝居に親しむ会を行った。また、囲炉裏に火を入れ、囲炉裏端での昔話の語りも行った。

イ 期間 平成17年6月18日(土)・10月30日(日)・11月26日(土)  
平成18年3月19日(日) 計4日間、8回公演

ウ 場所 大和十津川の民家

エ 協力 豊中子ども文庫、豊中紙芝居の会

### ⑤ なるせ女剣劇団民家集落公演

ア 内容 小豆島の農村歌舞伎舞台の移築前の情景を再現するため、大衆演劇グループ・なるせ女剣劇団を招いて公演を行った。

イ 期間 平成17年10月2日(日)

ウ 場所 小豆島の農村歌舞伎舞台

### ⑥ 白川郷の民家で怪談噺を聞く会

ア 内容 豊中市中央公民館と共催し、開館時間を延長して、旭堂南北や桂雀五郎による講談や落語を聴く会を行った。

イ 期間 平成17年10月22日(土) 18:30～20:00

ウ 場所 飛騨白川の民家

### ⑦ 民家集落作品展

ア 内容 当館を題材にした絵画や写真、模型、また、当館の開催行事での作品等を公募し南部の曲家で展示した。なお、優秀作品の表彰式を初日に行った。

イ 期間 平成18年3月5日(日)～3月21日(祝)

ウ 場所 南部の曲家

⑧ 米蔵ミニギャラリー展示

展 示 内 容	期 間
民家集落作品展優秀作品展示	5月3日(祝)～10月28日(金)
西山康三郎版画作品展示	11月1日(火)～11月25日(金)
丸山鏡子・植村浩一作品展示	11月29日(火)～12月25日(日)
作ったよ！学んだよ！－歴史体験隊作品展－	1月5日(木)～1月22日(日)
写真展示「龍泉窯の町を訪ねて」	1月26日(木)～3月2日(木)
民家集落作品展優秀作品展示	3月5日(日)～3月21日(祝)

⑨ 下記の写真展を開催した。

写 真 展 名	期 間	場 所
「島根・鳥取の民家」	9月17日(土)～9月25日(日)	南部の曲家
民家ツアー写真展	11月1日(火)～11月10日(木)	南部の曲家

⑩ その他、下記の取り組み及び行事を行った。

- ・こどもの日おもちゃプレゼント  
5月3日～5日に、各日先着200名の幼児・小中学生におもちゃをプレゼントした。
- ・「敬老の日」特別優待及び島根県物産販売  
9月17日～25日は、65歳以上の方の入館料を特別料金200円とし、粗品をプレゼント、南部の曲家にてお茶のサービスを行った。特別優待者数は240名
- ・「落語で笑うて民家―『百楽の会』民家集落口演―」  
大阪府老人大学上方演芸科3期終了生による落語発表会を開催した。(11月6日)
- ・開運プレゼント  
来年の干支のカレンダーや置物を抽選でプレゼントした。(12月1日～25日)
- ・民家あてクイズ  
小中学生に民家名を当てるクイズを実施、正解者に「むかしのおうち博士号」を贈呈した。(2月の土・日・祝日) クイズ参加者は91名
- ・くらしとハンドクラフト展  
大阪府老人大学ハンドクラフト科卒業生による作品展を南部の曲家で行った。(3月23日～3月30日)
- ・夜間特別開館  
館内の要所に照明設備を設置し、開館時間を19：00まで延長して夜間特別開館を行った。(3月31日、なお、この延長は4月2日まで実施)

## (8) 体験教室の開催について

① 民家等を利用し下記の体験教室を長期に亘って開催した。

体験教室名	開催期間	開催場所	体験参加者数
養蚕体験 糸紡ぎ体験	7月1日～8月31日 8月27日(土)・28日(日)	飛騨白川の民家	187名 57名
はたおり体験	9月15日～11月28日の 毎週水・土・日曜日	摂津能勢の民家 南部の曲家	90名
石臼体験	9月19日～3月27日の 毎週日曜日午後	石臼体験コーナー	646名
ワラぞうり作り体験	10月3日～11月28日の 毎週日曜日午後	南部の曲家土間	96名
コマ遊び体験	9月25日～3月26日の 毎週土曜日午後	日向椎葉の民家前	1,265名

② また、季節に応じて、下記の体験教室も開催した。

体験教室名	開催期間	開催場所	指導・参加者数等
寺子屋体験	8月23日(火)～ 8月25日(木)	カルチュアはっとり	廣本幸子他 70名
みんか 版画教室	8月26日(金) 8月27日(土)	カルチュアはっとり	山田洋子 53名
竹細工教室	8月27日(土) 8月28日(日)	館内広場	江頭文雄他 59名
秋の夜長、 星・民話・虫	11月23日(祝) 11月27日(日)	飛騨白川の民家 他	南川充男他 55名
手作り和風教室	11月23日(祝) 11月27日(日)	大和十津川の民家	山田洋子 47名
しめなわ作り教室	12月10日(土) 12月11日(日)	南部の曲家 大和十津川の民家	笹部豊子、大元敦子他 36名
餅つき体験	2月5日(日)	日向椎葉の民家前	佐藤文夫他 86名
民家集落 デジカメ教室	2月18日(土) 2月19日(日)	日向椎葉の民家前	立花正治 16名
箏演奏会 体験教室	2月19日(日)～ 3月11日(土) 4回	大和十津川の民家	川島正子、柳 友紀子 149名

## 2. 普及啓発事業について

### (1) 民家集落公開講座

2月25日(土)に「カルチュアはっとり」を会場に、以下の公開講座を開催した。

- ・演題 「椎葉神楽と椎葉型民家－椎葉村の民家で行われる神楽の特徴－」  
講師 黒木光太郎(椎葉民俗芸能博物館係長)
- ・演題 「日本の動力水車について －かつては身近であったエコロジカルな技術を探る－」  
講師 望月 浩(神戸深江生活文化史料館研究員)
- ・講座受講 50名

## (2) 故きを温ねて

当館周辺に点在する史跡の見学会を開催した。当館館長が解説を行いながら案内、当館では開催中の企画展等を見学、その後、大和十津川の民家を利用して昼食休憩の場とした。平成17年度に実施した内容は以下の通り。

開催日	主な見学場所など	参加数
5月29日(日)	洲到止八幡宮、疎水成功碑と玉垣記念碑、新福寺、庄本南水門之跡、通船記念灯籠、光国寺、椋橋神社	14名
11月23日(祝)	法華寺、原田城址、住吉神社、皿池公園 当館では秋の企画展「山に生きる人々」の解説・見学	6名
2月26日(日)	糸田橋の石柱、上の川旧水路跡、雉子 <small>すさのおの</small> 暁 <small>みこと</small> 、垂水神社、憶念寺、蔵人の町並み、高川トンネル、素盞鳥尊神社、油掛地蔵、当館で「はたおりの歴史展」の解説・見学	10名

## (3) 米蔵茶論

堂島の米蔵を会場に、当館館長を囲んで、文化財、民家、民具、その他について語り合う小さなサロンを開催した。

- ・ 6月25日(土)「大阪の民家」
- ・ 9月17日(土)「島根・鳥取の民家」
- ・ 12月17日(土)「ポルトガルの建築」
- ・ 3月5日(日)「福建省の建物」

## (4) 米蔵体験

2ヶ月に一度、堂島の米蔵を会場に講座と体験のコーナーを開設した。

- ・ 5月28日(土) 拓本体験
- ・ 7月30日(土) 木綿の種繰り
- ・ 9月24日(土) 糸紡ぎ
- ・ 11月26日(土) 石鹼作り
- ・ 1月28日(土) 古銭と石仏の拓本

## (5) 子どもクラブ活動

子ども達が博物館に親しむとともに、当館が子ども達にとって安全で有意義な居場所となることを願って、下記のクラブを結成し様々な体験活動を行った。なお、活動の指導・支援は当館職員及びボランティアが担当し、子ども達と地域の人々との交流の場となった。

クラブ名	対 象	参加数
みんかクラブ	豊中市立泉丘小学校及び緑地小学校の児童とその保護者	32名
いろりクラブ	みんかクラブ以外の小学校の児童とその保護者で、主に土曜日を中心に活動	34名
かやぶきクラブ	みんかクラブ以外の小学校の児童とその保護者で、主に日曜日を中心に活動	31名

## (6) こども茶道体験教室

北河内の茶室を利用して、小中学生とその保護者を対象に「こども茶道体験教室」を開催、指導は、裏千家の岡村矩巳子、村司弘美、山内美恵子の3名をお願いした。

こども茶道体験教室	6月5日(日)～3月26日(日) 日曜日を中心に18回活動	17名
-----------	----------------------------------	-----

## (7) 博物館実務実習

大学生に対し、下記のように学芸員の実務について指導した。

期 間	大 学 名	人 数
7月3日(日)～8日(金)	追手門学院大学	6名
7月26日(火)～29日(金)	関西学院大学	4名
7月26日(火)～29日(金)	大阪国際女子大学	2名

## (8) 職場体験学習

中学生の職場体験学習を受け入れ、民家の清掃や囲炉裏の世話、野外作業、窓口業務等の体験を行うとともに、昔の生活や民家について学習を深める機会とした。

期 間	中 学 校 名	人 数
9月7日(水)～9日(金)	豊中市立第一中学校	6名
10月25日(火)～27日(木)	豊中市立第十七中学校	5名
11月8日(火)～10日(木)	豊中市立第十一中学校	6名

## (9) その他

近隣の小学生を招待し、当館の畑でボランティアが栽培したサツマイモの芋掘り、民家の庭でセイロ蒸しと試食、併せて落葉、ドングリ集め等の体験学習を行った。

期 間	学校名・学年	人 数
10月20日(木)	豊中市立緑地小学校3年生	107名

## (10) 歴史体験隊

大阪府文化財センター主催により、歴史を体験的に学ぶことにより、歴史を理解することはもちろん、学ぶことの楽しさ知ってもらいたいと願って「歴史体験隊」を募集し以下の活動を行った。(参加は隊員33名とその弟妹及び保護者)

- ・7月17日(日)「泥めんこ」
- ・8月21日(日)「胃」
- ・10月16日(日)「土器-作る-」
- ・11月20日(日)「古代クッキー」
- ・12月18日(日)「土器-焼く-」
- ・1月22日(日)「土器-炊く-」

### 3. 広報事業について

#### (1) 広報事業

- ① 博物館の事業内容等を広く周知するためPR紙等を作成・配布した。

項 目	発 行 月	発 行 部 数
秋の催し案内	8月	18,000
冬の催し案内	12月	18,000
春の催し案内	3月	20,000
ふるさとだよりNo.25	5月	3,000
ふるさとだよりNo.26	11月	3,000
ふるさとだよりNo.27	3月	3,000

- ② インターネットを活用し、ホームページに催し案内を掲載した。  
URL <http://www.occh.or.jp/minka/>
- ③ 各事業の実施にあたって、府庁記者クラブ、豊中市記者クラブ、地域広報紙等に資料提供を行った。また、豊中市広報誌への掲載、豊中ケーブルテレビでの放送を依頼することによって、地域に密着した博物館となるよう努めた。
- ④ 当館紹介ビデオ及びDVDを新しく作成、堂島の米蔵内に視聴コーナーを設けるとともに、希望者に無料で貸し出しを行い、広報に努めた。
- ⑤ 豊中市民ギャラリー（阪急電車豊中駅に隣接）にて「日本民家集落博物館展」を開催、当館所蔵民具や民家集落作品展優秀作、子どもクラブの作品を展示し、広報を行った。＜4月26日（火）～5月1日（日）：期間中の入場者数は383名＞
- ⑥ 当館の民家をモデルにした版画による絵葉書第二集及び木版画複製版を作成し、販売を行いPRに努めた。

### 4. 館内諸施設の整備について

#### (1) 当館案内看板の改修

当館の見学が少しでもスムーズに行えるよう、案内看板の改修工事を行った。

#### (2) 夜間照明設備の整備

夜間の催しを充実させるため、照明設備を整備した。

#### (3) ボランティア活動による館内の整備

民家の清掃、竹林や植栽の手入れ・畑の作物の栽培等をボランティア（参加11名）に委託し、施設の整備や館内の景観保全に努めた。

#### (4) その他

松枯木の伐採を、財団法人大阪府公園協会の協力により実施するとともに、一部を業者委託した。また、水仙の花壇を新設した。

## 5. 「移築民家を守る会」について

当館の大半の民家が、移築後50年近くになり、今後、計画的に修理を行う必要があることから広く支援を求めるため「移築民家を守る会」を結成し募金活動を行った。

## 6. 入館者数及び入館料一覧表

(平成 17年度)

月	入館者数 (人)	入館料 (円)	開館日数 (日)
4月	6,489	2,440,000	26
5月	8,765	2,589,000	26
6月	2,733	976,450	26
7月	1,717	477,850	27
8月	1,618	462,200	26
9月	2,960	961,900	26
10月	6,217	1,563,100	26
11月	5,413	1,636,800	26
12月	1,199	377,100	23
1月	2,326	694,050	23
2月	2,347	656,150	24
3月	3,736	1,180,500	27
合計	45,520	14,015,100	306
16年度	44,463	14,409,750	307

※ 入館料については消費税込みで記入。消費税抜きの入館料収入は13,347,728円

# 事務所・博物館所在地



**本部事務所**  
〒590-0105 堺市南区竹城台3丁21番4号  
Tel (072) 299-8791 Fax (072) 299-8905

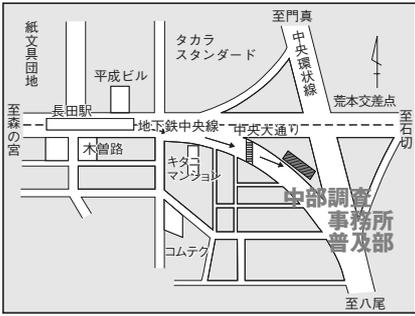
**資料情報係**  
Tel (072) 290-0491 Fax (072) 290-2611



**京阪調査事務所**  
〒572-0814 寝屋川市堀溝1丁目1番15  
Tel (072) 811-3630 Fax (072) 811-3632

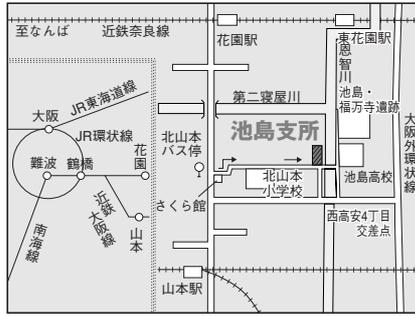


**交野分室**  
〒576-0022 交野市藤が尾1丁目2  
Tel (072) 895-1200 Fax (072) 895-1201



**中部調査事務所**  
〒577-0012 東大阪市長田東1丁目9番16号  
Tel (06) 6785-3921 Fax (06) 6785-3515

**普及部**  
Tel (06) 6785-4531 Fax (06) 6785-5431



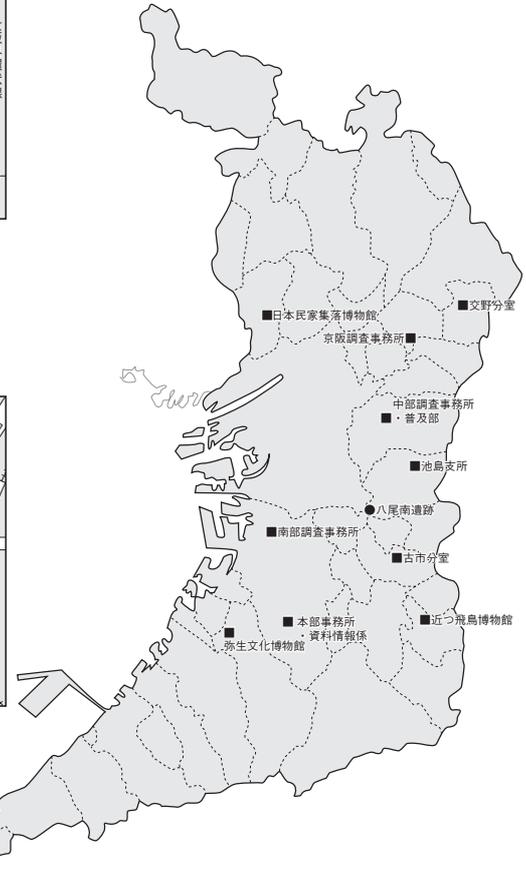
**池島支所**  
〒581-0842 八尾市福万寺町8丁目地先  
Tel (072) 999-9890 Fax (072) 990-5131



**南部調査事務所**  
〒590-0015 堺市堺区南田出井町1丁目1番10号  
Tel (072) 227-6001 Fax (072) 227-6101

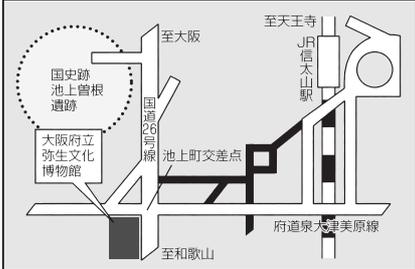


**古市分室**  
〒583-0854 羽曳野市軽里3丁目1番13  
Tel (072) 950-2080 Fax (072) 958-5855

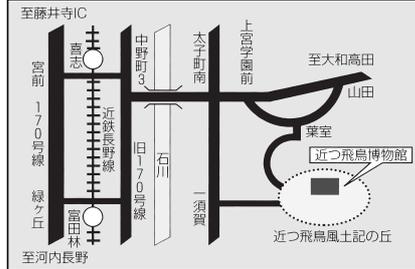


**ホームページアドレス**  
<http://www.occh.or.jp>

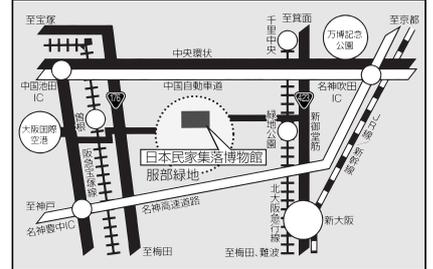
**大阪府立弥生文化博物館**  
〒594-0083 大阪府和泉市池上町443  
TEL.0725-46-2162(代) FAX.0725-46-2165  
<http://www.kanku-city.or.jp/yayoi/>



**近つ飛鳥博物館**  
〒585-0001 大阪府南河内郡河南町大字東山299番地  
TEL.0721-93-8321(代) FAX.0721-93-8325  
<http://www.mediajoy.com/chikatsu/>



**日本民家集落博物館**  
〒561-0873 大阪府豊中市服部緑地1-2  
TEL.06-6862-3137(代) FAX.06-6862-3147  
<http://www.occh.or.jp/minka/>



財団法人 大阪府文化財センター年報

平成17年度

平成19年3月31日 発行

発行 財団法人 大阪府文化財センター

〒590-0105 大阪府堺市南区竹城台3丁21-4

TEL072-299-8791 FAX072-299-8905

印刷 株式会社 中島弘文堂印刷所

表紙 シンボルマーク

八尾市美園遺跡出土 重要文化財 家形埴輪